

**TTC標準**  
Standard

J T - Q 7 6 3

ISUP フォーマットおよびコード

〔 ISUP formats and codes 〕

第 21.1 版

2006 年 9 月 5 日制定

社団法人  
情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE



本書は、（社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。  
内容の一部又は全部を（社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

## 目 次

< 参考 > .....	4	
1 . 概 説 .....	11	
1.0 本標準の範囲、参考文献、定義、略語 .....	11	
1.0.1 本標準の範囲 .....	11	
1.0.2 参考文献 .....	11	
1.0.3 用語と定義 .....	11	
1.0.4 略語 .....	11	
1.0.5 コーディング原則の概要 .....	13	
1.1 ルーティングラベル .....	14	
1.2 回線番号 .....	14	
1.3 メッセージ種別 .....	14	
1.4 フォーマッティングの原則 .....	17	
1.5 固定長必須部 .....	17	
1.6 可変長必須部 .....	17	
1.7 オプション部 .....	18	
1.8 オプションパラメータの終了表示オクテット .....	18	
1.9 送出順序 .....	18	
1.10 予備ビットのコーディング .....	19	
1.11 国内用信号種別とパラメータ .....	20	
1.12 メッセージ種別コードとパラメータコードの割当て .....	21	
1.13 「予備」コードと「留保」コードの意味 .....	21	
2 . パラメータのコード .....	21	
2.1 メッセージ種別のコード .....	21	
2.2 長さ表示のコーディング .....	22	
2.3 ポインタのコーディング .....	22	
3 . I S D Nユーザ部のパラメータ .....	22	
4 . I S D Nユーザ部メッセージとコード .....	123	
付属資料A 認識不可パラメータ値の処理の表 .....	144	
付属資料B コンポーネントの符号化規則の概要 .....	156	#
付録 事業者情報転送パラメータの構成例 .....	157	*

## < 参考 >

### 1. 国際勧告との関係

本標準は、1999年12月のITU-T SG11全体会で勧告化が承認されたITU-T勧告Q.763に準拠している。また、「アプリケーション転送」パラメータは、2000年12月のITU-T SG11会合において承認されたITU-T勧告Q.763補遺に準拠している。ただし、「発測地位置情報」パラメータおよび「発測地速度情報」パラメータは、2001年7月のSG11臨時会合で勧告化が承認されたITU-T勧告Q.1902.3に準拠している。

(注) ITU-T 勧告 Q.1902.3 はベアラに依存しない呼制御プロトコル (BICC) 能力セット 2 と No.7 信号方式 ISDN ユーザ部のフォーマットおよびコードを共通で規定している。ITU-T における ISUP パラメータの最新規定は、ITU-T 勧告 Q.1902.3 に規定していることから、本標準では「発測地位置情報」パラメータおよび「発測地速度情報」パラメータについては ITU-T 勧告 Q.1902.3 に準拠した。

### 2. 上記勧告等に対する追加項目等

#### 2.1 オプション選択項目

なし

#### 2.2 ナショナルマター項目

ITU-T 勧告において「国内使用」と規定される信号種別コード、パラメータコード及び国内用信号フィールドのコード値 (本標準中の行の右に \* にて表示)

#### 2.3 その他

- (1) 本標準は、上記 ITU-T 勧告に対し、下記の項目について追加している。
  - (a) 追加しているメッセージと追加の理由を、表 1 に示す。
  - (b) 追加しているパラメータと追加の理由を、表 2 に示す。
  - (c) ITU-T 勧告において「国内使用」と規定される信号種別コード、パラメータコード及び国内用信号フィールドのコード値について、TTC 標準での使用法 (TTC 仕様のために使用するコード値と網固有仕様のため使用するコード値) の明確化のため、節 1.1.1 の一部を追加している。
- (2) 本標準は、上記 ITU-T 勧告に対し、以下の項目についての記述を削除している。
  - (a) 削除しているメッセージと削除の理由を、表 3 に示す。
  - (b) 削除しているパラメータと削除の理由を、表 4 に示す。

なお、上記勧告に対して追加した項目については、\* を表示する。

また、上記勧告で規定しているが、本標準では規定しない項目については、項目あるいは記述は残すが、# で表示する。

#### 2.4 現勧告との章立て構成比較表

上記国際勧告との章立て構成の相違はない。

### 3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第1版	昭和62年 4月28日	制定
第1.1版	昭和62年 7月15日	誤記訂正
第2版	平成元年 4月28日	CCITT勧告Q.763の内容が充実し、1988年勧告となったことに伴い内容を充実させた。
第3版	平成2年 4月25日	パラメータの新規追加を行ったため。
第3.1版	1991年 9月 5日	表3-1自動輻輳レベルのコードの修正を行った。
第4版	1992年 4月28日	付加サービス標準(JT-Q73Xシリーズ)の拡充に伴う内容の充実、及び国内用信号フィールドのコード値の使用法に関する記述の追加。
第5版	1993年 4月27日	ITU-T勧告Q.763の内容が充実し、1993年に勧告化となったことに伴い、内容を充実させた。
第6版	1994年 4月27日	MAP標準(JJ-70.10)制定に伴い、移動通信で必要となるパラメータの新規追加を行った。
第7版	1994年11月24日	PHSローミング用網間インタフェース標準(JT-Q1218-a)制定に伴い、PHSで必要となるパラメータの新規追加を行った。
第8版	1995年11月28日	TTT標準JT-Q731[ ]の拡充に伴うパラメータの新規追加、及び、タイムTに伴うパラメータ長の拡張を行った。
第9版	1996年11月27日	リダイレクション手順関連、及びユーザ課金・事業者間精算関連パラメータの新規追加を行った。
第10版	1997年 4月23日	事業者間精算関連パラメータの変更、及びISUP-INAP間インタワークで必要となるパラメータの新規追加を行った。
第11版	1997年11月26日	事業者間精算関連パラメータの変更、及びTTT標準JT-Q732制定に伴う着信転送サービスで必要となるパラメータの新規追加を行った。
第12版	1998年 4月28日	コード空間の拡張及び事業者間精算関連パラメータの変更、付加ユーザ種別の追加、課金種別の追加、TTT標準JT-Q732第7章制定に伴いECT付加サービスで必要となるパラメータの新規追加を行った。
第13版	1998年11月26日	輻輳制御手順、ピボットルーティング手順、及び番号ポータビリティに関するメッセージ、パラメータの新規追加を行った。
第13.1版	1999年 2月 3日	誤記訂正
第14版	1999年 4月22日	ITU-T勧告Q763の内容が充実し1997年に勧告化になったことに伴い内容を充実させた。
第14.1版	1999年 9月 8日	誤記訂正

版 数	制 定 日	改 版 内 容
第15版	1999年11月25日	CCSSに関するパラメータの追記、及びピボット、リダイレクション関連、優先接続に関するパラメータの一部変更等を行った。
第16版	2000年 4月20日	TTT標準JT-Q1901制定に伴うBICC手順で必要となるメッセージ、パラメータの新規追加を行った。また、移転元SCP事業者情報、移転先SCP事業者情報の追加を行った。
第17版	2000年11月30日	汎用番号パラメータの情報要素の新規追加と、課金情報遅延パラメータに関する記述の明確化を行った。
第18版	2001年 4月19日	ITU-T勧告Q.763の内容が充実し、1999年に勧告化となったことに伴い、内容を充実させた。また、発測地位置情報の機能追加を行った。
第19版	2001年11月27日	ISUP でピボットルーティング手順をサポートしなくなったことに伴い、ピボットルーティングパラメータの削除を行った。また、発測地速度情報の機能追加を行った。
第20版	2002年 5月30日	緊急通報呼表示パラメータの新規追加を行った。
第21版	2005年 8月25日	リダイレクション実行理由/起動理由に一般番号ポータビリティ、携帯電話番号ポータビリティ用の新規コードの追加を行った。
第21.1版	2006年 9月5日	図 3-94/JT-Q763 表記方法を、リダイレクション実行理由(図 3-93/JT-Q763)と同じ表現 (8bit = 拡張表示、他 = リダイレクション起動理由) とした。

#### 4 . 工業所有権

本標準に関わる「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTTホームページでご覧になれます。

#### 5 . 標準作成部門

信号制御専門委員会

表1 T T C 標準で追加して規定するメッセージ

メッセージ種別	略称	表の番号	コード	記 事
課 金	C H G	4-34/JT-Q763	1111 1110	ITU-T では課金情報を通知する信号の規定が不十分なため規定する。

表2 T T C 標準で追加して規定するパラメータ

パラメータ名	章番号	コード	記 事
網機能種別	3.102	1111 1110	契約 I D の転送など網機能を表示するパラメータであり、追加規定する。
料金区域情報	3.103	1111 1101	発着信ユーザのエリアを通知するための網間接続固有のパラメータであり、追加規定する。
課金情報	3.104	1111 1011	課金内容等を転送するパラメータであり、追加規定する。
課金情報種別	3.105	1111 1010	課金情報の種別を識別するパラメータであり、追加規定する。
契約者番号	3.106	1111 1001	個々の網で管理している契約者の番号を通知するパラメータであり、追加規定する。
移動通信用エンド情報転送	3.107	1111 1000	移動通信特有に必要な情報を転送するためのパラメータであり、追加規定する。
移動通信用呼番号	3.108	1111 0111	移動通信特有に交換機間で呼の識別を行うためのパラメータであり、追加規定する。
P H S 端末識別番号	3.109	1111 0110	P H S 特有に P H S 端末の識別を行うためのパラメータであり、追加規定する。
発信者番号非通知理由	3.110	1111 0101	発信者番号がユーザに通知できない場合の詳細理由を転送するためのパラメータであり、追加規定する。
国内用リダイレクション理由	3.111	1111 0100	リダイレクションが起動された理由を通知するパラメータであり、追加規定する。
付加ユーザ種別	3.112	1111 0011	付加的な発側もしくは着側のユーザ種別情報を通知するパラメータであり、追加規定する。
課金情報遅延	3.113	1111 0010	A C M または C P G メッセージに設定され、C H G または C P G により課金関連情報を転送することを通知するパラメータであり、追加規定する。 (注) 第 9 版 ~ 第 1 6 版をサポートするためのオプションである。
事業者情報転送	3.114	1111 0001	事業者情報を設定し、転送するパラメータであり、追加規定する。
輻輳制御済み通知情報	3.115	1111 0000	前位の網で輻輳制御を実施したことを通知するパラメータであり、追加規定する。
緊急通報呼表示	3.117	1101 0111	呼が緊急通報呼であることを表示するパラメータであり、追加規定する。

表3 T T C 標準で削除するメッセージ

メッセージ種別	略称	ITU-T における 表の番号	コード	削 除 す る 理 由
課金情報 (国内用)	CRG	-	0011 0001	ITU-T ではコードだけ規定されており、内容がない。(第1版で標準化した課金メッセージを採用)
導通試験要求 ループ確認 (国内用)	CCR LPA	39/Q.763 39/Q.763	0001 0001 0010 0100	デジタル回線を前提とするため導通試験は不要。
順方向転送	FOT	37/Q.763	0000 1000	国際接続において、オペレータ間の通信を必要とする場合に使用するが国内では不要。
ファシリティ受付 ファシリティ拒否 ファシリティ要求 番号要求 番号応答	FAA FRJ FAR IDR IRS	42/Q.763 29/Q.763 42/Q.763 47/Q.763 48/Q.763	0010 0000 0010 0001 0001 1111 0011 0110 0011 0111	付加サービスに関連するものであり、これを用いる付加サービスの規定がない。
情報(国内用) 情報要求(国内用)	INF INR	30/Q.763 31/Q.763	0000 0100 0000 0011	関連する情報は、呼設定用のメッセージに乗せるため。
過負荷 (国内用)	OLM	39/Q.763	0011 0000	発ユーザ種別の優先/非優先を用いて、交換機のトラヒック負荷を制御する場合に使用するが、優先/非優先の設定基準が明確でないため、本手順の適用不可。
パスアロング (国内用)	PAM	43/Q.763	0010 1000	中継ノードに関連しない情報をエンド・エンドに運ぶための機能であるがこれを用いる付加サービスが規定されていないため。
後続アドレス	SAM	35/Q.763	0000 0010	アドレス情報を分割して送るための機能だが、国内では不要。
後続ディレクトリ番号 (国内用)	SDM	53/Q.763	0100 0011	これを用いる付加サービスが規定されていない。
未実装回線番号 (国内用)	UCIC	39/Q.763	0010 1110	ISUP で制御可能な回線以外の回線に対して信号を受信した場合に用いるが、回線状態問い合わせ機能で充分であるため。
ユーザ・ユーザ 情報	USR	36/Q.763	0010 1101	サービス2, 3でユーザ・ユーザ情報を運ぶための機能であるが、網間での提供形態が未定である。
網リソース管理	NRM	46/Q.763	0011 0010	ダイナミックエコー制御のためのメッセージであり、国内では不要のため規定しない。
ユーザ部有効性 ユーザ部テスト	UPA UPT	44/Q.763 44/Q.763	0011 0101 0011 0100	ISDNユーザ部有効性制御のためのメッセージであり、国内では不要のため規定しない。

表4 TTC標準で削除するパラメータ

( 1 / 2 )

パラメータ名	ITU-T での 章番号	コード	削除する理由
呼転送情報	3.6	0011 0110	これを用いる付加サービスが規定されていない。
呼番号（国内用）	3.8	0000 0001	
接続要求	3.17	0000 1101	
M C I D 要求表示	3.31	0011 1011	
M C I D 応答表示	3.32	0011 1100	
M L P P 優先	3.34	0011 1010	
転送先番号制限	3.47	0100 0000	
リートホップレジョン（国内用）	3.48	0011 0010	
サービス活性化（国内用）	3.49	0011 0011	
逆方向G V N S	3.62	0100 1101	
コールトランスファ番号	3.64	0100 0101	
順方向G V N S	3.66	0100 1100	
網管理制御	3.68	0101 1011	
回線割当マップ	3.69	0010 0101	
呼転送処理表示	3.72	0110 1110	
呼提供処理表示	3.74	0111 0000	
課金ユーザ表示（国内用）	3.75	0111 0001	
会議電話処理表示	3.76	0111 0010	
表示情報	3.77	0111 0011	
ホップカウンタ	3.80	0011 1101	
コレクトコール要求	3.81	0111 1001	
C C N R 可能表示	3.83	0111 1010	

表4 T T C 標準で削除するパラメータ

( 2 / 2 )

パラメータ名	ITU-T での 章番号	コード	削除する理由
ファシリティ表示	3.22	0001 1000	網間での提供形態が未定。
情報表示 (国内用)	3.28	0000 1111	関連する情報は、呼設定用のメッセージに乘せるため。
情報要求表示 (国内用)	3.29	0000 1110	
後続番号	3.51	0000 0101	国内では不要。
位置番号	3.30	0011 1111	I T U - T で検討中の課題であるため規定しない。
呼履歴情報	3.7	0010 1101	ダイナミックエコー制御のための信号情報であり、国内では不要のため規定しない。
エコー制御情報	3.19	0011 0111	
伝播遅延カウンタ	3.42	0011 0001	
通信路要求プライム	3.55	0011 1110	フォールバック能力を許容するための信号情報であり、国内では不要のため規定しない。
使用通信路	3.56	0011 0101	
ユーザサービス情報プライム	3.58	0011 0000	
発側 I S C 局コード	3.40	0010 1011	国内では不要のため規定しない。
ピボット能力	3.84	0111 1011	
ピボットルーティング表示	3.85	0111 1100	
H T R 情報	3.89	1000 0010	
ネットワークルーティング番号 (国内用)	3.90	1000 0100	
クエリーオンリリース (網オプション)	3.91	1000 0101	
ピボット状態表示 (国内用)	3.92	1000 0110	
ピボットルーティング回数	3.93	1000 0111	
ピボットルーティング順方向情報	3.94	1000 1000	
ピボットルーティング逆方向情報	3.95	1000 1001	
リダイレクション状態表示 (国内用)	3.98	1000 1010	
番号ポータビリティ順方向情報 (網オプション)	3.101	1000 1101	

## 1. 概 説

### 1.0 本標準の範囲、参考文献、定義、略語

#### 1.0.1 本標準の範囲

本標準は、基本的なベアラサービスと付加サービスに必要なISDNユーザ部メッセージとパラメータのフォーマットとコードを明記している。

#### 1.0.2 参考文献

以下に示すITU-T勧告と他の参考文献は、このテキストの参照に示しており、本勧告の規定を含んでいる。出版時には該当する版数が有効だった。全勧告と他の参考文献は版数が重要である。つまり、この勧告を使用する場合以下に列記した勧告と他の参考文献は最新版を参照すべきである。現在参照できるITU-T勧告のリストは、正式に出版されている。

- [ 1 ] CCITT/ITU-T勧告 X.208 specification of Abstract Syntax Notation One(ASN.1)
- [ 2 ] CCITT/ITU-T勧告 X.209 specification of Basic Encoding Rules for Abstract Syntax Notation One(ASN.1)
- [ 3 ] CCITT/ITU-T勧告 X.219 Remote Operations: Model,Notation,and Service Definition
- [ 4 ] CCITT/ITU-T勧告 X.229 Remote Operations:: Protocol Specification
- [ 5 ] CCITT/ITU-T勧告 G.704 Synchronous frame structures used at 1544,2048,8488
- [ 6 ] TTC標準 JT-Q931(1996/9/10)ISDNユーザ・網インターフェースレイヤ3仕様
- [ 7 ] TTC標準 JT-Q850(1996/11/27)デジタル加入者線信号方式NO.1(DSS1)およびNO.7信号方式ISDNユーザ部(ISUP)における理由表示の使用法および生成源
- [ 8 ] TTC標準 JT-Q703(1994/4/27)メッセージ転送部 信号リンク機能部
- [ 9 ] TTC標準 JT-Q704(2002/5/30)メッセージ転送部 信号網機能部
- [ 10 ] TTC標準 JT-Q2763(2002/5/30)広帯域ISDN(B-ISDN)NO.7信号方式B-ISDNユーザ部(B-ISUP)フォーマット及びコード
- [ 11 ] TTC標準 JT-Q1218-b(1997/4/23)地域網-サービス提供網間IN(インテリジェントネットワーク)インターフェース
- [ 12 ] TTC標準 JT-Q1228-b(2001/11/27)地域網-サービス提供網間IN(インテリジェントネットワーク)インターフェース能力セット2
- [ 13 ] TTC標準 JT-Q1238.2-b(2001/11/27)地域網-サービス提供網間IN(インテリジェントネットワーク)インターフェース能力セット3-SCF-SSFインタフェース \*

#### 1.0.3 用語と定義

TTC標準 JT-Q762を参照

#### 1.0.4 略語

本標準内では以下の略語が使用される。

- ASN.1 抽象構文記法1
- ASE アプリケーションサービス要素

A T P	アクセス転送パラメータ
B C D	2進化10進数
C C B S	話中時再呼出
C C N R	無応答時再呼出
C C S S	再呼出サービス設定
C I C	回線番号
C U G	閉域ユーザグループ
D N I C	データ網識別符号
D P C	着信号局コード
D S S 1	デジタル加入者線信号方式NO. 1
F D M	周波数多重分割
G U G	GVNSユーザグループ
G V N S	グローバル仮想網サービス
H T R	到着困難
I A 5	国際アルファベットNO. 5
I N A P	インテリジェントネットワークアプリケーションプロトコル
I N N	網内番号表示
I S C	国際交換機センター
I S D N	サービス総合デジタル網
L F B	ビジー調査(MLPP付加サービスからの)
L S B	最下位ビット
M C I D	悪意呼通知
M L P P	多段階優先割込
M N I C	移動体網識別コード
M S B	最上位ビット
N I	網識別表示
N I	番号不完全
N R N	ネットワークルーティング番号
O / E	偶数/奇数
O P C	発信号局コード
O P S P	発加入サービス事業者
P I S N	私設サービス総合デジタル網
Q o R	クエリーオンリリース
R O S E	遠隔操作サービス要素
S C C P	信号接続制御部
S C F	サービス制御機能
S L S	信号リンク選択番号
S T	最終パルス信号(送出停止)
T A R	一時的代替ルーティング
T C C	電話国コード
T N R N	着側網ルーティング番号
U I D	ユーザ相互動作対話
V P N	仮想私設網

他の略語については、TTC標準JT-Q761を参照

#### 1.05 コーディング原則の概要

ISDNユーザ部のメッセージは、JT-Q703 2.2 章で記述されているフォーマットを有する信号ユニットを用いて、信号リンク上を転送される。

サービス情報オクテットで使用されるフォーマットとコードは、JT-Q704 14.2 章に記述される。ISDNユーザ部のサービス表示は“0101”である。

ISDNユーザ部を含む、各信号ユニットの信号情報フィールドはオクテットの整数倍であり次のものを含む。(図1-1/JT-Q763を参照)

- a) ルーチングラベル
- b) 回線番号
- c) メッセージ種別コード
- d) 固定長必須部
- e) 可変長必須部
- f) オプション部、これは固定長および可変長パラメータフィールドを含む。

注) サービス情報オクテット、ルーチングラベルおよび回線番号は、ISDNユーザ部とSCCP間で転送される情報には含まれない。

#  
#

ルーチングラベル
予備(4ビット)
回線番号
メッセージ種別
固定長必須部
可変長必須部
オプション部

図1-1/JT-Q763 ISDNユーザ部メッセージ  
(ITU-T Q.763)

各々のメッセージの記述は、次の章で規定される。

### 1.1 ルーチングラベル

ルーチングラベルのフォーマットとコードは、JT-Q704 2.2 章に記述されている。個々の回線接続において、ある回線接続に対して転送されるメッセージに対しては、同ルーチングラベルが使用される。

注) SLSビットは回線番号の下位4ビットが設定される。

### 1.2 回線番号

フォーマットを図1-2/JT-Q763に示す。

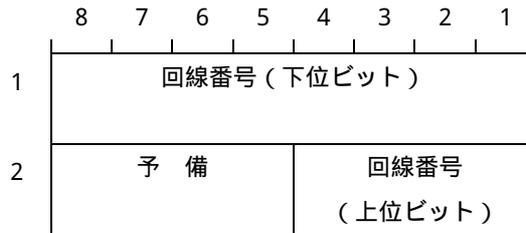


図1-2/JT-Q763 回線番号フィールド  
(ITU-T Q.763)

個々の回線の回線番号の割当ては、2局の相互合意または、きめられた割当て法によって決定される。

回線番号フィールドの予備4ビットは、

国際呼の場合、事前の両局合意によって回線番号の拡張用に保留されている。 #

国内呼の場合には、必要に応じて使用可能である。

いくつかの適用例が以下に定義される。 #

表1-1/JT-Q763  
(ITU-T Q.763) #

表1-2/JT-Q763  
(ITU-T Q.763) #

表1-3/JT-Q763  
(ITU-T Q.763) #

### 1.3 メッセージ種別

メッセージ種別は、1オクテットからなり、全てのメッセージに必須である。メッセージ種別によりISDNユーザ部のメッセージの機能とフォーマットが一義的に決まる。

この標準に記述された章は表1-4/JT-Q763にまとめてある。

表1-4/JT-Q763 (ITU-T Q.763) (1/2)

メッセージ種別	略称	参照(表)	コード	記事
アドレス完了	ACM	4-1/JT-Q763	0000 0110	
応答	ANM	4-2/JT-Q763	0000 1001	
アプリケーション転送	APM	4-31/JT-Q763	0100 0001	
閉塞	BLO	4-19/JT-Q763	0001 0011	
閉塞確認	BLA	4-19/JT-Q763	0001 0101	
呼経過	CPG	4-3/JT-Q763	0010 1100	
回線群閉塞	RGB	4-20/JT-Q763	0001 1000	
回線群閉塞確認	RGB A	4-20/JT-Q763	0001 1010	
回線状態要求(国内用)	CQM	4-21/JT-Q763	0010 1010	
回線状態応答(国内用)	CQR	4-4/JT-Q763	0010 1011	
回線群リセット	GRS	4-21/JT-Q763	0001 0111	
回線群リセット確認	GRA	4-5/JT-Q763	0010 1001	
回線群閉塞解除	CGU	4-20/JT-Q763	0001 1001	
回線群閉塞解除確認	CGU A	4-20/JT-Q763	0001 1011	
課金情報(国内用)	CRG	注1)	0011 0001	#
コンフュージョン	CFN	4-6/JT-Q763	0010 1111	
接続	CON	4-7/JT-Q763	0000 0111	
導通試験	COT	4-8/JT-Q763	0000 0101	
導通試験要求	CCR	4-19/JT-Q763	0001 0001	#
ファシリティ	FAC	4-25/JT-Q763	0011 0011	
ファシリティ受付	FAA	4-22/JT-Q763	0010 0000	#
ファシリティ拒否	FRJ	4-9/JT-Q763	0010 0001	#
ファシリティ要求	FAR	4-22/JT-Q763	0001 1111	#
順方向転送	FOT	4-17/JT-Q763	0000 1000	#
番号要求	IDR	4-27/JT-Q763	0011 0110	#
番号応答	IRS	4-28/JT-Q763	0011 0111	#
情報(国内用)	INF	4-10/JT-Q763	0000 0100	#
情報要求(国内用)	INR	4-11/JT-Q763	0000 0011	#
アドレス	IAM	4-12/JT-Q763	0000 0001	
ループ抑止	LOP	4-30/JT-Q763	0100 0000	
ループ確認(国内用)	LPA	4-19/JT-Q763	0010 0100	#
網リソース管理	NRM	4-26/JT-Q763	0011 0010	#
過負荷(国内用)	OLM	4-19/JT-Q763	0011 0000	#
バスアロンク(国内用)	PAM	4-23/JT-Q763	0010 1000	#
先行切断情報	PRI	4-32/JT-Q763	0100 0010	
切断	REL	4-13/JT-Q763	0000 1100	
復旧完了	RLC	4-14/JT-Q763	0001 0000	
回線リセット	RSC	4-19/JT-Q763	0001 0010	
再開	RES	4-18/JT-Q763	0000 1110	
分割	SGM	4-29/JT-Q763	0011 1000	
後続アドレス	SAM	4-15/JT-Q763	0000 0010	#
後続ディレクトリ番号(国内用)	SDM	4-33/JT-Q763	0100 0011	#
中断	SUS	4-18/JT-Q763	0000 1101	
閉塞解除	UBL	4-19/JT-Q763	0001 0100	
閉塞解除確認	UBA	4-19/JT-Q763	0001 0110	
未実装回線番号(国内用)	UCIC	4-19/JT-Q763	0010 1110	#
ユーザ部有効性	UPA	4-24/JT-Q763	0011 0101	#
ユーザ部テスト	UPT	4-24/JT-Q763	0011 0100	#
ユーザ・ユーザ情報	USR	4-16/JT-Q763	0010 1101	#
課金	CHG	4-34/JT-Q763	1111 1110	*

表 1 - 4 / J T - Q 7 6 3 (ITU-T Q.763) ( 2 / 2 )

留保コード(ITU-T 84年版で使用)	0 0 0 0 1 0 1 0	
	0 0 0 0 1 0 1 1	
	0 0 0 0 1 1 1 1	
	0 0 1 0 0 0 1 0	
	0 0 1 0 0 0 1 1	
	0 0 1 0 0 1 0 1	
	0 0 1 0 0 1 1 0	
留保コード(ITU-T 88年版で使用)	0 0 0 1 1 1 0 1	
	0 0 0 1 1 1 0 0	
	0 0 0 1 1 1 1 0	
	0 0 1 0 0 1 1 1	
留保コード(B - I S U Pで使用)	0 0 1 1 1 0 0 1	
	} 0 0 1 1 1 1 0 1	
将来使用の為留保コード	1 0 0 0 0 0 0 0	
留保コード(TTC1版で使用)	1 1 1 1 1 1 0 0	*
	1 1 1 1 1 1 0 1	*

注 1 ) 本信号フォーマットは国内使用

#### 1.4 フォーマットingの原則

各々のメッセージは3章に示されたパラメータをいくつか組合わせて構成される。各々のパラメータは1オクテットコードのパラメータ名を有する(表 3-1/JT-Q763 を参照)。パラメータ長は固定または可変であり、各々のパラメータには、以下に述べるように1オクテットの長さ表示を含みうる。

詳細フォーマットは、4章に述べられるように各々のメッセージ種別に対して一義的に規定される。

パラメータ間には不使用のオクテットはない。(例えばダミー)

フォーマット構成の概要を図1-3/JT-Q763に示す。

#### 1.5 固定長必須部

必須でかつ、固定長のパラメータは、固定長必須部に含まれる。

パラメータの位置、長さ及び順序は、メッセージ種別毎に一義的に規定される。そのため、パラメータ名と長さ表示はメッセージには含まれない。

#### 1.6 可変長必須部

可変長の必須のパラメータは、可変長必須部に含まれる。

ポインタが各パラメータの始めを示すのに使われる。各々ポインタは、1オクテットにコード化される。各々のパラメータ名とポインタが送出される順序はメッセージ種別ごとに定まっている。従って、パラメータ名はメッセージには含まれない。ポインタのコーディング法の詳細は、節 2.3 に示す。パラメータの数とポインタの数はメッセージ種別によって、一義的に決められる。

オプション部の始めもポインタで示される。

もし、メッセージ種別がオプション部を許されていないことを示す場合、このポインタは存在しない。

もし、メッセージ種別がオプション部を許されているが(図1-3の“オプションパラメータ終了表示”の存在により示される)、メッセージの中にオプション部が含まれていない場合、オール“0”から成るポインタが用いられる。

今後の全ての可変長必須部を含むメッセージ種別は、オプションが許されていることを示すことが勧められている。

すべてのポインタは、可変長必須部の始めに連続して送出される。各パラメータは、パラメータ長表示とそれに続くパラメータの内容を含む。もし、可変長必須パラメータがなくオプションパラメータが許されるならば、オプション部開始のポインタが含まれる。(オプションパラメータの存在がないとき、全て“0”に符号化されオプションパラメータが存在する場合は、“0000 0001”に符号化される。)

オプション部のポインタはオプション部が存在しないメッセージ種別についても、オール“0”で設定されることがある。受信側ではこれを正常と見なして処理する必要がある。

(注) 第1版をサポートするためのオプションである。

\*  
\*  
\*

## 1.7 オプション部

オプション部は、特定のメッセージ種別において、含まれたり含まれなかったりするパラメータから成る。固定長と可変長の両方のパラメータを含んでよい。もし、本標準に明確に定められていなければ、一種類のオプションパラメータは一つのメッセージ内に複数個を含む事ができない。オプションパラメータは任意の順序で送出してよい。各オプションパラメータは、パラメータ名（1 オクテット）と長さ表示（1 オクテット）に続いてパラメータの内容を含む。

## 1.8 オプションパラメータの終了表示オクテット

オプションパラメータが存在する場合、すべてのオプションパラメータ送出後、オール“0”から成る“オプションパラメータ終了表示”オクテットが送出される。もし、オプションパラメータが存在しなければ、“オプションパラメータ終了表示”オクテットは送出されない。

## 1.9 送出順序

すべてのフィールドは、整数個のオクテットからなるので、フォーマットはオクテットのスタックとして表す。送出される最初のオクテットは、スタックの最上位に示されているオクテットであり、最後に送出されるオクテットは、最下位にある（図 1-3/JT-Q763 参照）。特に明示されない限り、各オクテットおよびサブフィールド内では、最下位ビットから送出される。

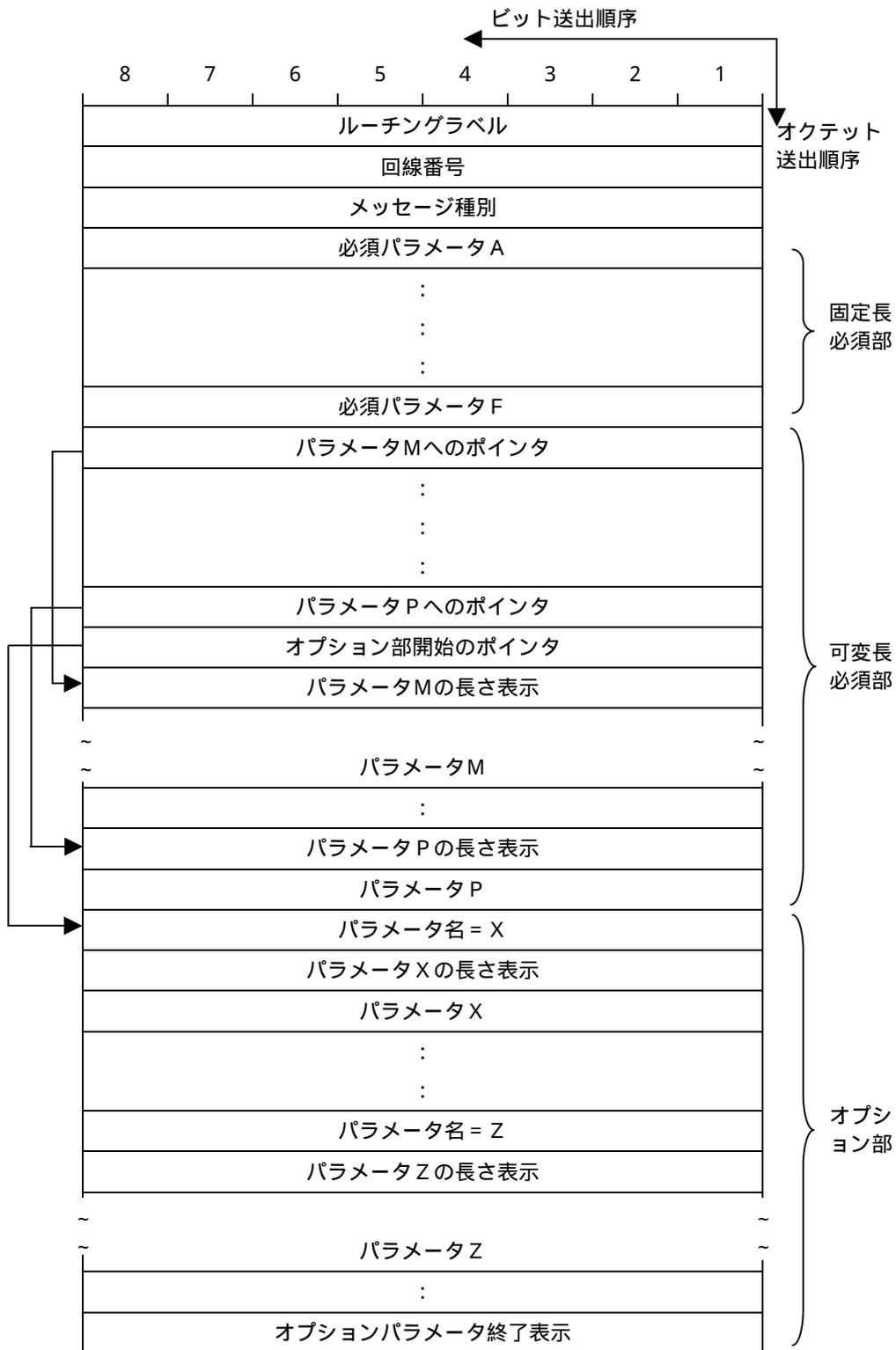


図 1 - 3 / JT - Q 7 6 3 一般的フォーマットの概観  
(ITU-T Q.763)

#### 1.10 予備ビットのコーディング

予備ビットは、特に明示されない限り“0”にコーディングされる。

### 1.11 国内用信号種別とパラメータ

信号種別コードおよびパラメータコードが国内用に必要な場合には、最上位のコードから順に下がって割り付ける。

すなわち“ 1 1 1 1 1 1 1 1 ”から割り付ける。

“ 1 1 1 1 1 1 1 1 ”から“ 1 1 1 0 0 0 0 0 ”の範囲の信号種別コードと“ 1 1 1 1 1 1 1 1 ”から“ 1 1 0 0 0 0 0 1 ”の範囲のパラメータ名コードは国内用として使用する。

信号種別コード空間の使用法を図 1 - 4 / J T - Q 7 6 3 に示す。

コード“ 1 1 1 1 1 1 1 1 ”から“ 1 1 1 1 0 0 0 0 ”はT T C固有仕様に使用する。  
 但し、コード“ 1 1 1 1 1 1 1 1 ”は将来のために保留する。コード“ 1 1 1 0 1 1 1 1 ”  
 からコード“ 1 1 1 0 0 0 0 0 ”は網固有仕様に使用する。

0000 0000 }	I T U - T 固有仕様
1101 1111 1110 0000 }	網固有仕様
1110 1111 1111 0000 }	T T C 固有仕様
1111 1111	

図 1 - 4 / J T - Q 7 6 3 信号種別コード空間の使用法

パラメータ名コード空間の使用法を図 1 - 5 / J T - Q 7 6 3 に示す。

コード“ 1 1 1 1 1 1 1 1 ”から“ 1 1 1 1 0 0 0 0 ”(T T C固有仕様(1))および  
 “ 1 1 0 1 0 1 1 1 ”から“ 1 1 0 0 0 0 0 1 ”(T T C固有仕様(2))はT T C固有仕様に、また、  
 コード“ 1 1 1 0 1 1 1 1 ”から“ 1 1 1 0 0 0 0 0 ”(網固有仕様(1))および“ 1 1 0 1 1 1 1 1 ”  
 から“ 1 1 0 1 1 0 0 0 ”(網固有仕様(2))は網固有仕様に使用する。

パラメータ名コードが必要な場合には、最上位のコードから順に下がって割り付ける。すなわち  
 “ 1 1 1 1 1 1 1 1 ”、“ 1 1 0 1 1 1 1 1 ”および“ 1 1 0 1 0 1 1 1 ”から割り付ける。

新たなコードをT T C固有仕様(2)または網固有仕様(2)空間に割り付ける場合は、T T C固有仕様(1)または網固有仕様(1)空間を使いきってから割り付ける。

但し、コード“ 1 1 1 1 1 1 1 1 ”は将来のために保留する。

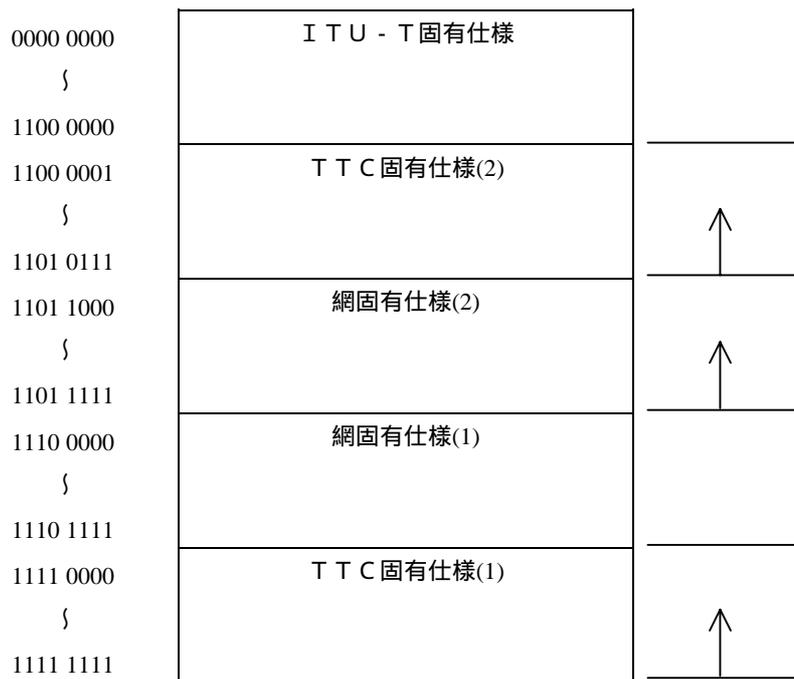


図 1 - 5 / J T - Q 7 6 3 パラメータコード名コード空間の使用方法

\*

#### 1.12 メッセージ種別コードとパラメータコードの割当て

I S U P で使用しない B - I S U P メッセージとパラメータコードは留保と記述する。

#### 1.13 「予備」コードと「留保」コードの意味

a) 予備コード：コードはこの標準に於いて以下を示す。

- ・ 予備
- ・ 国際用予備
- ・ 国内用予備

予備もしくは国際用予備として示されるコードは、将来 I T U - T 使用に適用されるコードである。

国内予備として示されるコードは I T U - T 使用に適用されない。

b) 留保コード：この標準に於いて以下の理由によりコードが確保されている。

- ・ 旧標準
- ・ 使用予定（しかしながら手順については、開発されていない）
- ・ 国内用

旧標準（例 ブルーブック）で確保されたコードは、将来適用されることはない。

手順が開発される時に、使用予定（例 将来の拡張）に確保されたコードが特定される。

国内用に確保されたコードは、I T U - T 用に適用されない。

## 2 . パラメータのコード

### 2.1 メッセージ種別のコード

メッセージ種別パラメータのコーディング法を表 1 - 4 / J T - Q 7 6 3 に示す。

## 2.2 長さ表示のコーディング

長さ表示のフィールドは、パラメータの内容フィールドのオクテット数を2進数でコード化して表示する。長さ表示にはパラメータ名のオクテットや長さ表示オクテットを含めない。

## 2.3 ポインタのコーディング

ポインタ値(2進数の)は、ポインタ値自身(含む)とこのポインタで指示されるパラメータの最初のオクテット(含まない)との間のオクテット数を示す。

ポインタ値オール“0”は、オプションパラメータの場合にオプションパラメータがないことを示すために使われる。

## 3 . I S D Nユーザ部のパラメータ

### 3.1 パラメータ名

パラメータ名のコードを、パラメータの内容を規定している章番号と併せて、表3 - 1 / J T - Q 7 6 3に示す。

表3 - 1 / J T - Q 7 6 3 ( I T U - T Q . 7 6 3 ) ( 1 / 3 )

パラメータ名	節番号	コード	記事
CCNR可能表示	3.83	0 1 1 1 1 0 1 0	#
CCSS	3.63	0 1 0 0 1 0 1 1	
HTR情報	3.89	1 0 0 0 0 0 1 0	#
MCID応答表示	3.32	0 0 1 1 1 1 0 0	#
MCID要求表示	3.31	0 0 1 1 1 0 1 1	#
MLPP優先	3.34	0 0 1 1 1 0 1 0	#
PHS端末識別番号	3.109	1 1 1 1 0 1 1 0	*
SCFid	3.71	0 1 1 0 0 1 1 0	
UID動作表示	3.78	0 1 1 1 0 1 0 0	
UID能力表示	3.79	0 1 1 1 0 1 0 1	
アクセス転送	3.3	0 0 0 0 0 0 1 1	
アクセス配送情報	3.2	0 0 1 0 1 1 1 0	
アプリケーション転送	3.82	0 1 1 1 1 0 0 0	
位置番号	3.30	0 0 1 1 1 1 1 1	#
移動通信用エンド情報転送	3.107	1 1 1 1 1 0 0 0	*
移動通信用呼番号	3.108	1 1 1 1 0 1 1 1	*
イベント情報	3.21	0 0 1 0 0 1 0 0	
エコー制御情報	3.19	0 0 1 1 0 1 1 1	#
オプション逆方向呼表示	3.37	0 0 1 0 1 0 0 1	
オプション順方向呼表示	3.38	0 0 0 0 1 0 0 0	
オプションパラメータ終了表示	3.20	0 0 0 0 0 0 0 0	
会議電話処理表示	3.76	0 1 1 1 0 0 1 0	#
回線群監視メッセージ種別	3.13	0 0 0 1 0 1 0 1	
回線状態表示(国内用)	3.14	0 0 1 0 0 1 1 0	
回線割当マップ	3.69	0 0 1 0 0 1 0 1	#
課金情報	3.104	1 1 1 1 1 0 1 1	*
課金情報種別	3.105	1 1 1 1 1 0 1 0	*
課金情報遅延(注)	3.113	1 1 1 1 0 0 1 0	*
課金ユーザ表示(国内用)	3.75	0 1 1 1 0 0 0 1	#
逆方向GVNS	3.62	0 1 0 0 1 1 0 1	#
逆方向呼表示	3.5	0 0 0 1 0 0 0 1	
緊急通報呼表示	3.117	1 1 0 1 0 1 1 1	*
クエリーオンリリース能力(網オプション)	3.91	1 0 0 0 0 1 0 1	#
契約者番号	3.106	1 1 1 1 1 0 0 1	*
後続番号	3.51	0 0 0 0 0 1 0 1	#
コールトランスファ参照	3.65	0 1 0 0 0 0 1 1	
コールトランスファ番号	3.64	0 1 0 0 0 1 0 1	#
国内用リダイレクション理由	3.111	1 1 1 1 0 1 0 0	*
呼提供処理表示	3.74	0 1 1 1 0 0 0 0	#
呼転送情報	3.6	0 0 1 1 0 1 1 0	#
呼転送処理表示	3.72	0 1 1 0 1 1 1 0	#
呼番号(国内用)	3.8	0 0 0 0 0 0 0 1	#
呼履歴情報	3.7	0 0 1 0 1 1 0 1	#
コレクトコール要求	3.81	0 1 1 1 1 0 0 1	#
サービス活性化(国内用)	3.49	0 0 1 1 0 0 1 1	#
事業者情報転送	3.114	1 1 1 1 0 0 0 1	*
自動輻輳レベル	3.4	0 0 1 0 0 1 1 1	
順方向GVNS	3.66	0 1 0 0 1 1 0 0	#

表3 - 1 / J T - Q 7 6 3 (ITU-T Q.763) ( 2 / 3 )

パラメータ名	節番号	コード	記事
順方向呼表示	3.23	0 0 0 0 0 1 1 1	
使用通路	3.56	0 0 1 1 0 1 0 1	#
情報表示 (国内用)	3.28	0 0 0 0 1 1 1 1	#
情報要求表示 (国内用)	3.29	0 0 0 0 1 1 1 0	#
信号局コード (国内用)	3.50	0 0 0 1 1 1 1 0	
接続先番号	3.16	0 0 1 0 0 0 0 1	
接続特性表示	3.35	0 0 0 0 0 1 1 0	
接続要求	3.17	0 0 0 0 1 1 0 1	#
相関 i d	3.70	0 1 1 0 0 1 0 1	
第一着 I N 番号	3.87	0 1 1 1 1 1 1 1	
第一着番号	3.39	0 0 1 0 1 0 0 0	
着 I N 番号	3.73	0 1 1 0 1 1 1 1	
着信転送情報	3.45	0 0 0 1 0 0 1 1	
着ディレトリ番号 (国内用)	3.86	0 1 1 1 1 1 0 1	
着番号	3.9	0 0 0 0 0 1 0 0	
中継網選択 (国内用)	3.53	0 0 1 0 0 0 1 1	
中断 / 再開表示	3.52	0 0 1 0 0 0 1 0	
通路要求表示	3.54	0 0 0 0 0 0 1 0	
通路要求プライム	3.55	0 0 1 1 1 1 1 0	#
転送先番号	3.46	0 0 0 0 1 1 0 0	
転送先番号制限	3.47	0 1 0 0 0 0 0 0	#
転送元番号	3.44	0 0 0 0 1 0 1 1	
伝播遅延カウンタ	3.42	0 0 1 1 0 0 0 1	#
導通表示	3.18	0 0 0 1 0 0 0 0	
ネットワークルーティング番号 (国内用)	3.90	1 0 0 0 0 1 0 0	#
発側 I S C 局コード	3.40	0 0 1 0 1 0 1 1	#
発信者番号非通知理由	3.110	1 1 1 1 0 1 0 1	*
発測地位置	3.88	1 0 0 0 0 0 0 1	
発測地速度情報	3.116	1 0 0 0 0 0 1 1	
発番号	3.10	0 0 0 0 1 0 1 0	
発ユーザ種別	3.11	0 0 0 0 1 0 0 1	
パラメータコンパチビリティ情報	3.41	0 0 1 1 1 0 0 1	
範囲と状態	3.43	0 0 0 1 0 1 1 0	
番号ポータビリティ順方向情報 (網オプション)	3.101	1 0 0 0 1 1 0 1	#
汎用通知識別子	3.25	0 0 1 0 1 1 0 0	
汎用ディジット (国内用)	3.24	1 1 0 0 0 0 0 1	
汎用番号	3.26	1 1 0 0 0 0 0 0	
ピボット状態表示 (国内用)	3.92	1 0 0 0 0 1 1 0	#
ピボット能力	3.84	0 1 1 1 1 0 1 1	#
ピボットルーティング回数	3.93	1 0 0 0 0 1 1 1	#
ピボットルーティング逆方向情報	3.95	1 0 0 0 1 0 0 1	#
ピボットルーティング順方向情報	3.94	1 0 0 0 1 0 0 0	#
ピボットルーティング表示	3.85	0 1 1 1 1 1 0 0	#
表示情報	3.77	0 1 1 1 0 0 1 1	#
ファシリティ表示	3.22	0 0 0 1 1 0 0 0	#
付加ユーザ種別	3.112	1 1 1 1 0 0 1 1	*
輻輳制御御済み通知情報	3.115	1 1 1 1 0 0 0 0	*
閉域接続インターロックコード	3.15	0 0 0 1 1 0 1 0	

表3 - 1 / J T - Q 7 6 3 (ITU-T Q.763) ( 3 / 3 )

パラメータ名	節番号	コード	記事
ホップカウンタ	3.80	0 0 1 1 1 1 0 1	#
メッセージコンパチビリティ情報	3.33	0 0 1 1 1 0 0 0	
網管理制御	3.68	0 1 0 1 1 0 1 1	#
網機能種別	3.102	1 1 1 1 1 1 1 0	*
網特有ファシリティ (国内用)	3.36	0 0 1 0 1 1 1 1	
ユーザ・ユーザ情報	3.61	0 0 1 0 0 0 0 0	
ユーザ・ユーザ表示	3.60	0 0 1 0 1 0 1 0	
ユーザサービス情報	3.57	0 0 0 1 1 1 0 1	
ユーザサービス情報プライム	3.58	0 0 1 1 0 0 0 0	#
ユーザテレサービス情報	3.59	0 0 1 1 0 1 0 0	
リダイレクション回数 (国内用)	3.97	0 1 1 1 0 1 1 1	
リダイレクション逆方向情報 (国内用)	3.100	1 0 0 0 1 1 0 0	
リダイレクション順方向情報 (国内用)	3.99	1 0 0 0 1 0 1 1	
リダイレクション状態表示 (国内用)	3.98	1 0 0 0 1 0 1 0	#
リダイレクション能力 (国内用)	3.96	0 1 0 0 1 1 1 0	
リモートオペレーション (国内用)	3.48	0 0 1 1 0 0 1 0	#
理由表示	3.12	0 0 0 1 0 0 1 0	
料金区域情報	3.103	1 1 1 1 1 1 0 1	*
ループ抑止表示	3.67	0 1 0 0 0 1 0 0	
留保コード (ITU-T 84 年版で使用)		0 0 0 1 0 1 0 0	
		0 0 0 1 1 0 0 1	
		0 0 0 1 1 0 1 1	
		0 0 0 1 1 1 0 0	
		0 0 0 1 1 1 1 1	
留保コード (ITU-T 88 年版で使用)		0 0 0 1 0 1 1 1	
留保コード (ITU-T 92 年版で使用)		0 1 0 0 0 0 0 1	
		0 1 0 0 0 0 1 0	
将来使用の為留保コード		1 0 0 0 0 0 0 0	
留保コード (T T C 1 版で使用)		1 1 1 1 1 1 0 0	*

以下のコードは B - I S U P で使用する為留保とする。

0100 0110 ~ 0100 1010 , 0100 1111 ~ 0101 1010 , 0101 1100 ~ 0110 0100 , 0110 0111 ~ 0110 1101 , 0111 0110 , 0111 1110 , 1000 1111 ~ 1001 1000

(注) 第9版 ~ 第16版をサポートするためのオプションである。

\*

### 3.2 アクセス配送情報

アクセス配送情報パラメータフィールドのフォーマットを図3 - 1 / JT - Q 7 6 3 に示す。

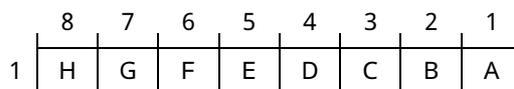


図3 - 1 / JT - Q 7 6 3 アクセス配送情報パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

ビット A アクセス配送表示

0 呼設定メッセージ送出

1 呼設定メッセージ送出なし

ビット H~B 予備

### 3.3 アクセス転送

アクセス転送パラメータフィールドのフォーマットを図3 - 2 / JT - Q 7 6 3 に示す。

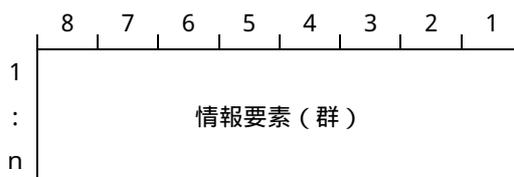


図3 - 2 / JT - Q 7 6 3 アクセス転送パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

情報要素は、JT - Q 9 3 1 の 4.5 章に記述されているようにコード化される。アクセス転送パラメータの中には複数の JT - Q 9 3 1 情報要素を含むことができる。アクセス転送パラメータにどの情報要素を含めるかは、信号手順により決定される。アクセス転送パラメータの内容はおそらく将来拡張されうるので、アクセス転送パラメータの最大長はメッセージ長によってのみ制限されるべきである。

[参考]

アクセス転送パラメータに含みうる JT - Q 9 3 1 情報を以下に示す。

低位レイヤ整合性情報、高位レイヤ整合性情報、発サブアドレス、着サブアドレス、経過識別子。

\*  
\*  
\*

### 3.4 自動輻轉レベル

自動輻轉レベルパラメータフィールドのフォーマットを図3 - 3 / JT - Q 7 6 3 に示す。

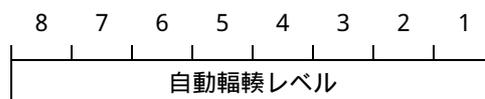


図3 - 3 / JT - Q 7 6 3 自動輻轉レベルパラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

次に示すコードは、自動輻轉レベルパラメータフィールドで使用される。

0 0 0 0 0 0 0	予備
0 0 0 0 0 0 1	輻轉レベル1
0 0 0 0 0 1 0	輻轉レベル2
0 0 0 0 0 1 1	} 予備
1 1 1 1 1 1 1	

### 3.5 逆方向呼表示

逆方向呼表示パラメータフィールドのフォーマットを図3 - 4 / J T - Q 7 6 3に示す。

	8	7	6	5	4	3	2	1
1	H	G	F	E	D	C	B	A
2	P	O	N	M	L	K	J	I

図3 - 4 / J T - Q 7 6 3 逆方向呼表示パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

次に示すコードは、逆方向呼表示パラメータフィールドで使用される。

ビット BA : 課金表示 (注1)

- 0 0 : 表示なし
- 0 1 : 非課金
- 1 0 : 課金
- 1 1 : 予備

注1) これらのビットの解釈は課金交換機だけによる。

ビット DC : 着ユーザ状態表示 (CLS)

- 0 0 : 表示なし
- 0 1 : 加入者空
- 1 0 : 空きの時接続 (国内用)
- 1 1 : 予備

ビット FE : 着ユーザ種別表示

- 0 0 : 表示なし
- 0 1 : 一般ユーザ
- 1 0 : 公衆電話
- 1 1 : 予備

ビット HG : エンド・エンド法表示 (注2)

- 0 0 : エンド・エンド法利用不可 (リンクバイリンク法のみ利用可)
- 0 1 : パスアロング法利用可 (国内用) #
- 1 0 : S C C P法利用可 #
- 1 1 : パスアロング法およびS C C P法利用可 (国内用) #

- ビット I : 相互接続表示 (注2)  
 0 : 相互接続なし (No7 信号 1 リンクである)  
 1 : 相互接続あり (No7 信号 1 リンクでない)
- ビット J : エンド・エンド情報表示 (国内用) (注2)  
 0 : エンド・エンド情報利用不可  
 1 : エンド・エンド情報利用可 #
- ビット K : I S U P 1 リンク表示 (注2)  
 0 : I S U P 1 リンクでない  
 1 : I S U P 1 リンクである
- ビット L : 保留表示 (国内用)  
 0 : 保留必要なし  
 1 : 保留必要 #
- ビット M : I S D N アクセス表示 ( I A I )  
 0 : 着側のユーザ網インタフェースが非 I S D N  
 1 : 着側のユーザ網インタフェースが I S D N
- ビット N : エコー制御装置表示  
 0 : 入回線エコー制御装置挿入なし  
 1 : 入回線エコー制御装置挿入済
- ビット P O : S C C P 法表示 (注2)  
 0 0 : 表示なし  
 0 1 : コネクションレス法利用可 #  
 1 0 : コネクションオリエンテッド法利用可 (国内用) #  
 1 1 : コネクションレス法及びコネクションオリエンテッド法利用可 (国内用) #

注2) ビット G ~ K および O, P で、プロトコル制御表示 ( P C I ) と呼ぶ。

3.6 呼転送情報 #

図3 - 5 / J T - Q 7 6 3 呼転送情報パラメータフィールド  
 (ITU-T Q.763) #

3.7 呼履歴情報 #

3.8 呼番号 (国内用) #

図3 - 6 / J T - Q 7 6 3 呼番号パラメータフィールド  
 (ITU-T Q.763) #

### 3.9 着番号

着番号パラメータフィールドのフォーマットを図3 - 7 / JT - Q 7 6 3 に示す。

	8	7	6	5	4	3	2	1
1	奇数 偶数	番号種別表示						
2	I N N 表示	番号計画表示			予備			
3	第 2 数字				第 1 数字			
:	アドレス情報 *							
:	(番号ディジット) *							
:								
n	フィラー (必要な場合)				第 N 数字			

図3 - 7 / JT - Q 7 6 3 着番号パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

次に示すコードは、着番号パラメータフィールドのサブフィールドで使用される。

a) 奇数 / 偶数表示

- 0 : 番号ディジットの桁数が偶数
- 1 : 番号ディジットの桁数が奇数

b) 番号種別表示

- 0 0 0 0 0 0 0 予備
- 0 0 0 0 0 0 1 加入者番号 (国内用)
- 0 0 0 0 0 1 0 不定 (国内用)
- 0 0 0 0 0 1 1 国内番号
- 0 0 0 0 1 0 0 国際番号
- 0 0 0 0 1 0 1 網特有番号 (国内用)
- 0 0 0 0 1 1 0 国内番号フォーマットのネットワークルーティング番号 (国内用)
- 0 0 0 0 1 1 1 網特有番号フォーマットのネットワークルーティング番号 (国内用)
- 0 0 0 1 0 0 0 着ディレクトリ番号を伴うネットワークルーティング番号 (国内用)  
のため留保

0 0 0 1 0 0 1	}	予備	
1 1 0 1 1 1 1			
1 1 1 0 0 0 0	}	国内使用のため留保	
1 1 1 1 1 0 1			
1 1 1 1 1 1 0			網特有番号（網が提供するサービス特番を表示）
1 1 1 1 1 1 1		予備	

c) 網内番号表示（INN表示）

- 0：網内へのルーチング可
- 1：網内へのルーチング不可

d) 番号計画表示

0 0 0	留保（不定）	*
0 0 1	ISDN（電話）番号計画（勧告E．164）	
0 1 0	予備	
0 1 1	データ番号計画（勧告X．121）	#
1 0 0	テレックス番号計画（勧告F．69）	#
1 0 1	国内使用のため留保（私設番号計画）	*
1 1 0	国内使用のため留保	*
1 1 1	予備	

注）「000：留保（不定）」と「101：国内使用のため留保（私設番号計画）」は TTC 標準 JT-Q1218-b 及び TTC 標準 JT-Q1228-b においてのみ使用され得る。 \*

e) アドレス情報

0 0 0 0	ディジット0	
0 0 0 1	ディジット1	
0 0 1 0	ディジット2	
0 0 1 1	ディジット3	
0 1 0 0	ディジット4	
0 1 0 1	ディジット5	
0 1 1 0	ディジット6	
0 1 1 1	ディジット7	
1 0 0 0	ディジット8	
1 0 0 1	ディジット9	
1 0 1 0	予備	
1 0 1 1	コード11	#
1 1 0 0	コード12	#
1 1 0 1	}	予備
1 1 1 0		
1 1 1 1	ST	#

最上位桁のアドレス情報が最初に送出される。その後アドレス情報が連続する4ビットフィールドで送出される。

f) フィラー

アドレス情報の桁数が奇数桁の場合、フィラーコード“0000”が最後のアドレス情報の後に挿入される。

### 3.10 発番号

発番号パラメータフィールドを図3 - 8 / JT - Q763に示す。

	8	7	6	5	4	3	2	1
1	奇数	番号種別表示						
	偶数							
2	不完全	番号計画表示			表示識別		網検証識別	
	表示							
3	第2数字				第1数字			
	アドレス情報 * (番号ディジット) *							
n	フィラー (必要な場合)				第N数字			

図3 - 8 / JT - Q763 発番号パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

次に示すコードは、発番号パラメータフィールドで使用される。

a) 奇数 / 偶数表示

3.9 a) 参照

b) 番号種別表示

0000000	予備	
0000001	加入者番号(国内用)	
0000010	不定(国内用)	
0000011	国内番号	
0000100	国際番号	
0000101	} 予備	
1101111		
1110000	} 国内使用のため留保	
1111101		
1111110	網特有番号	*
1111111	予備	*

注) 上記\*は第1版をサポートするためのオプション。

c) 番号不完全表示 ( N I )

- 0 完全
- 1 不完全

d) 番号計画表示

3.9 d) 参照

e) 表示識別

- 0 0 表示可
- 0 1 表示不可
- 1 0 使用不可 (注) (国内用)
- 1 1 網による規制のため留保

注) 表示識別をアドレス使用不可と表示した時、第3オクテットから第nオクテットまで省略され、  
項目 a), b), c), 及び d) は 0 で項目 f) は 1 1 でコーディングされる。

f) 網検証識別

- 0 0 留保 (国内用) (注)
- 0 1 ユーザ投入、網検証あり、成功
- 1 0 留保 (国内用) (注)
- 1 1 網投入

注) 符号 “ 0 0 ” と “ 1 0 ” は、各々 “ ユーザ投入網検証なし ” “ ユーザ投入、網検証あり、失敗 ”  
のために留保。 “ 0 0 ” と “ 1 0 ” は、国内用である。

g) アドレス情報

- 0 0 0 0 デジット 0
- 0 0 0 1 デジット 1
- 0 0 1 0 デジット 2
- 0 0 1 1 デジット 3
- 0 1 0 0 デジット 4
- 0 1 0 1 デジット 5
- 0 1 1 0 デジット 6
- 0 1 1 1 デジット 7
- 1 0 0 0 デジット 8
- 1 0 0 1 デジット 9
- 1 0 1 0 予備コード
- 1 0 1 1 コード 1 1
- 1 1 0 0 コード 1 2
- 1 1 0 1 } 予備
- }
- 1 1 1 1 }

#  
#

h) フィラー

3.9 f) を参照

### 3.11 発ユーザ種別

発ユーザ種別パラメータフィールドを図3 - 9 / J T - Q 7 6 3 に示す。

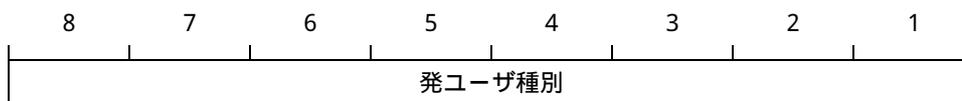


図3 - 9 / J T - Q 7 6 3 発ユーザ種別パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

次に示すコードは、発ユーザ種別表示パラメータフィールドで使用される。

0 0 0 0 0 0 0 0	発ユーザ種別不明	#
0 0 0 0 0 0 0 1	台、フランス語	#
0 0 0 0 0 0 1 0	台、英語	#
0 0 0 0 0 0 1 1	台、ドイツ語	#
0 0 0 0 0 1 0 0	台、ロシア語	#
0 0 0 0 0 1 0 1	台、スペイン語	#
0 0 0 0 0 1 1 0	} 相互協定によって結ばれた特定の言語を管理するために利用	#
0 0 0 0 0 1 1 1		
0 0 0 0 1 0 0 0		
0 0 0 0 1 0 0 1	国内台 (ITU-T 勧告 Q . 1 0 4 参照) (注) (国内用)	
0 0 0 0 1 0 1 0	一般発ユーザ	
0 0 0 0 1 0 1 1	優先発ユーザ	
0 0 0 0 1 1 0 0	データ呼 (音声帯域データ)	#
0 0 0 0 1 1 0 1	試験呼	
0 0 0 0 1 1 1 0	予備	
0 0 0 0 1 1 1 1	公衆電話	
0 0 0 1 0 0 0 0	} 予備	
1 1 0 1 1 1 1 1		
1 1 1 0 0 0 0 0	} 国内用として留保	
1 1 1 1 1 1 1 0		
1 1 1 1 1 1 1 1	予備	

注) 国内網では、コード“0 0 0 0 1 0 0 1”は、発ユーザが国内台であることを表示するために使用してよい。

### 3.12 理由表示

理由表示パラメータフィールドを図3-10/JT-Q763に示す。

	8	7	6	5	4	3	2	1
1	拡張	コーディング標準	予備	生成源				
2	拡張	理由表示値						
3	診断情報(必要ならば)							
:								
3n								

注) オクテット3から3nまでは省略してもよいし、くりかえしてもよい。

例えば、3 ~ 3n

図3-10/JT-Q763 理由表示パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

理由表示パラメータフィールドのサブフィールドに使用されるコードはJT-Q850に規定される。

### 3.13 回線群監視メッセージ種別

回線群監視メッセージ種別パラメータフィールドのフォーマットを図3-11/JT-Q763に示す。

8	7	6	5	4	3	2	1
H	G	F	E	D	C	B	A

図3-11/JT-Q763 回線群監視メッセージ種別パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

次に示すコードが回線群監視メッセージ種別パラメータフィールドで使われている。

ビット BA: 回線群監視メッセージ種別識別

00 保守

01 ハード障害

10 国内用に留保 (ITU-T 84 版で使用)

11 予備

ビット H-C: 予備

### 3.14 回線状態表示 (国内用)

回線状態表示パラメータフィールドのフォーマットは図3 - 12 / JT - Q763で示される。

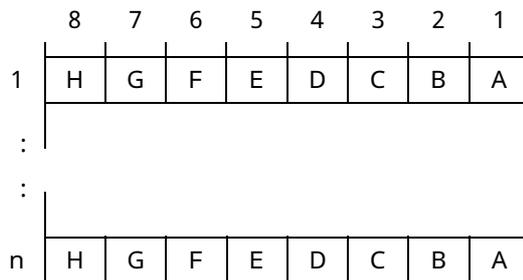


図3 - 12 / JT - Q763 回線状態表示パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

回線状態表示パラメータフィールドのオクテット数は規定範囲 + 1 に等しい。各回線状態表示オクテットはn番目のオクテットが回線番号m + n - 1と対応するように、回線番号と対応している。ここでmはメッセージに含まれる回線番号である。

次のコードが回線状態表示オクテットで使用される。

a) ビットDC = 00では

ビットBA : 保守閉塞状態

00 過渡状態

01 予備

10 予備

11 未実装

ビットH - E : 予備

b) ビットDCが00に等しくなければ

ビットBA : 保守閉塞状態

00 非閉塞 (運用中)

01 自局閉塞

10 相手局閉塞

11 両局閉塞

ビットDC : 呼処理状態

01 入側回線として使用中

10 出側回線として使用中

11 空

ビットFE : ハードウェア閉塞状態 (注)

00 非閉塞 (運用中)

01 自局閉塞

10 相手局閉塞

11 両局閉塞

ビットH - G : 予備

注) ビットFEが00にコード化されなければ、ビットDCが11にコード化される。

H G F E D C B A :	回線状態番号	*
0 0 0 0 0 0 0 0	過渡状態	*
0 0 0 0 0 0 0 1	予備	*
0 0 0 0 0 0 1 0	予備	*
0 0 0 0 0 0 1 1	未実装	*
0 0 0 0 0 1 0 0	入側回線として使用中、運用中	*
0 0 0 0 0 1 0 1	入側回線として使用中、自局閉塞	*
0 0 0 0 0 1 1 0	入側回線として使用中、相手局閉塞	*
0 0 0 0 0 1 1 1	入側回線として使用中、両局閉塞	*
0 0 0 0 1 0 0 0	出側回線として使用中、運用中	*
0 0 0 0 1 0 0 1	出側回線として使用中、自局閉塞	*
0 0 0 0 1 0 1 0	出側回線として使用中、相手局閉塞	*
0 0 0 0 1 0 1 1	出側回線として使用中、両局閉塞	*
0 0 0 0 1 1 0 0	空	*
0 0 0 0 1 1 0 1	空、自局閉塞	*
0 0 0 0 1 1 1 0	空、相手局閉塞	*
0 0 0 0 1 1 1 1	空、両局閉塞	*
0 0 0 1 0 0 0 0	} 予備	*
1 1 1 1 1 1 1 1		*

注) 上記\*は第1版をサポートするためのオプションである。

### 3.15 閉域接続インタロックコード

閉域接続インタロックコードパラメータフィールドのフォーマットを図3 - 13 / J T - Q 7 6 3 に示す。

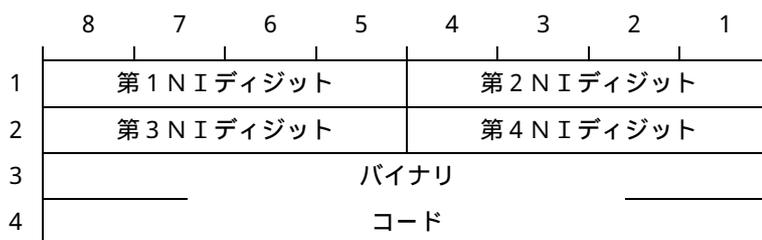


図3 - 13 / J T - Q 7 6 3 閉域接続インタロックコードパラメータフィールド (ITU-T Q.763)

以下のコードは閉域接続インタロックコードパラメータフィールドに使用される。

#### a) 網識別 (NI) (オクテット1及び2)

各々のディジットは0から9までの2進10進数表現で符号化される。

もし、本フィールドの第1ディジットが0或いは9に符号化されるならば、TCC(電話国番号)が第2から第4NIディジット(最上位TCCディジットは第2NIディジットである)に続く。もし、TCCが1或いは2ディジットの長さならば、必要に応じて、超過ディジットがRPOA或いは網識別子のためのコードとともにインサートされる。もし、オクテット2が要求されないならば、全て0に符号化される。

第1ディジットが1または8のコーディングは除外される。第1ディジットが0, 9, 1または8でないならば、本フィールドは勧告X.121に規定されるDNIC（データ網識別コード）を含む。

b) バイナリコード（オクテット3及び4）

コードは特定のISDNまたはデータ網により管理される閉域接続（CUG）を割り当てられる。オクテット3のビット8は最上位であり、オクテット4のビット1は最下位ビットである。

3.16 接続先番号

接続先番号パラメータフィールドのフォーマットは、図3-14/JT-Q763に示される。

	8	7	6	5	4	3	2	1
1	奇数/ 偶数	番号種別表示						
2	予備	番号計画表示			表示識別		網検証識別	
3	第2アドレス情報				第1アドレス情報			
.	アドレス情報 *							
.	(番号ディジット) *							
.								
n	フィルア（必要な場合）				第Nアドレス情報			

図3-14/JT-Q763 接続先番号パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

以下のコードが接続先番号パラメータフィールドのサブフィールドで使用される。

- a) 奇数/偶数表示：3.9 a) 参照
- b) 番号種別表示：3.10 b) 参照
- c) 番号計画表示：3.9 d) 参照
- d) 表示識別
  - 00 表示可
  - 01 表示不可
  - 10 使用不可
  - 11 予備

注) 表示識別が「アドレス使用不可」の場合は、オクテット3～nは省略される。そして、網検証識別は“11”の網投入に設定される。項目a)、b)及びc)のサブフィールドは“0”に符号化される

- e) 網検証識別：3.10 f) 参照
- f) アドレス情報：3.10 g) 参照
- g) フィラア：3.9 f) 参照

### 3.17 接続要求

#

図3 - 15 / J T - Q 7 6 3 接続要求パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

#

### 3.18 導通表示

導通表示パラメータフィールドのフォーマットは図3 - 16 / J T - Q 7 6 3で示される。

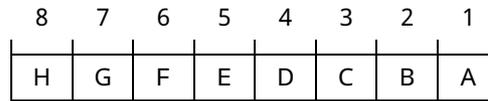


図3 - 16 / J T - Q 7 6 3 導通表示パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

次のコードが導通表示パラメータフィールドで使用される。

- ビット A : 導通表示  
0 導通不良  
1 導通良好  
ビット H - B : 予備

### 3.19 エコー制御情報

#

図3 - 17 / J T - Q 7 6 3 エコー制御情報パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

#

### 3.20 オプションパラメータ終了表示

メッセージの最後のオプションパラメータフィールドの後に、オプションパラメータ終了表示パラメータオクテットが続く。(節1.8参照)

### 3.21 イベント情報

イベント情報パラメータフィールドのフォーマットは図3 - 18 / J T - Q 7 6 3に示される。

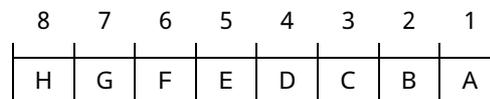


図3 - 18 / J T - Q 7 6 3 イベント情報パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

次のコードがイベント表示パラメータフィールドで使用される。

- ビットGFEDCBA : イベント表示  
0 0 0 0 0 0 0 予備  
0 0 0 0 0 0 1 呼出中  
0 0 0 0 0 1 0 経過表示  
0 0 0 0 0 1 1 インバンド情報あるいは適当なパターンが現在利用可能

0 0 0 0 1 0 0    ビジー時着信転送 (国内用)  
 0 0 0 0 1 0 1    無応答時着信転送 (国内用)  
 0 0 0 0 1 1 0    無条件着信転送 (国内用)  
 0 0 0 0 1 1 1    }  
                   } 予備 (注)  
 1 1 1 1 1 1 1

(注) 本表示のコーディングは、コンパチビリティのため追加規定はしない

ビット H : イベント提示制限表示 (国内用)

0    表示なし  
 1    提示制限

### 3.22 ファシリティ表示

図 3 - 1 9 / J T - Q 7 6 3    ファシリティ表示パラメータフィールド  
 (ITU-T Q.763)

#  
 #

### 3.23 順方向呼表示

順方向呼表示パラメータフィールドのフォーマットは図 3 - 2 0 / J T - Q 7 6 3 で示される。

	8	7	6	5	4	3	2	1
1	H	G	F	E	D	C	B	A
2	P	O	N	M	L	K	J	I

図 3 - 2 0 / J T - Q 7 6 3    順方向呼表示パラメータフィールド  
 (ITU-T Q.763)

次のコードが順方向呼表示パラメータフィールドで使用される。

ビット A : 国内/国際呼表示  
 0    国内呼として処理される呼  
 1    国際呼として処理される呼

このビットは、発信国でどのような値にも設定できる。国際交換網では、このビットはチェックされない。着信国において、国際網からの呼は、このビットが 1 に設定される。

ビット C B : エンド・エンド法表示 (注)  
 0 0    エンド・エンド法が利用できない (リンク・リンク法だけ利用できる)  
 0 1    パスアロング法が利用できる (国内用)  
 1 0    S C C P 法が利用できる  
 1 1    パスアロング法と S C C P 法が利用できる (国内用)

#  
 #  
 #

ビット D : 相互接続表示 (注)  
 0    相互接続表示なし (No7 信号方式 1 リンクである。)  
 1    相互接続表示あり

ビット E : エンド・エンド情報表示 (国内用) (注)  
 0    エンド・エンド情報利用できない

- 1 エンド・エンド情報利用できる #
  - ビット F : I S U P 1リンク表示 (注)
  - 0 I S U P 1リンクでない
  - 1 I S U P 1リンクである
  - ビット H G : I S U P 1リンク希望表示
  - 0 0 I S U P 1リンクを希望するが必須ではない
  - 0 1 I S U P 1リンクを希望しない
  - 1 0 I S U P 1リンクを希望し必須である
  - 1 1 予備
  - ビット I : I S D Nアクセス表示
  - 0 発側のユーザ・網インタフェースが非 I S D N
  - 1 発側のユーザ・網インタフェースが I S D N
  - ビット K J : S C C P法表示 (注)
  - 0 0 表示なし
  - 0 1 コネクションレス法が利用できる (国内用) #
  - 1 0 コネクション・オリエンテッド法が利用できる #
  - 1 1 コネクションレス法とコネクション・オリエンテッド法が利用できる (国内用) #
  - ビット L : 予備
  - ビット P - M : 国内使用に留保
- 注) ビット B - F と J - K でプロトコル制御表示を構成する。

### 3.24 汎用ディジット (国内用)

汎用ディジットパラメータフィールドのフォーマットは図3 - 21 / J T - Q 7 6 3で示される。

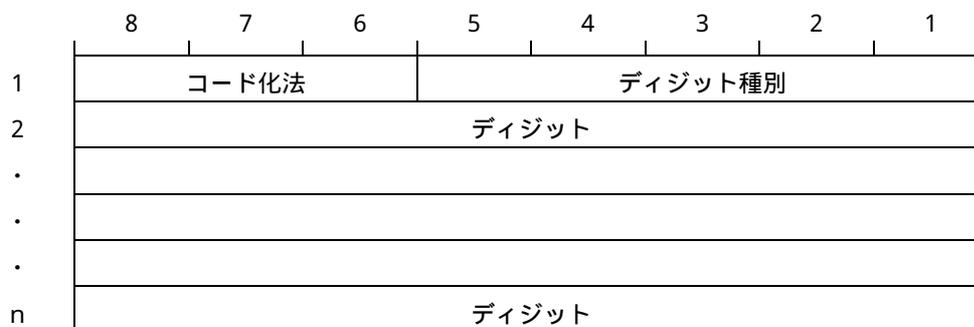


図3 - 21 / J T - Q 7 6 3 汎用ディジットパラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

以下のコードが汎用ディジットパラメータフィールドのサブフィールドで使用される。

- a) コード化法
- 0 0 0 B C D偶数 (偶数桁のディジット)
- 0 0 1 B C D奇数 (奇数桁のディジット)
- 0 1 0 I A 5文字
- 0 1 1 バイナリコード

1 0 0 }  
 ) } 予備  
 1 1 1 }

b) デジタル種別

0 0 0 0 0 アカウントコード用に留保  
 0 0 0 0 1 認証コード用に留保  
 0 0 0 1 0 私設網トラベリングクラスマーク用に留保  
 0 0 0 1 1 ビジネス通信グループ識別子用に留保  
 0 0 1 0 0 }  
 ) } 国内用として留保  
 1 1 1 0 1 }  
 1 1 1 1 0 相関 i d \*  
 1 1 1 1 1 拡張用に留保

c) デジタル

コード化法およびデジタル種別に従ってコーディングされる。

3.25 汎用通知識別子

汎用通知識別子パラメータフィールドのフォーマットは、図3 - 2 2 / J T - Q 7 6 3 に示される。

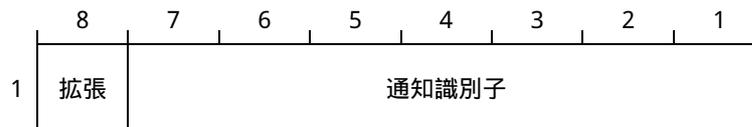


図3 - 2 2 / J T - Q 7 6 3 汎用通知識別子パラメータフィールド  
 (ITU-T Q.763)

以下のコードが汎用通知識別子パラメータフィールドのサブフィールドで使用される。

a) 拡張表示

0 次オクテットに続く  
 1 最終オクテット

b) 通知識別子

0 0 0	0 0 0 0	ユーザ中断	#
0 0 0	0 0 0 1	ユーザ再開	#
0 0 0	0 0 1 0	ベアラサービス変更	#
0 0 0	0 0 1 1	ASN. 1コーディングの拡張のための識別	#
0 0 0	0 1 0 0	呼完結遅延	#
0 0 0	0 1 0 1	} 予備	
1 0 0	0 0 0 1		
1 0 0	0 0 1 0	会議電話開始	#
1 0 0	0 0 1 1	会議電話終了	#
1 0 0	0 1 0 0	他のユーザ参加	#

1 0 0	0 1 0 1	呼孤立	#
1 0 0	0 1 1 0	再接続	#
1 0 0	0 1 1 1	他のユーザ孤立	#
1 0 0	1 0 0 0	他のユーザ再接続	#
1 0 0	1 0 0 1	他のユーザ分離	#
1 0 0	1 0 1 0	他のユーザ切断	#
1 0 0	1 0 1 1	会議電話フローティング	#
1 0 0	1 1 0 0	} 予備	
	}		
1 0 1	1 1 1 1		
1 1 0	0 0 0 0	呼は待機中の呼である	
1 1 0	0 0 0 1	} 予備	
	}		
1 1 0	0 1 1 1		
1 1 0	1 0 0 0	着信転送起動中 ( D S S 1 において使用 )	#
1 1 0	1 0 0 1	呼転送、呼び出し中	#
1 1 0	1 0 1 0	呼転送、通信中	#
1 1 0	1 0 1 1	} 予備	
	}		
1 1 1	1 0 0 0		
1 1 1	1 0 0 1	相手保留	
1 1 1	1 0 1 0	相手保留解除	
1 1 1	1 0 1 1	呼は転送される	#

上記以外の値は現状では使用せず、将来への拡張のため留保する。

### 3.26 汎用番号

汎用番号パラメータフィールドのフォーマットは、図3 - 23 / J T - Q 7 6 3 に示される。

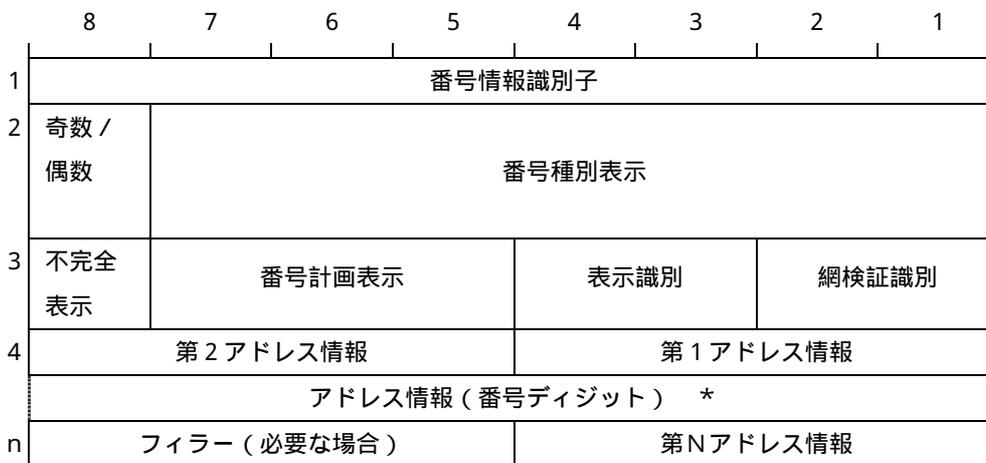


図3 - 23 / J T - Q 7 6 3 汎用番号パラメータフィールド  
( ITU-T Q.763 )

以下のコードが汎用番号パラメータフィールドのサブフィールドで使用される。

a) 番号情報識別子

0 0 0 0 0 0 0 0	留保 (ダイヤル番号) (国内用)	
0 0 0 0 0 0 0 1	付加着番号 (国内用)	#
0 0 0 0 0 0 1 0	留保 (付加ユーザ提供発番号 - 網検証、失敗) (国内用)	
0 0 0 0 0 0 1 1	留保 (付加ユーザ提供発番号 - 網検証なし) (国内用)	
0 0 0 0 0 1 0 0	留保 (転送元最終番号) (国内用)	
0 0 0 0 0 1 0 1	付加接続先番号	
0 0 0 0 0 1 1 0	付加発番号	
0 0 0 0 0 1 1 1	付加第一着番号	*
0 0 0 0 1 0 0 0	付加転送元番号のため留保	
0 0 0 0 1 0 0 1	付加転送先番号のため留保	
0 0 0 0 1 0 1 0	留保 (1992年版で使用)	
0 0 0 0 1 0 1 1	} 予備	
0 1 1 1 1 1 1 1		
1 0 0 0 0 0 0 0	} 国内使用のため留保	
1 1 1 1 1 1 1 0		
1 1 1 1 1 1 1 1	拡張のため留保	

b) 奇数 / 偶数表示 : 3.9 a) 参照

c) 番号種別表示

0 0 0 0 0 0 0	予備	
0 0 0 0 0 0 1	加入者番号 (国内用)	
0 0 0 0 0 1 0	不定 (国内用)	
0 0 0 0 0 1 1	国内番号	
0 0 0 0 1 0 0	国際番号	
0 0 0 0 1 0 1	} 予備	
1 1 0 1 1 1 1		
1 1 1 0 0 0 0	} 国内使用のため留保	
1 1 1 1 1 0 1		
1 1 1 1 1 1 0	網特有番号	*
1 1 1 1 1 1 1	予備	

注 : 各付加サービス毎で利用できるコードと可能なデフォルト設定は付加サービスの標準 (JT-Q 73X) に記述されている。

d) 番号不完全表示

- 0 完全
- 1 不完全

e) 番号計画表示

- 0 0 0 予備

- 0 0 1 I S D N (電話) 番号計画 (勧告 E . 1 6 4 )
- 0 1 0 予備
- 0 1 1 データ番号計画 (勧告 X . 1 2 1 ) (国内用)
- 1 0 0 テレックス番号計画 (勧告 F . 6 9 ) (国内用)
- 1 0 1 私設番号計画 (国内用)
- 1 1 0 国内使用のため留保
- 1 1 1 予備

注：各付加サービス毎で利用できるコードと可能なデフォルト設定は付加サービスの標準 ( J T - Q 7 3 X ) に記述されている。

f ) 表示識別

- 0 0 表示可
- 0 1 表示不可
- 1 0 使用不可
- 1 1 予備

注：各付加サービス毎で使用するコードと可能なデフォルト設定は付加サービスの標準 ( J T - Q 7 3 X ) に記述されている。使用不可の場合、項目 b) , c) , d) 及び e) は 0'で項目 g) は 1 1 (網投入) でコーディングされる。

g ) 網検証識別

番号情報識別子が 0 0 0 0 0 1 0 1 (付加接続先番号) 又は 0 0 0 0 0 1 1 0 (付加発番号) にコード化された場合についてのみ、この表示は以下のようにコード化され使用される。

- 0 0 ユーザ投入、網検証なし
- 0 1 ユーザ投入、網検証あり、成功
- 1 0 ユーザ投入、網検証あり、失敗
- 1 1 網投入

注：各付加サービス毎で利用できるコードと可能なデフォルト設定は付加サービスの標準 ( J T - Q 7 3 X ) に記述されている。

h ) アドレス情報

- 0 0 0 0 デジット 0
- 0 0 0 1 デジット 1
- 0 0 1 0 デジット 2
- 0 0 1 1 デジット 3
- 0 1 0 0 デジット 4
- 0 1 0 1 デジット 5
- 0 1 1 0 デジット 6
- 0 1 1 1 デジット 7
- 1 0 0 0 デジット 8
- 1 0 0 1 デジット 9
- 1 0 1 0 } 予備
- ) } 予備
- 1 1 1 1 }

i ) フィラー：3.9 f) 参照

3.27 留保 (92年版で使用)

3.28 情報表示 (国内用)

図3 - 24 / JT - Q763 情報表示パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

#  
#

3.29 情報要求表示 (国内用)

図3 - 25 / JT - Q763 情報要求表示パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

#  
#

3.30 位置番号

図3 - 26 / JT - Q763 位置番号パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

#  
#

3.31 MCID要求表示

図3 - 27 / JT - Q763 MCID要求表示パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

#  
#

3.32 MCID応答表示

図3 - 28 / JT - Q763 MCID応答表示パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

#  
#

3.33 メッセージコンパチビリティ情報

メッセージコンパチビリティ情報パラメータフィールドを図3 - 29 / JT - Q763に示す。

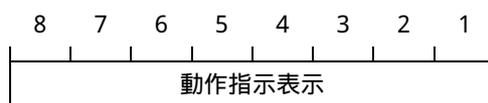


図3 - 29 / JT - Q763 メッセージコンパチビリティ情報パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

以下のコードは、メッセージコンパチビリティ情報パラメータフィールドのサブフィールドとして使用される。

a) 動作指示表示

動作指示表示サブフィールドのフォーマットを、図3 - 30 / JT - Q763 に示す

	8	7	6	5	4	3	2	1
1	拡張	G	F	E	D	C	B	A
1a	拡張	拡張動作指示表示 (必要時)						
1n	1	拡張動作指示表示 (必要時)						

図3 - 30 / JT - Q763 動作指示表示サブフィールド  
(ITU-T Q.763)

以下に示すコードが動作指示表示サブフィールドとして使用される。

- ビット A : 中継交換機転送表示
  - 0 中継交換機解釈
  - 1 終端ノード解釈
- ビット B : 呼解放表示
  - 0 呼を解放しない
  - 1 呼を解放する
- ビット C : 通知送信表示
  - 0 通知を送信しない
  - 1 通知を送信する
- ビット D : メッセージ廃棄表示
  - 0 メッセージを廃棄しない (通過)
  - 1 メッセージを廃棄する
- ビット E : 通過不可表示
  - 0 呼を解放する
  - 1 情報を廃棄する
- ビット GF : 広帯域 / 狭帯域相互接続表示
  - 00 通過
  - 01 信号破棄
  - 10 呼解放
  - 11 留保、00と想定

b) 拡張表示

3.25 a) 参照

c) 拡張動作指示表示

必要になった時定義される。

3.34 MLPP優先

図3 - 31 / JT - Q763 MLPP優先パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

#  
#

### 3.35 接続特性表示

接続特性表示パラメータフィールドのフォーマットは図3 - 32 / JT - Q763で示される。



図3 - 32 / JT - Q763 接続特性表示パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

次のコードが接続特性表示パラメータフィールドで使用される。

- ビット BA : 衛星回線表示
- 00 接続において衛星回線なし
  - 01 接続において衛星回線1回線あり
  - 10 接続において衛星回線2回線あり
  - 11 予備
- ビット DC : 導通試験表示
- 00 導通試験不要
  - 01 導通試験必要
  - 10 前位で導通試験実施
  - 11 予備
- ビット E : エコー制御装置表示
- 0 出回線エコー制御装置挿入せず
  - 1 出回線エコー制御装置挿入
- ビット H - F : 予備

### 3.36 網特有ファシリティ (国内用)

網特有ファシリティパラメータフィールドのフォーマットは、図3 - 33 / JT - Q763に示される。

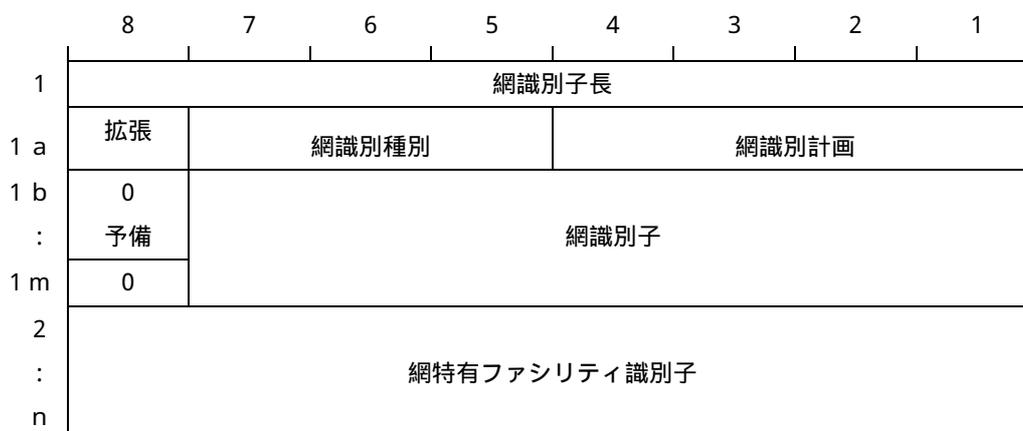


図3 - 33 / JT - Q763 網特有ファシリティパラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

以下のコードが網特有ファシリティパラメータフィールドのサブフィールドで使用される。

a) 網識別子長

本フィールドは、オクテット1 a、及び1 b ~ 1 mに示される網識別子のオクテット長さを含む。値が0 0 0 0 0 0 0 0の場合、オクテット1 a ~ 1 mは省略されている。

b) 拡張表示

3.25 a) 参照

c) 網識別種別

ビット 7 6 5

0 1 0 国内網識別子

0 1 1 国際網識別子のため留保(注)

その他 予備

網識別種別が、「0 1 0 国内網識別子」に符号化される場合、網識別計画と網識別子は国内的に符号化される。

(注) 0 1 1 値は、国際使用のため留保とし、このパラメータの場合は将来、国際使用として受入れられる。

d) 網識別計画

e) 網識別子

f) 網特有ファシリティ識別子

本フィールドは、網識別子によって識別された網による特定の規則に従って符号化される。網は、標準JT-Q 9 3 2のスティミュラス系の情報要素と同様の符号化規則を採用してもよい。この場合、複数情報要素がこのフィールドに含まれてもよい。

### 3.37 オプション逆方向呼表示

オプション逆方向呼表示パラメータフィールドのフォーマット及びコーディングは図3-34/JT-Q 7 6 3で示される。

8	7	6	5	4	3	2	1
H	G	F	E	D	C	B	A

図3-34/JT-Q 7 6 3 オプション逆方向呼表示パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

次のコードがオプション逆方向呼表示パラメータフィールドで使用される。

ビット A: インバンド情報表示

0 表示なし

1 インバンド情報あるいは適当なパターンが現在利用可能

ビット B: 着信転送可能性表示

0 表示なし

1 着信転送の可能性がある

#

ビット C: 簡易分割表示

0 付加情報が送出不される

1 付加情報は分割メッセージで送出不される

ビット D : MLPPユーザ表示

0 表示なし

1 MLPPユーザ

#

#

ビット H - E : 国内使用に留保

### 3.38 オプション順方向呼表示

オプション順方向呼表示パラメータフィールドのフォーマットは、図3 - 35 / JT - Q763に示される。

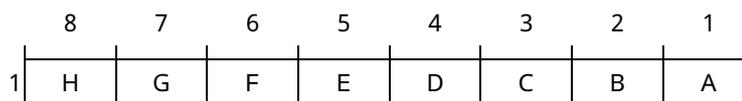


図3 - 35 / JT - Q763 オプション順方向呼表示パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

以下のコードがオプション順方向呼表示パラメータフィールドのサブフィールドで使用される。

ビット BA : 閉域接続呼表示

00 非CUG呼

01 予備

10 CUG呼、発信アクセス許容

11 CUG呼、発信アクセス非許容

ビット C : 簡易分割表示

0 付加情報が送出されない

1 付加情報は分割メッセージで送出される

ビット G - D : 予備

ビット H : 接続先番号要求表示

0 非要求

1 要求

3.39 第一着番号

第一着番号パラメータフィールドのフォーマットは図3 - 36 / JT - Q763で示される。

	8	7	6	5	4	3	2	1
1	奇数 偶数	番号種別表示						
2	予備	番号計画表示			表示識別		予備	
3	第2数字				第1数字			
:	アドレス情報 *							
:	(番号ディジット) *							
:								
n	フィラー (必要な場合)				第N数字			

図3 - 36 / JT - Q763 第一着番号パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

次に示すコードは、第一着番号パラメータフィールドで使用される。

a) 奇数 / 偶数表示

3.9 a) 参照

b) 番号種別表示

0000000	予備
0000001	加入者番号(国内用)
0000010	不定(国内用)
0000011	国内番号(国内用)
0000100	国際番号
0000101	} 予備
}	
1101111	} 国内使用のため留保
1110000	
}	
1111110	} 予備
1111111	

c) 番号計画表示

3.9 d) 参照

- d) 表示識別
  - 3.10 e) 参照
- e) アドレス情報
  - 3.10 g) 参照
- f) フィラー
  - 3.9 f) を参照

3.40 発側 I S C 局コード

#

3.41 パラメータコンパチビリティ情報

パラメータコンパチビリティ情報パラメータフィールドのフォーマットを図 3 - 3 7 / J T - Q 7 6 3 に示す。



図 3 - 3 7 / J T - Q 7 6 3 パラメータコンパチビリティ情報パラメータフィールド (ITU-T Q.763)

以下のコードはパラメータコンパチビリティ情報パラメータフィールドに使用される。

a) 第 N 新規パラメータ名

本フィールドは表 3 - 1 / J T - Q 7 6 3 による第 n 新規パラメータのパラメータ名を含む。

b) 動作指示表示

動作指示表示サブフィールドのフォーマットは図 3 - 3 7 a / J T - Q 7 6 3 に示す。

1	拡張	G	F	E	D	C	B	A
1a	拡張	O	N	M	L	K	J	I
				.				
				.				
1n	1	拡張動作指示表示 (必要時)						

図 3 - 3 7 a / J T - Q 7 6 3 動作指示表示サブフィールド (ITU-T Q.763)

以下のコードは動作指示表示サブフィールドに使用される。

ビット A : 中継交換機転送表示

- 0 中継交換機解釈
- 1 終端ノード解釈

ビット B : 呼解放表示

- 0 呼を解放しない
- 1 呼を解放する

ビット C : 通知送信表示

- 0 通知を送信しない
- 1 通知を送信する

ビット D : メッセージ廃棄表示

- 0 メッセージを廃棄しない (通過)
- 1 メッセージを廃棄する

ビット E : パラメータ廃棄表示

- 0 パラメータを廃棄しない (通過)
- 1 パラメータを廃棄する

ビット GF : 通過不可能表示

- 0 0 呼解放
- 0 1 信号破棄
- 1 0 パラメータ破棄
- 1 1 留保 (0 0として解釈)

c) 拡張表示

3.25 a) 参照

d) ビット J I 広帯域 / 狭帯域相互接続表示

- 0 0 通過
- 0 1 信号破棄
- 1 0 呼解放
- 1 1 パラメータ破棄

e) ビット O ~ K 予備

f) 動作指示表示

このビットは必要なとき規定される。

### 3.42 伝播遅延カウンタ

図 3 - 3 8 / J T - Q 7 6 3 伝播遅延カウンタパラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

#  
#

### 3.43 範囲と状態

範囲と状態パラメータフィールドのフォーマットは図3 - 39 / JT - Q763で示される。

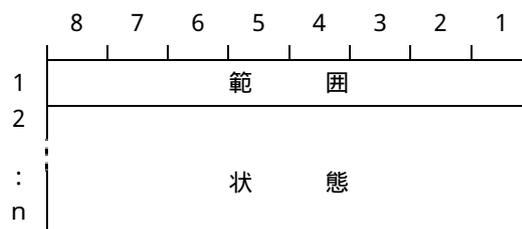


図3 - 39 / JT - Q763 範囲と状態パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

次のコードが範囲と状態パラメータフィールドのサブフィールドで使用される。

#### a) 範囲

0 から 2 5 5 の範囲のバイナリ表現の数。その数はメッセージによって影響される回線の範囲を示す範囲コード + 1 によって表される。回線群監視メッセージで影響される回線数は、3 2 回線以下に限られる。回線群リセット、回線群状態要求メッセージ及び回線群状態応答メッセージのために、範囲の値を 3 1 以下にする必要がある。回線群閉塞および閉塞解除メッセージのためには、範囲値は 2 5 5 までであってもよいが、1 に設定する状態ビットの数は 3 2 以下でなければならない。

回線群閉塞、閉塞解除およびリセットメッセージでは、範囲コード 0 は留保とする。範囲コード 0 は、回線群状態要求及び回線群状態応答時に使用される。

#### b) 状態

状態サブフィールドは、0 ~ 2 5 5 に番号づけられた 2 から 2 5 6 までの状態ビットを含む。状態ビット 0 は、最初の状態サブフィールドオクテットの第 1 ビットに位置する。他の状態ビットは順に従う。状態サブフィールドの状態ビットの数は、( 範囲 + 1 ) と等しい。

各々の状態ビットは状態ビット n が回線番号 m + n と関係するように、回線番号と関係している。ここで m は、メッセージに含まれる回線番号である。

状態ビットは、次のようにコード化される。

#### - 回線群閉塞メッセージ

0 表示なし

1 閉塞

#### - 回線群閉塞確認メッセージ

0 表示なし

1 閉塞確認

#### - 回線群閉塞解除メッセージ

0 表示なし

1 閉塞解除

#### - 回線群閉塞解除確認メッセージ

0 表示なし

1 閉塞解除確認

- 回線群リセット確認メッセージ
  - 0 保守のための閉塞ではない
  - 1 保守のために閉塞

### 3.44 転送元番号

転送元番号パラメータフィールドのフォーマットは、図3 - 36 / J T - Q 7 6 3 に示すフォーマットに一致している。

次に示すコードは、転送元番号パラメータフィールドで使用される。

- a) 奇数 / 偶数表示
  - 3.9 a) 参照
- b) 番号種別表示
  - 3.10 b) 参照
- c) 番号計画表示
  - 3.9 d) 参照
- d) 表示識別
  - 3.10 e) 参照
- e) アドレス情報
  - 3.10 g) 参照
- f) フィラー
  - 3.9 f) 参照

### 3.45 着信転送情報

着信転送情報パラメータフィールドのフォーマットは図3 - 40 / J T - Q 7 6 3 で示される。

	8	7	6	5	4	3	2	1
1	H	G	F	E	D	C	B	A
2	P	O	N	M	L	K	J	I

注) このパラメータは I S U P 8 8 年版から 2 オクテット目を除いた形で受信するかもしれない。

図3 - 40 / J T - Q 7 6 3 着信転送情報パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

次のコードが着信転送情報パラメータフィールドで使用される。

ビット C B A :	転送表示	
0 0 0	転送なし (国内用)	#
0 0 1	迂回呼 (国内用)	#
0 1 0	迂回呼、全着信転送情報表示不可 (国内用)	#
0 1 1	着信転送呼	
1 0 0	着信転送呼、全着信転送情報表示不可	
1 0 1	迂回呼、着信転送先番号表示不可 (国内用)	#
1 1 0	着信転送呼、着信転送先番号表示不可 (国内用)	#
1 1 1	予備	
ビット D :	予備	

ビット	H G F E :	第一転送理由	
	0 0 0 0	不定 / 使用不可	
	0 0 0 1	ユーザビジー (国内用)	
	0 0 1 0	無応答 (国内用)	
	0 0 1 1	無条件 (国内用)	
	0 1 0 0	呼出中呼毎着信転送	*
	0 1 0 1	即時レスポンス呼毎着信転送	*
	0 1 1 0	移動端末着信不可	*
	0 1 1 1	} 予備	
	}		
	1 1 1 1		

ビット K J I : 転送回数  
1 から 5 の間のバイナリ数で表される呼が遭遇した着信転送の数

ビット L : 国内用に留保

ビット	P O N M :	転送理由
	0 0 0 0	不定 / 使用不可
	0 0 0 1	ユーザビジー
	0 0 1 0	無応答
	0 0 1 1	無条件
	0 1 0 0	呼出中呼毎着信転送
	0 1 0 1	即時レスポンス呼毎着信転送
	0 1 1 0	移動端末着信不可
	0 1 1 1	} 予備
	}	
	1 1 1 1	

### 3.46 転送先番号

転送先番号パラメータフィールドのフォーマットは図 3 - 7 / J T - Q 7 6 3 に示されるフォーマットと同じである。

次のコードが転送先番号パラメータフィールドで使用される。

#### a) 奇数 / 偶数表示

3.9 a) 参照

#### b) 番号種別表示

0 0 0 0 0 0 0	予備
0 0 0 0 0 0 1	加入者番号 (国内用)
0 0 0 0 0 1 0	不定 (国内用)
0 0 0 0 0 1 1	国内番号
0 0 0 0 1 0 0	国際番号
0 0 0 0 1 0 1	予備
0 0 0 0 1 1 0	国内番号フォーマットのネットワークルーティング番号 (国内用)
0 0 0 0 1 1 1	網特有番号フォーマットのネットワークルーティング番号 (国内用)

0 0 0 1 0 0 0 着ディレクトリ番号を伴うネットワークルーティング番号（国内用）  
のため留保

0 0 0 1 0 0 1 }  
 } } 予備  
1 1 0 1 1 1 1 }

1 1 1 0 0 0 0 }  
 } } 国内使用のため留保  
1 1 1 1 1 0 1 }

1 1 1 1 1 1 0 網特有番号（網が提供するサービス特番を表示） \*

1 1 1 1 1 1 1 予備

c) 網内番号表示

3.9 c) 参照

d) 番号計画表示

3.9 d) 参照

e) アドレス情報

3.10 g) 参照

f) フィラー

3.9 f) 参照

### 3.47 転送先番号制限

図 3 - 4 1 / J T - Q 7 6 3 転送先番号制限パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

### 3.48 リモートオペレーション（国内用）

図 3 - 4 2 / J T - Q 7 6 3 リモートオペレーションパラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

表 3 - 2 / J T - Q 7 6 3 起動コンポーネント  
(ITU-T Q.763)

表 3 - 5 / J T - Q 7 6 3 拒否コンポーネント  
(ITU-T Q.763)

表 3 - 6 / J T - Q 7 6 3 コンポーネント種別タグ  
(ITU-T Q.763)

図 3 - 4 3 / J T - Q 7 6 3 長さフィールドのフォーマット（短形式）  
(ITU-T Q.763)

表 3 - 3 / J T - Q 7 6 3 応答結果コンポ - ネット  
(ITU-T Q.763)

表 3 - 4 / J T - Q 7 6 3	エラー応答コンポ - ネット (ITU-T Q.763)	#
図 3 - 4 4 / J T - Q 7 6 3	長さフィールドのフォーマット (長形式) (ITU-T Q.763)	#
表 3 - 7 / J T - Q 7 6 3	コンポ - ネット ID タグのコーディング (ITU-T Q.763)	#
表 3 - 8 / J T - Q 7 6 3	空きタグのコーディング (ITU-T Q.763)	#
表 3 - 9 / J T - Q 7 6 3	オペレーションタグのコーディング (ITU-T Q.763)	#
表 3 - 1 0 / J T - Q 7 6 3	シーケンス及びセットタグのコーディング (ITU-T Q.763)	#
表 3 - 1 1 / J T - Q 7 6 3	エラーコードタグのコーディング (ITU-T Q.763)	#
表 3 - 1 2 / J T - Q 7 6 3	問題種別タグのコーディング (ITU-T Q.763)	#
表 3 - 1 3 / J T - Q 7 6 3	一般問題のコーディング (ITU-T Q.763)	#
表 3 - 1 4 / J T - Q 7 6 3	起動問題のコーディング (ITU-T Q.763)	#
表 3 - 1 5 / J T - Q 7 6 3	結果応答問題のコーディング (ITU-T Q.763)	#
表 3 - 1 6 / J T - Q 7 6 3	エラー応答問題のコーディング (ITU-T Q.763)	#
3.49	サービス活性化	#
図 3 - 4 5 / J T - Q 7 6 3	サービス活性化パラメータフィールド (ITU-T Q.763)	#

### 3.50 信号局コード（国内用）

信号局コードパラメータフィールドのフォーマットは図3 - 46 / JT - Q763で示される。

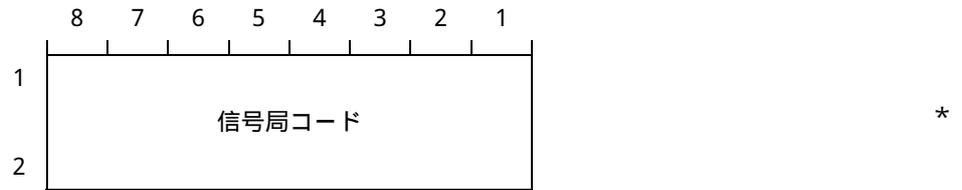


図3 - 46 / JT - Q763 信号局コードパラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

### 3.51 後続番号

図3 - 47 / JT - Q763 接続番号パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

### 3.52 中断 / 再開表示

中断 / 再開表示パラメータフィールドのフォーマットは図3 - 48 / JT - Q763で示される。

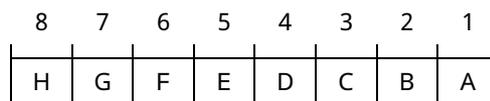


図3 - 48 / JT - Q763 中断 / 再開表示パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

次のコードが中断 / 再開表示パラメータフィールドで使用される。

- ビット A : 中断 / 再開表示  
 0 ISDNユーザ起動  
 1 網起動
- ビット H - B : 予備

### 3.53 中継網選択（国内用）

中継網選択パラメータフィールドのフォーマットは図3 - 49 / JT - Q763で示される。

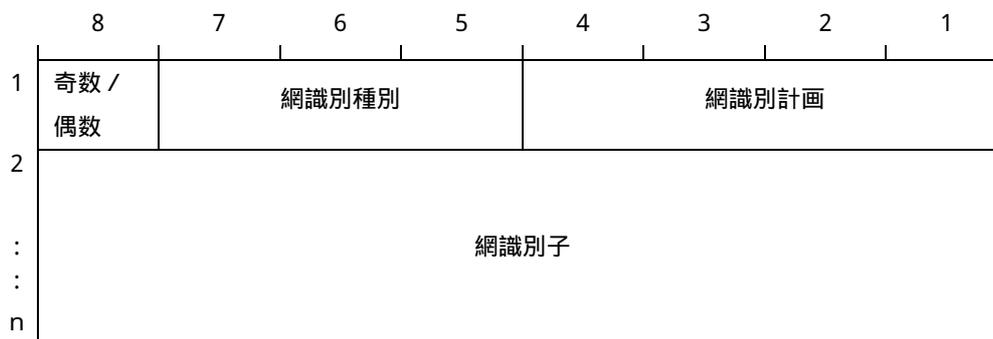


図3 - 49 / JT - Q763 中継網選択パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

次のコードが中継網選択パラメータフィールドのサブフィールドで使用される。

a) 奇数 / 偶数表示

- 0 数字偶数
- 1 数字奇数

b) 網識別種別

- 0 0 0 ITU - T 標準識別子
- 0 0 1 予備
- 0 1 0 国内網識別子
- 0 1 1 } 予備
- }
- 1 1 1 }

#

c) 網識別計画

- i) ITU - T 標準識別子の場合
- ii) 国内網識別子の場合

本情報は国内仕様によってコード化される。

- 0 0 0 0 国内用
- 0 0 0 1 固定優先接続による塗替選択用
- 0 0 1 0 } 予備
- }
- 1 1 1 1 }

#

\*  
\*  
\*  
\*  
\*

d) 網識別子

本情報は、網識別計画によって編成される。また、コーディング原則は3.9e)、f)で与えられる。

- i) 国内網識別子が国内用の場合
  - 中継事業者選択番号 (XY (地域事業者識別子)) を表示する。( )内は明確になった時点でコードを決める。
- ii) 国内網識別子が固定優先接続による塗替選択用の場合
  - 中継事業者選択番号 (00XY, 0091N<sub>1</sub>N<sub>2</sub>など) を表示する。

\*  
\*  
\*  
\*  
\*

### 3.54 通信路要求表示

通信路要求表示パラメータフィールドのフォーマットは図3 - 50 / JT - Q763で示される。

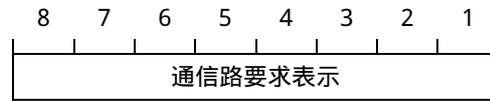


図3 - 50 / JT - Q763 通信路要求表示パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

次のコードが通信路要求表示パラメータフィールドで使用される。

0 0 0 0 0 0 0 0	音声	
0 0 0 0 0 0 0 1	予備	
0 0 0 0 0 0 1 0	6.4 kbit/s 非制限	
0 0 0 0 0 0 1 1	3.1kHz オーディオ	
0 0 0 0 0 1 0 0	音声 (サービス2) / 6.4 kbit/s 非制限 (サービス1) 切替用に留保	
0 0 0 0 0 1 0 1	6.4 kbit/s 非制限 (サービス1) / 音声 (サービス2) 切替用に留保	
0 0 0 0 0 1 1 0	6.4 kbit/s 非制限希望	#
0 0 0 0 0 1 1 1	2 × 6.4 kbit/s 非制限	#
0 0 0 0 1 0 0 0	3.84 kbit/s 非制限	
0 0 0 0 1 0 0 1	1.536 kbit/s 非制限	
0 0 0 0 1 0 1 0	1.920 kbit/s 非制限	#
0 0 0 0 1 0 1 1	} 予備	
0 0 0 0 1 1 1 1		
0 0 0 1 0 0 0 0	3 × 6.4 kbits/s 非制限	#
0 0 0 1 0 0 0 1	4 × 6.4 kbits/s 非制限	#
0 0 0 1 0 0 1 0	5 × 6.4 kbits/s 非制限	#
0 0 0 1 0 0 1 1	予備	#
0 0 0 1 0 1 0 0	7 × 6.4 kbits/s 非制限	#
0 0 0 1 0 1 0 1	8 × 6.4 kbits/s 非制限	#
0 0 0 1 0 1 1 0	9 × 6.4 kbits/s 非制限	#
0 0 0 1 0 1 1 1	10 × 6.4 kbits/s 非制限	#
0 0 0 1 1 0 0 0	11 × 6.4 kbits/s 非制限	#
0 0 0 1 1 0 0 1	12 × 6.4 kbits/s 非制限	#
0 0 0 1 1 0 1 0	13 × 6.4 kbits/s 非制限	#
0 0 0 1 1 0 1 1	14 × 6.4 kbits/s 非制限	#
0 0 0 1 1 1 0 0	15 × 6.4 kbits/s 非制限	#
0 0 0 1 1 1 0 1	16 × 6.4 kbits/s 非制限	#
0 0 0 1 1 1 1 0	17 × 6.4 kbits/s 非制限	#
0 0 0 1 1 1 1 1	18 × 6.4 kbits/s 非制限	#
0 0 1 0 0 0 0 0	19 × 6.4 kbits/s 非制限	#
0 0 1 0 0 0 0 1	20 × 6.4 kbits/s 非制限	#
0 0 1 0 0 0 1 0	21 × 6.4 kbits/s 非制限	#

0 0 1 0 0 0 1 1	2 2 × 6 4 kbits/s 非制限	#
0 0 1 0 0 1 0 0	2 3 × 6 4 kbits/s 非制限	#
0 0 1 0 0 1 0 1	予備	#
0 0 1 0 0 1 1 0	2 5 × 6 4 kbits/s 非制限	#
0 0 1 0 0 1 1 1	2 6 × 6 4 kbits/s 非制限	#
0 0 1 0 1 0 0 0	2 7 × 6 4 kbits/s 非制限	#
0 0 1 0 1 0 0 1	2 8 × 6 4 kbits/s 非制限	#
0 0 1 0 1 0 1 0	2 9 × 6 4 kbits/s 非制限	#
0 0 1 0 1 0 1 1	} 予備	#
}		#
1 1 1 1 1 1 1 1		#

3.55 通信路要求表示プライム #

3.56 使用通信路 #

### 3.57 ユーザサービス情報

ユーザサービス情報パラメータフィールドのフォーマットは図3-51/JT-Q763で示される。このフォーマットは、標準JT-Q931からの伝達能力情報要素と同じであり、ここでコード化されたすべての機能がこの時サポートされるとはかぎらない。

	8	7	6	5	4	3	2	1
1	拡張表示	コーディング標準		情報伝達能力				
2	拡張表示	情報伝達モード		情報伝達速度				
2 a	拡張表示	構造		通信形態		通信の確立		
2 b	拡張表示	対称性		情報伝達速度(着発)				
3	拡張表示	レイヤ識別		ユーザ情報レイヤ1プロトコル				
4	拡張表示	レイヤ識別		ユーザ情報レイヤ2プロトコル				
5	拡張表示	レイヤ識別		ユーザ情報レイヤ3プロトコル				

注1) オクテット2がマルチレート(64kbit/s ベースレート)を示すならオクテット2 aは必要である。これ以外の場合、オクテット2 aはあってはならない。

注2) オクテット3, 4, 5またはこれらのどの組み合わせでも省略可能である。オクテット3はTT標準JT-Q931で記述されるように拡張できる。

図3-51/JT-Q763 ユーザサービス情報パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

ユーザサービス情報パラメータフィールドのサブフィールドで使われるコードは標準JT-Q931伝達能力情報要素で定義される。

3.58 ユーザサービス情報プライム #

### 3.59 ユーザテレサービス情報

ユーザテレサービス情報パラメータフィールドのフォーマットを図3 - 5 2 / J T - Q 7 6 3に示す。フォーマットは標準J T - Q 9 3 1からの高位レイヤ整合性情報要素と同じであり、ここでコード化されたすべての機能が現時点でサポートされるとは限らない。

	8	7	6	5	4	3	2	1
1	拡張表示	コーディング 標準		解釈法			プロトコル・ロファイル 表現法	
2	拡張表示	高位レイヤ特性識別						
3	拡張表示	拡張高位レイヤ特性識別						

図3 - 5 2 / J T - Q 7 6 3 ユーザテレサービス情報パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

ユーザテレサービスパラメータフィールドで使われるコードは、標準J T - Q 9 3 1高位レイヤ整合性情報要素で定義される。

### 3.60 ユーザ・ユーザ表示

ユーザ・ユーザ表示パラメータフィールドのフォーマットを図3 - 5 3 / J T - Q 7 6 3に示す。

8	7	6	5	4	3	2	1
H	G	F	E	D	C	B	A

図3 - 5 3 / J T - Q 7 6 3 ユーザ・ユーザ表示パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

以下のコードがユーザ・ユーザ表示パラメータフィールドで使用される。

ビット A : 種別

- 0 要求
- 1 応答

ビットAが“0”の場合(要求) :

ビット CB : サービス1

- 00 情報なし
- 01 予備
- 10 要求、必須でない
- 11 要求、必須

ビット ED : サービス2

- 00 情報なし
- 01 予備
- 10 要求、必須でない

#  
#

	1 1	要求、必須	#
ビット GF :	サービス 3		
	0 0	情報なし	
	0 1	予備	#
	1 0	要求、必須でない	#
	1 1	要求、必須	#
ビット H :	予備		
ビット A が “ 1 ” の場合 ( 応答 ) :			
ビット CB :	サービス 1		
	0 0	情報なし	
	0 1	提供しない	
	1 0	提供	
	1 1	予備	
ビット ED :	サービス 2		
	0 0	情報なし	
	0 1	提供しない	#
	1 0	提供	#
	1 1	予備	#
ビット GF :	サービス 3		
	0 0	情報なし	
	0 1	提供しない	#
	1 0	提供	#
	1 1	予備	#
ビット H :	網廃棄表示		
	0	情報なし	
	1	UUI は網によって廃棄された	

### 3.61 ユーザ・ユーザ情報

ユーザ・ユーザ情報パラメータフィールドのフォーマットを、図 3 - 5 4 / JT - Q 7 6 3 に示す。

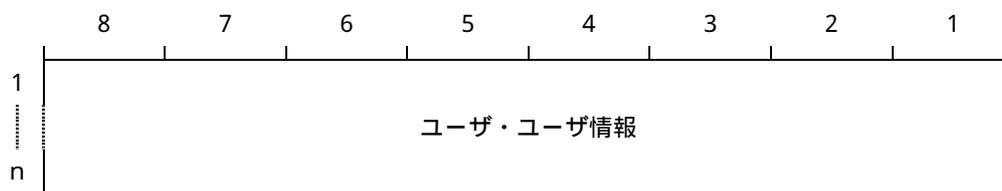


図 3 - 5 4 / JT - Q 7 6 3 ユーザ・ユーザ情報パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

ユーザ・ユーザ情報フィールドのフォーマットは、標準 JT - Q 9 3 1 の 4.5.30 節に記述されたユーザ・ユーザ情報フィールド、およびプロトコル識別子と同一にコード化される。

3.62 逆方向GVNS

#

図3 - 55 / JT - Q763 逆方向GVNSパラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

#

3.63 CCSS

CCSSパラメータフィールドのフォーマットは図3 - 56 / JT - Q763に示される。



図3 - 56 / JT - Q763 CCSSパラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

次のコードがCCSSパラメータフィールドで使用される。

ビット A : CCSS呼表示

0 表示なし

1 CCSS呼

ビット H - B : 予備

3.64 コールトランスファ番号

#

図3 - 57 / JT - Q763 コールトランスファ番号パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

#

3.65 コールトランスファ参照

コールトランスファ参照パラメータフィールドのフォーマットは図3 - 58 / JT - Q763で示される。

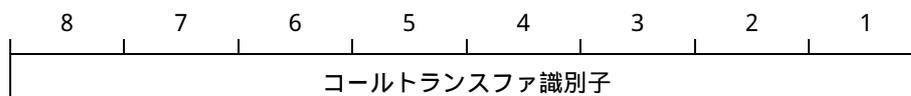


図3 - 58 / JT - Q763 コールトランスファ参照パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

コールトランスファ識別子は、明確に特定のECT付加サービスに割り当てられた0 ~ 255の整数のバイナリ表示である。(TTT標準JT - Q732 第7章を参照のこと)

3.66 順方向GVNS

#

図3 - 59 / JT - Q763 順方向GVNSパラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

#

### 3.67 ループ抑止表示

ループ抑止表示パラメータフィールドのフォーマットは図3 - 60 / JT - Q763で示される。



図3 - 60 / JT - Q763 ループ抑止表示パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

次のコードがループ抑止表示パラメータフィールドで使用される。

ビット A : 種別

0 要求

1 応答

ビットAが“0”の場合(要求) :

ビット H - B : 予備

ビットAが“1”の場合(応答) :

ビット CB : 応答表示

00 判定不能

01 ループ無し

10 同時転送

11 予備

ビット H - D : 予備

注 : 「判定不能」は相互動作に起因して受信される場合がある。

### 3.68 網管理制御

図3 - 61 / JT - Q763 網管理制御パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

#  
#

### 3.69 回線割当マップ

図3 - 62 / JT - Q763 回線割当マップパラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

#  
#

### 3.70 相関 i d

相関 i d パラメータフィールドのフォーマットは図 3 - 6 3 / J T - Q 7 6 3 で示される。



図 3 - 6 3 / J T - Q 7 6 3 相関 i d パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

相関 i d は、TTC 標準 J T - Q 1 2 1 8 - b[11]、J T - Q 1 2 2 8 - b[12]、  
J T - Q 1 2 3 8 . 2 - b[13]  
で述べられているようにコーディングされる。

\*

### 3.71 S C F i d

S C F i d パラメータフィールドのフォーマットは図 3 - 6 4 / J T - Q 7 6 3 で示される。

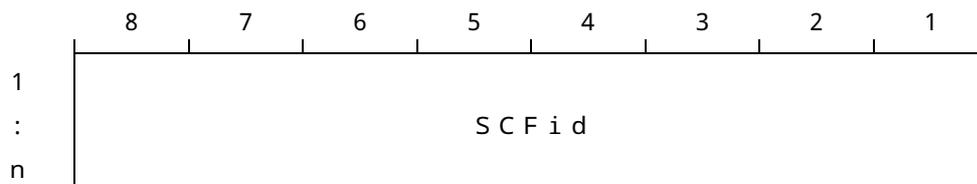


図 3 - 6 4 / J T - Q 7 6 3 S C F i d パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

S C F i d は、TTC 標準 J T - Q 1 2 1 8 - b[11]、J T - Q 1 2 2 8 - b[12]、  
J T - Q 1 2 3 8 . 2 - b[13]  
で述べられているようにコーディングされる。

\*

### 3.72 呼転送処理表示

図 3 - 6 5 / J T - Q 7 6 3 呼転送処理表示パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

#

#

### 3.73 着 I N 番号

着 I N 番号パラメータフィールドのフォーマットは  
第一着番号パラメータと同様である。

#

図 3 - 3 6 / J T - Q 7 6 3 で示されるフォーマットと同じである。

\*

(TTC 注) ITU-T 勧告との上記の差分が存在するのは、本標準で規定する着 I N 番号パラメータのコード  
は第一着番号パラメータのコードに追加する部分があるので、フィールドフォーマットのみを参照するた  
めである。

\*

\*

\*

次に示すコードは、着 IN 番号パラメータフィールドで使用される。

a) 奇数 / 偶数表示

3.9 a) 参照

b) 番号種別表示

0 0 0 0 0 0 0	予備	
0 0 0 0 0 0 1	加入者番号 (国内用)	
0 0 0 0 0 1 0	不定 (国内用)	
0 0 0 0 0 1 1	国内番号	
0 0 0 0 1 0 0	国際番号	
0 0 0 0 1 0 1	留保	
0 0 0 0 1 1 0	国内番号フォーマットのネットワークルーティング番号 (国内用)	*
0 0 0 0 1 1 1	網特有番号フォーマットのネットワークルーティング番号 (国内用)	*
0 0 0 1 0 0 0	留保	
0 0 0 1 0 0 1	} 予備	
}		
1 1 0 1 1 1 1	} 国内使用のため留保	
1 1 1 0 0 0 0		
}		
1 1 1 1 1 0 1		
1 1 1 1 1 1 0	網特有番号 (網が提供するサービス特番を表示)	*
1 1 1 1 1 1 1	予備	

c) 番号計画表示

0 0 0	不定	*
0 0 1	ISDN (電話) 番号計画 (勧告 E . 1 6 4 )	
0 1 0	予備	
0 1 1	データ番号計画 (勧告 X . 1 2 1 )	#
1 0 0	テレックス番号計画 (勧告 F . 6 9 )	#
1 0 1	私設番号計画	*
1 1 0	国内使用のため留保	*
1 1 1	予備	

d) 表示識別

0 0	表示可
0 1	表示不可
1 0	使用不可 (注)
1 1	予備

注) 表示識別が、「使用不可」の場合、オクテット 3 ~ n は省略され、項目 a) , b) , c) , 及び d) のサブフィールドは “ 0 ” にコーディングされる。

e) アドレス情報

3.10 g) 参照

f) フィラー

3.9 f) 参照

3.74 呼提供処理表示 #  
 図3 - 6 6 / J T - Q 7 6 3 呼提供処理表示パラメータフィールド #  
 (ITU-T Q.763)

3.75 課金ユーザ表示 (国内用) #

3.76 会議電話処理表示 #  
 図3 - 6 7 / J T - Q 7 6 3 会議電話処理表示パラメータフィールド #  
 (ITU-T Q.763)

3.77 表示情報 #  
 図3 - 6 8 / J T - Q 7 6 3 表示情報パラメータフィールド #  
 (ITU-T Q.763)

3.78 U I D動作表示  
 U I D動作表示パラメータフィールドのフォーマットは図3 - 6 9 / J T - Q 7 6 3で示される。

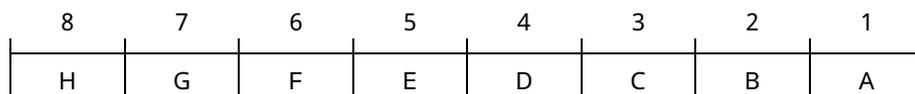


図3 - 6 9 / J T - Q 7 6 3 U I D動作表示パラメータフィールド  
 (ITU-T Q.763)

次のコードがU I D動作表示パラメータフィールドで使用される。

ビット A : スルーパス接続指示表示

- 0 表示なし
- 1 両方向スルーパス接続

ビット B : タイマT 9 指示表示

- 0 表示なし
- 1 タイマT 9 を停止または始動させない

ビット G - C : 予備

ビット H : 拡張表示

- 0 次のオクテットに続く
- 1 最終オクテット

#

3.79 U I D能力表示

U I D能力表示パラメータフィールドのフォーマットは図3 - 7 0 / J T - Q 7 6 3で示される。



図3 - 7 0 / J T - Q 7 6 3 U I D能力表示パラメータフィールド  
 (ITU-T Q.763)

次のコードがU I D能力表示パラメータフィールドで使用される。

- ビット A : スループス接続表示
  - 0 表示なし
  - 1 スループス接続変更可能
- ビット B : タイマT 9表示
  - 0 表示なし
  - 1 タイマT 9停止可能
- ビット G - C : 予備
- ビット H : 拡張表示
  - 0 次のオクテットに続く
  - 1 最終オクテット

#

### 3.80 ホップカウンタ

#

図3 - 7 1 / J T - Q 7 6 3 ホップカウンタパラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

#

### 3.81 コレクトコール要求

#

図3 - 7 2 / J T - Q 7 6 3 コレクトコール要求パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

#

### 3.82 アプリケーション転送

アプリケーション転送パラメータフィールドのフォーマットを図3 - 7 3 / J T - Q 7 6 3 に示す。

	8	7	6	5	4	3	2	1
1	拡張	アプリケーションコンテキスト識別子						LSB
1 a	拡張	MSB						
2	拡張	予備				通知送信 表示	呼解放 表示	
3	拡張	シーケン ス表示	A P M分割表示					
3 a	拡張	分割ローカル参照						
4 a	A P Mユーザ情報							
.								
.								
4 n								

図3 - 7 3 / J T - Q 7 6 3 アプリケーション転送パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

以下のコードがアプリケーション転送パラメータフィールドで使用される。

#### a) 拡張表示

3.25 a) 参照

b) アプリケーションコンテキスト識別子 (ACI) (オクテット1およびオクテット1a)

1) オクテット1の拡張ビットが1に設定された場合、オクテット1aは省略される。オクテット1の1~7ビットの値は以下のように解釈される。

0 0 0 0 0 0 0 識別不能コンテキストおよびエラー操作ASE (UCEH ASE)  
 0 0 0 0 0 0 1 PSS1 ASE (VPN)  
 0 0 0 0 0 1 0 予備  
 0 0 0 0 0 1 1 課金ASE

上記の値は1998版APMのために使用される。

0 0 0 0 1 0 0 GAT  
 0 0 0 0 1 0 1 BAT ASE  
 0 0 0 0 1 1 0 拡張識別不能コンテキストおよびエラー操作ASE (EUCEH ASE)

0 0 0 0 1 1 1	}	国際使用のための予備
0 1 1 1 1 1 1		
1 0 0 0 0 0 0	}	非標準1998版APMユーザアプリケーションのため留保
1 1 1 1 1 1 1		

2) オクテット1の拡張ビットが0に設定された場合、オクテット1aが存在する。この場合、アプリケーションコンテキスト識別子は14ビットで表わされる。

オクテット1a	オクテット1	
1~7ビット	1~7ビット	
0 0 0 0 0 0 1	0 0 0 0 0 0 0	}
0 0 0 0 0 0 1	1 1 1 1 1 1 1	}
0 0 0 0 0 1 0	0 0 0 0 0 0 0	
		}
1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1	

非標準2000版APMユーザアプリケーションのため留保

国内使用のための予備

注) JT-Q764で定義されるコンパチビリティメカニズムは本フィールドに適用されない。

c) アプリケーション転送動作指示表示 (ATII) (オクテット2)

オクテット2、ビット1: 呼解放表示 (RCI)

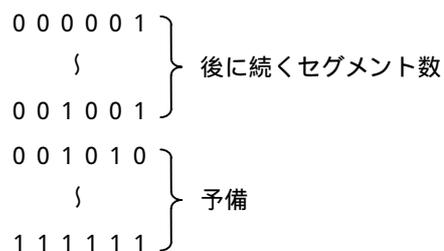
0 呼を解放しない  
 1 呼を解放する

オクテット2、ビット2: 通知送信表示 (SNI)

0 通知を送信しない  
 1 通知を送信する

d) APM分割表示

0 0 0 0 0 0 最終セグメント



注) JT - Q 7 6 4 で定義されるコンパチビリティメカニズムは本フィールドに適用されない。

e) シーケンス表示 ( S I )

- 0 後続セグメント
- 1 新シーケンス

f) 分割ローカル参照 ( S L R )

g) A P Mユーザ情報フィールド

本フィールドのフォーマットおよびコードはアプリケーションコンテキスト識別子によって決まる。

g.1) アプリケーションコンテキスト識別子が 1 9 9 8 版 A P Mユーザアプリケーションに相当する値ならば、A P Mユーザ情報フィールドは図 3 - 7 4 / J T - Q 7 6 3 で示されるフォーマットとなる。

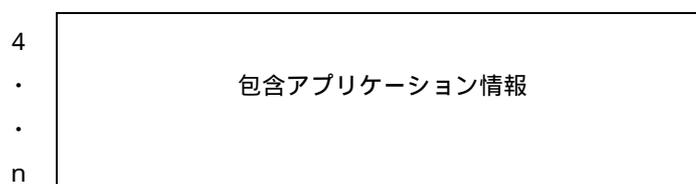


図 3 - 7 4 / J T - Q 7 6 3 1 9 9 8 版 A P Mユーザアプリケーションの場合の  
A P Mユーザ情報フィールドのコンテンツ  
( ITU-T Q.763 )

本フィールドのコンテンツは、g.2.4) に記述される。

g.2) アプリケーションコンテキスト識別子が 2 0 0 0 版 A P Mユーザアプリケーションに相当する値ならば、A P Mユーザ情報フィールドは図 3 - 7 5 / J T - Q 7 6 3 で示されるフォーマットとなる。

4	発アドレス長
4 a	発アドレス
4 n	
5	着アドレス長
5 a	着アドレス
5 n	
6	包含アプリケーション情報
.	
n	

図3 - 75 / J T - Q 7 6 3 2000版APMユーザアプリケーションの  
APMユーザ情報フィールドのコンテンツ  
(ITU-T Q.763)

以下のコードがAPMユーザ情報フィールドで使用される。

g.2.1) 発アドレス長

値0および3～20が使用される。

g.2.2) 着アドレス長

値0および3～20が使用される。

g.2.3) 発アドレス/着アドレス

発アドレス長/着アドレス長がゼロに設定された場合、発アドレス/着アドレスフィールドは省略される。発アドレス/着アドレスフィールドのフォーマットを図3 - 76 / J T - Q 7 6 3 に示す。

	8	7	6	5	4	3	2	1
1	奇/偶	番号種別表示						
2	I N N表 示	番号計画表示			予備			
3	第2数字				第1数字			
.	アドレス情報(番号ディジット) *							
.								
m	フィラー (必要な場合)				第N数字			

図3 - 76 / J T - Q 7 6 3 発アドレス/着アドレスフィールドのコンテンツ  
(ITU-T Q.763)

以下のコードが発アドレス/着アドレス情報フィールドで使用される。

g.2.3.1) 奇数/偶数表示

- 0 番号ディジットの桁数が偶数
- 1 番号ディジットの桁数が奇数

g.2.3.2) 番号種別表示

- 0 0 0 0 0 0 0 予備
- 0 0 0 0 0 0 1 加入者番号のため留保
- 0 0 0 0 0 1 0 不定(国内用)
- 0 0 0 0 0 1 1 国内番号
- 0 0 0 0 1 0 0 国際番号
- 0 0 0 0 1 0 1 網特有番号(国内用) #
- 0 0 0 0 1 1 0 国内番号フォーマットのネットワークルーティング番号(国内用)
- 0 0 0 0 1 1 1 網特有番号フォーマットのネットワークルーティング番号(国内用)
- 0 0 0 1 0 0 0 着ディレクトリ番号を伴うネットワークルーティング番号(国内用)のため留保
  
- 0 0 0 1 0 0 1 } 予備
- }                    }
- 1 1 0 1 1 1 1 }
  
- 1 1 1 0 0 0 0 } 国内使用のため留保
- }                    }
- 1 1 1 1 1 0 1 }
- 1 1 1 1 1 1 0 網特有番号 \*
- 1 1 1 1 1 1 1 予備

g.2.3.3) 網内番号表示 (INN表示)

- 0 網内へのルーティング可
- 1 網内へのルーティング不可

g.2.3.4) 番号計画表示

- 0 0 0 予備
- 0 0 1 I S D N (電話) 番号計画 (勧告 E . 1 6 4 )
- 0 1 0 予備
- 0 1 1 データ番号計画のため留保 (勧告 X . 1 2 1 )
- 1 0 0 テレックス番号計画のため留保 (勧告 F . 6 9 )
- 1 0 1 国内使用のため留保
- 1 1 0 国内使用のため留保
- 1 1 1 予備

g.2.3.5) アドレス情報

0 0 0 0	ディジット0	
0 0 0 1	ディジット1	
0 0 1 0	ディジット2	
0 0 1 1	ディジット3	
0 1 0 0	ディジット4	
0 1 0 1	ディジット5	
0 1 1 0	ディジット6	
0 1 1 1	ディジット7	
1 0 0 0	ディジット8	
1 0 0 1	ディジット9	
1 0 1 0	予備	
1 0 1 1	コード11	#
1 1 0 0	コード12	#
1 1 0 1	予備	
1 1 1 0	予備	
1 1 1 1	ST	#

最上位桁のアドレス情報が最初に送出される。その後アドレス情報が連続する4ビットフィールドで送出される。

#### g.2.3.6) フィラー

アドレス情報の桁数が奇数桁の場合、フィラーコード“0000”が最後のアドレス情報の後に挿入される。

#### g.2.4) 包含アプリケーション情報

アプリケーション固有情報を含む。

本フィールドのフォーマットおよびコードは、APMユーザアプリケーションによって決まり、適切な標準/勧告で定義される。公衆網内で補助的なネットワーク関連情報を通過させる能力を持ち、(例えば、ある情報を転送するために、既存の情報要素が定義されている場合など)情報の透過転送サービスの提供を希望するAPMユーザアプリケーションには、次のガイドラインが適用される。

本フィールドは、最初のオクテット(すなわち、長いAPMユーザ情報の最初のセグメントの最初のオクテット)が透過転送される情報のポインタとなる構造を持つことが推奨される。ポインタ値(2進数)は、ポインタ自身(ポインタを含む)と透過データの最初のオクテット(最初のオクテットを含まない)間のオクテット数を示す。ポインタ値オール“0”は、透過データがないことを示すために使われる。ポインタオクテットと(ポインタオクテットが指し示す)透過データの最初のオクテット間のオクテット領域は、公衆網内に存在するアプリケーション間で送受されるネットワーク関連情報を含む。透過情報とネットワーク関連情報のフォーマットおよびコードは、アプリケーション固有であり、適切な標準/勧告で定義される。

### 3.83 CCNR可能表示

図3-77/JT-Q763 CCNR可能表示パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

3.84 ピボット能力

図3 - 78 / JT - Q763 ピボット能力パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

#  
#

3.85 ピボットルーティング表示

図3 - 79 / JT - Q763 ピボットルーティング表示パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

#  
#

3.86 着ディレクトリ番号 (国内用)

着ディレクトリ番号パラメータフィールドのフォーマットを図3 - 80 / JT - Q763に示す。

	8	7	6	5	4	3	2	1
1	奇数	番号種別表示						
2	偶数							
2	INN 表示	番号計画表示				予備		
3		第2数字				第1数字		
:	アドレス情報 *							
:	(番号ディジット) *							
:								
n		フィラー (必要な場合)				第N数字		

図3 - 80 / JT - Q763 着ディレクトリ番号パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

次に示すコードは、着ディレクトリパラメータフィールドのサブフィールドで使用される。

a) 奇数/偶数表示

- 0 : 番号ディジットの桁数が偶数
- 1 : 番号ディジットの桁数が奇数

b) 番号種別表示

- 0000000 予備
- 0000001 加入者番号 (国内用)
- 0000010 不定 (国内用)
- 0000011 国内番号 (国内用)
- 0000100 留保
- 0000101 網特有番号 (国内用)
- 0000110 留保
- 0000111 留保

#

0 0 0 1 0 0 0	留保	
0 0 0 1 0 0 1	}	予備
}		
1 1 0 1 1 1 1		
1 1 1 0 0 0 0	}	国内使用のため留保
}		
1 1 1 1 1 0 1		
1 1 1 1 1 1 0	網特有番号（網が提供するサービス特番を表示）	*
1 1 1 1 1 1 1	予備	

c) 番号計画表示

0 0 0	予備
0 0 1	I S D N (電話) 番号計画 (勧告 E . 1 6 4 )
0 1 0	予備
0 1 1	留保
1 0 0	留保
1 0 1	国内使用のため留保
1 1 0	国内使用のため留保
1 1 1	予備

d) 網内番号表示 ( I N N 表示 )

0	留保 ( 網内へのルーチング可 )
1	網内へのルーチング不可

e) アドレス情報

0 0 0 0	ディジット 0
0 0 0 1	ディジット 1
0 0 1 0	ディジット 2
0 0 1 1	ディジット 3
0 1 0 0	ディジット 4
0 1 0 1	ディジット 5
0 1 1 0	ディジット 6
0 1 1 1	ディジット 7
1 0 0 0	ディジット 8
1 0 0 1	ディジット 9
1 0 1 0	予備
1 0 1 1	留保
1 1 0 0	留保
1 1 0 1	予備
1 1 1 0	予備
1 1 1 1	S T

最上位桁のアドレス情報が最初に送出される。その後アドレス情報が連続する 4 ビットフィールドで送出される。

f) フィラー

アドレス情報の桁数が奇数の場合、フィラーコード “ 0 0 0 0 ” が最後のアドレス情報の後に挿入される。

### 3.87 第一着 IN 番号

第一着 IN 番号パラメータのフォーマットについては、  
 第一着番号パラメータ  
 着 IN 番号パラメータ  
 と同様である。

#  
\*

(TTC 注) ITU-T 勧告との上記の差分が存在するのは、本標準で規定する第一着 IN 番号パラメータのコードは第一着番号パラメータのコードに追加する部分があり、追加分は着 IN 番号パラメータにおける第一着番号パラメータへの追加と同じであるので、着 IN 番号パラメータを参照するためである。

\*  
\*  
\*

### 3.88 発測地位置

発測地位置パラメータフィールドのフォーマットは図 3 - 8 1 a / J T - Q 7 6 3 で示される。形状記述内の各要素のフォーマットとコーディングは以降の節に示されている。

	8	7	6	5	4	3	2	1
1	予備				位置情報表示制限指示		網検証識別	
2	拡張表示	形状種別						
3	形状記述							
:								
:								
n								

図 3 - 8 1 a / J T - Q 7 6 3 発測地位置パラメータフィールド  
 (ITU-T Q.1902.3)

以下に示すコード値が発測地位置パラメータのサブフィールドで使用される。

a) 位置情報表示制限指示

- 0 0 表示許容
- 0 1 表示制限
- 1 0 位置情報利用不可能(注)
- 1 1 予備

注) 発測地位置パラメータが含まれ、かつ位置情報表示制限指示が位置情報利用不可能を示す場合には 3 ~ n オクテットは省略される。またその場合、サブフィールド ( b ) は 1 1 に、サブフィールド ( c ) は 0 0 0 0 0 0 に設定される。

b) 網検証識別

- 0 0 ユーザ投入網検証なし
- 0 1 ユーザ投入、網検証あり、成功
- 1 0 ユーザ投入、網検証あり、失敗
- 1 1 網投入

c) 形状種別

- 0 0 0 0 0 0 楕円体上の点
- 0 0 0 0 0 1 誤差を含む楕円体上の点
- 0 0 0 0 1 0 高度情報と誤差を含む点
- 0 0 0 0 1 1 楕円体表面上の楕円

0 0 0 0 1 0 0	楕円体扇形
0 0 0 0 1 0 1	多角形
0 0 0 0 1 1 0	高度情報を含む楕円体上の点
0 0 0 0 1 1 1	高度情報と楕円体誤差を含む楕円体上の点
0 0 0 1 0 0 0	楕円体弧
0 0 0 1 0 0 1	} 予備
0 1 1 1 1 1 1	
1 0 0 0 0 0 0	} 国内利用のため留保
1 1 1 1 1 1 0	
1 1 1 1 1 1 1	

d) 拡張表示

3.25 a) 参照

e) 形状記述

以下の節に示すように、形状記述は形状種別毎に異なる要素によって構成されている。

### 3.88.1 楕円体上の点の形状記述

楕円体上の点の形状記述フォーマットを図3 - 8 1 b / J T - Q 7 6 3 に示す。

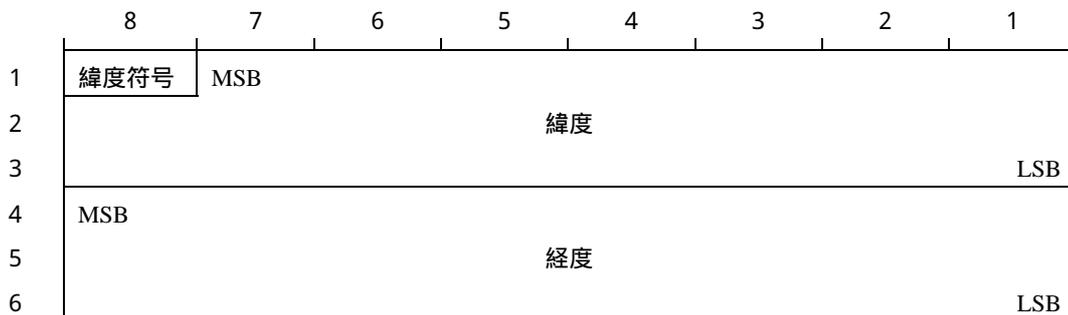


図3 - 8 1 b / J T - Q 7 6 3 楕円体上の点の形状記述フォーマット  
(ITU-T Q.1902.3)

a) 緯度符号

0 北

1 南

b) 緯度

二進数で符号化された数  $N$  と緯度  $X$  の範囲 ( $0 \leq X < 90$  で示され、 $X$  は必ず整数である必要はない) との関係は以下の方程式によって示される。

$$N \frac{2^{23}}{90} X < N + 1$$

範囲が  $N+1$  を含むように拡張されるため、 $N = 2^{23}-1$  は除く。

c) 経度

$-180^\circ$  から  $+180^\circ$  の範囲で表現される経度は、 $-2^{23}$  から  $2^{23}-1$  の範囲で2の補数表現された二進数で符号化される。二進数で符号化された数  $N$  と経度  $X$  の範囲 ( $-180 \leq X < +180$  で示され、 $X$  は必ず整数である必要はない) との関係は以下の方程式によって示される。

$$N \frac{2^{24}}{360} X < N + 1$$

### 3.88.2 誤差を含む楕円体上の点の形状記述

誤差を含む楕円体上の点の形状記述フォーマットを図3 - 8 1 c / J T - Q 7 6 3 に示す。

	8	7	6	5	4	3	2	1
1	緯度符号	MSB						
2	緯度							LSB
3								
4	MSB	経度						
5	経度							LSB
6								
7	予備	誤差符号						
8	予備	信頼度						

図3 - 8 1 c / J T - Q 7 6 3 誤差を含む楕円体上の点の形状記述フォーマット  
(ITU-T Q.1902.3)

a) 緯度符号

3.88.1 a) 参照

b) 緯度

3.88.1 b) 参照

c) 経度

3.88.1 c) 参照

d) 誤差符号

誤差  $r$  は  $m$  単位 (0m から 1800km) で示され、二進数  $K$  からの変換は以下の式を用いる。

$$r = C \left( (1+x)^K - 1 \right)$$

ただし、 $C=10$  ,  $x=0.1$

e) 信頼度

信頼度はその位置が形状記述で示される範囲内にある可能性  $C$  (単位はパーセンテージ) として示される。

$C$  は直接二進数  $K$  として示される。  $K = 0$  は情報なしとして使用され、  $100 < K < 127$  は使用されない。

### 3.88.3 高度情報と誤差を含む点の形状記述

高度と円形状誤差を含む点の形状記述のフォーマットを図3 - 8 1 d / J T - Q 7 6 3 に示す。

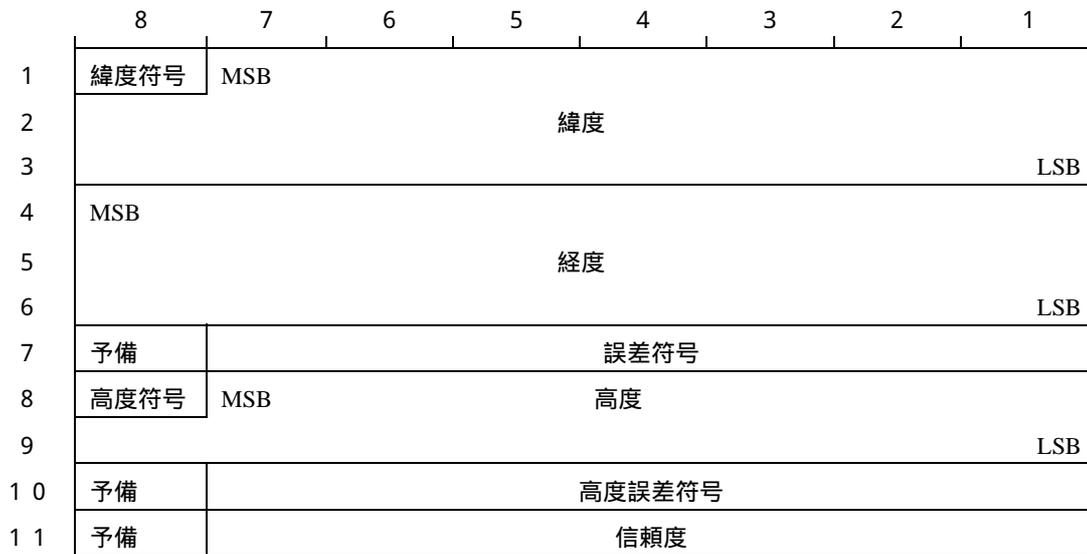


図3 - 8 1 d / J T - Q 7 6 3 高度と誤差を含む点の形状記述フォーマット  
(ITU-T Q.1902.3)

- a) 緯度符号  
3.88.1 a) 参照
- b) 緯度  
3.88.1 b) 参照
- c) 経度  
3.88.1 c) 参照
- d) 誤差符号  
3.88.2 d) 参照
- e) 高度符号  
0 楕円体表面から上方  
1 楕円体表面から下方
- f) 高度  
二進数で符号化された数  $N$  と高度  $a$  の範囲 (  $m$  単位 ) との関係は以下の方程式によって示される。

$$N \quad a < N+1$$

より大きな値を扱うための拡張用として、 $N = 2^{15}-1$  は除く。

- g) 高度誤差符号  
高度誤差  $h$  は  $m$  単位 (  $0m$  から  $1000m$  の範囲 ) で示され、二進数  $K$  からの変換は以下の式を用いる。

$$h = C \left( (1 + x)^K - 1 \right)$$

ただし、 $C=45$  ,  $x = 0.025$

- h) 信頼度  
3.88.2 e) 参照

### 3.88.4 楕円体表面上の楕円の形状記述

楕円体表面上の楕円の形状記述フォーマットを図3 - 8 1 e / J T - Q 7 6 3 に示す。

	8	7	6	5	4	3	2	1
1	緯度符号	MSB						
2	緯度							LSB
3								LSB
4	MSB							
5	経度							LSB
6								LSB
7	予備	長半径						
8	予備	短半径						
9	方位							
10	予備	信頼度						

図3 - 8 1 e / J T - Q 7 6 3 楕円体表面上の楕円の形状記述フォーマット  
(ITU-T Q.1902.3)

a) 緯度符号

3.88.1 a) 参照

b) 緯度

3.88.1 b) 参照

c) 経度

3.88.1 c) 参照

d) 長半径

楕円の長半径  $r_{\text{major}}$  はm単位 (1mから 1800kmの範囲) で示され、二進数Kからの変換は以下の式を用いる。

$$r = C((1+x)^K - 1)$$

ただし、C=10, x=0.1

e) 短半径

楕円の短半径  $r_{\text{minor}}$  はm単位 (1mから 1800kmの範囲) で示され、二進数Kからの変換は以下の式を用いる。

$$r = C((1+x)^K - 1)$$

ただし、C=10, x=0.1

f) 方位

楕円長半径の方位  $\theta$  の単位は度 (北を 0 ° として時計回りに1度単位) で示され、二進数 K からの変換は以下の式を用いる。

$$\theta = K$$

180 < K 255 は使用されない。

g) 信頼度

3.88.2 e) 参照

### 3.88.5 楕円体扇形形状記述

楕円体扇形形状記述フォーマットを図3 - 8 1 f / J T - Q 7 6 3 に示す。



図3 - 8 1 f / J T - Q 7 6 3 楕円体扇形形状記述フォーマット  
(ITU-T Q.1902.3)

a) 緯度符号

3.88.1 a) 参照

b) 緯度

3.88.1 b) 参照

c) 経度

3.88.1 c) 参照

d) 半径

扇形の半径  $r$  は  $m$  単位 (  $1m$  から  $1800km$  の範囲 ) で示され、二進数  $K$  からの変換は以下の式を用いる。

$$r = C \left( (1 + x)^K - 1 \right)$$

ただし、 $C=10$  ,  $x=0.1$

e) オフセット角

扇形のオフセット角 の単位は度 ( 北を  $0^\circ$  として時計回りに  $2$  度単位 ) で示され、二進数  $K$  からの変換は以下の式を用いる。

$$\theta = 2K$$

使用されない  $180 < K \leq 255$  は除く。

f) 内角

扇形の内角 の単位は度 ( 北を  $0^\circ$  として時計回りに  $2$  度単位 ) で示され、二進数  $K$  からの変換は以下の式を用いる。

$$\beta = 2K$$

使用されない  $180 < K \leq 255$  は除く。

g) 信頼度

3.88.2 e) 参照

3.88.6 多角形状記述

多角形状記述のフォーマットを図3 - 8 1 g / J T - Q 7 6 3に示す。

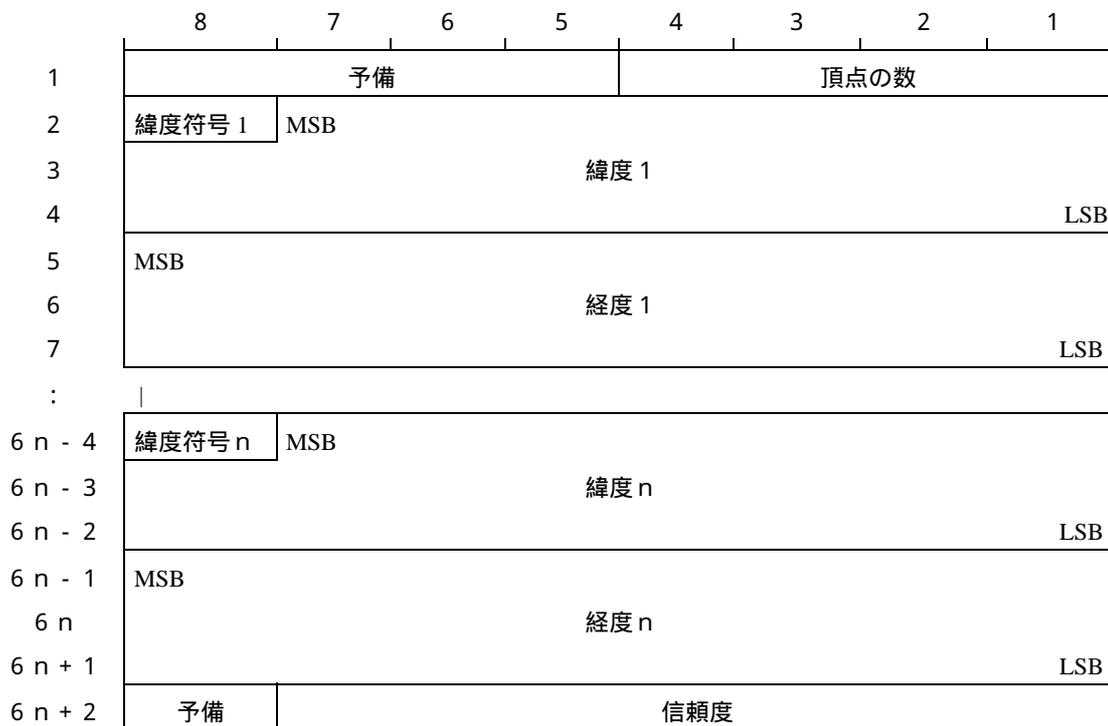


図3 - 8 1 g / J T - Q 7 6 3 多角形状記述のフォーマット  
(ITU-T Q.1902.3)

- a) 頂点の数
  - 0 0 0 0 留保
  - 0 0 0 1 留保
  - 0 0 1 0 留保
  - 0 0 1 1
  - } 二進数で示す頂点の数 (3-15)
  - 1 1 1 1
- b) 緯度符号 1
  - 3.88.1 a) 参照
- c) 緯度 1
  - 3.88.1 b) 参照
- d) 経度 1
  - 3.88.1 c) 参照
- e) 緯度符号 n
  - 3.88.1 a) 参照
- f) 緯度 n
  - 3.88.1 b) 参照
- g) 経度 n
  - 3.88.1 c) 参照
- h) 信頼度
  - 3.88.2 e) 参照

### 3.88.7 高度情報を含む楕円体上の点の形状記述

高度情報を含む楕円体上の点の形状記述のフォーマットを図3 - 8 1 h / J T - Q 7 6 3に示す。

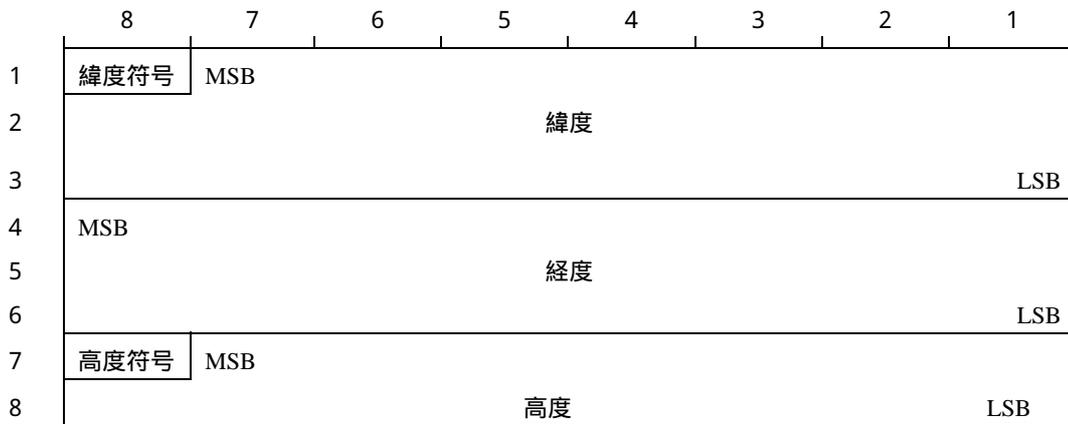


図3 - 8 1 h / J T - Q 7 6 3 高度情報を含む楕円体上の点の形状記述のフォーマット  
(ITU-T Q.1902.3)

- a) 緯度符号  
3.88.1 a) 参照
- b) 緯度  
3.88.1 b) 参照
- c) 経度  
3.88.1 c) 参照
- d) 高度符号  
3.88.3 e) 参照
- e) 高度  
3.88.3 f) 参照

3.88.8 高度情報と楕円体誤差を含む楕円体上の点の形状記述

	8	7	6	5	4	3	2	1
1	緯度符号	MSB						
2	緯度							
3								LSB
4	MSB							
5	経度							
6								LSB
7	高度符号							
8	高度							
9	予備	長半径						
10	予備	短半径						
11	方位							
12	予備	高度誤差符号						
13	予備	信頼度						

図3 - 8 1 i / J T - Q 7 6 3 高度情報と楕円体誤差を含む  
楕円体上の点の形状記述のフォーマット  
(ITU-T Q.1902.3)

- a) 緯度符号  
3.88.1 a) 参照
- b) 緯度.  
3.88.1 b) 参照
- c) 経度  
3.88.1 c) 参照
- d) 高度符号  
3.88.3 e) 参照
- e) 高度  
3.88.3 f) 参照
- f) 長半径  
3.88.4 d) 参照
- g) 短半径  
3.88.4 e) 参照
- h) 方位  
3.88.4 f) 参照
- i) 高度誤差符号  
3.88.3 g) 参照
- j) 信頼度  
3.88.2 e) 参照

### 3.88.9 楕円体弧

楕円体弧の形状記述のフォーマットを図3 - 8 1 j / J T - Q 7 6 3に示す。

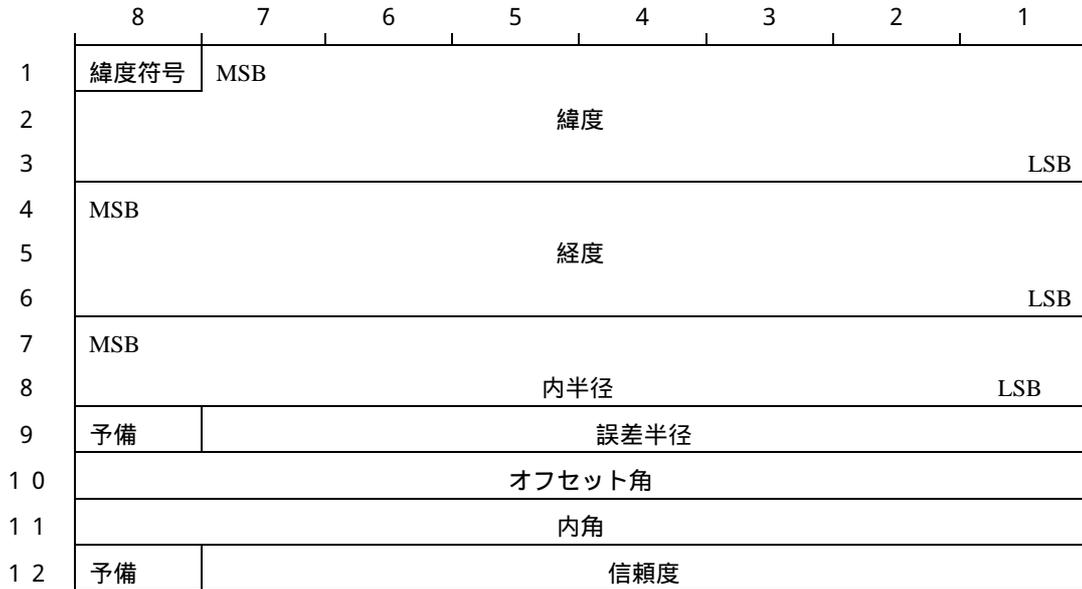


図3 - 8 1 j / J T - Q 7 6 3 楕円体弧の形状記述のフォーマット  
(ITU-T Q.1902.3)

a) 緯度符号

3.88.1 a) 参照

b) 緯度

3.88.1 b) 参照

c) 経度

3.88.1 c) 参照

d) 内半径

内半径は16ビット長の二進数Nで符号化される。Nが1増加する毎に内半径は5m単位で増加する。m単位で示される半径rの範囲とNとの対応関係は、以下に示す方程式により示される。

$$5N \leq r < (N+1)$$

より大きな半径を扱うための拡張用としてのためN=2<sup>16</sup>-1は除く。最大の半径は327675mである。

e) 誤差半径

誤差半径は誤差符号と同様に符号化される。3.88.2 d) 参照

f) オフセット角

3.88.5 e) 参照

g) 内角

3.88.5 f) 参照

h) 信頼度

3.88.2 e) 参照

- 3.89 HTR 情報 #  
 図3 - 82 / JT - Q763 HTR 情報パラメータフィールド #  
 (ITU-T Q.763)
- 3.90 ネットワークルーティング番号 (国内用) #  
 図3 - 83 / JT - Q763 ネットワークルーティング番号パラメータフィールド #  
 (ITU-T Q.763)
- 3.91 クエリーオンリリース能力 (網オプション) #  
 図3 - 84 / JT - Q763 クエリーオンリリース能力パラメータフィールド #  
 (ITU-T Q.763)
- 3.92 ピボット状態表示 (国内用) #  
 図3 - 85 / JT - Q763 ピボット状態表示パラメータフィールド #  
 (ITU-T Q.763)
- 3.93 ピボットルーティング回数 #  
 図3 - 86 / JT - Q763 ピボットルーティング回数パラメータフィールド #  
 (ITU-T Q.763)
- 3.94 ピボットルーティング順方向情報 #

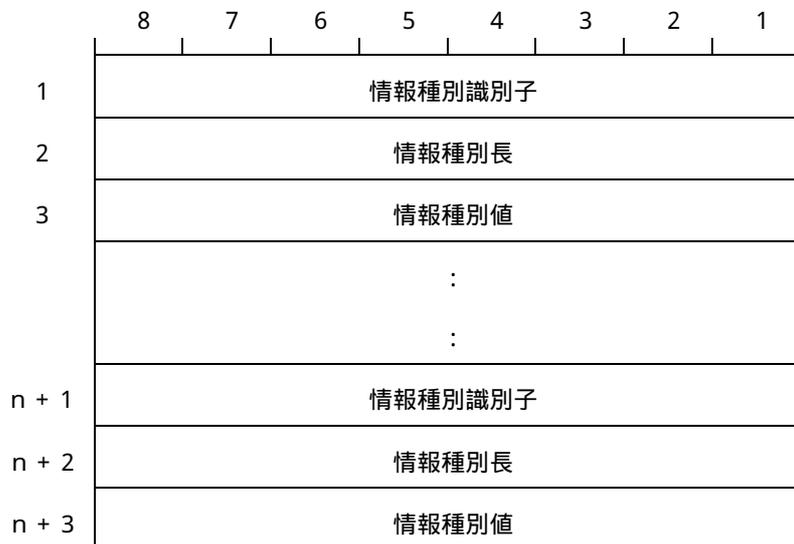


図3 - 87 / JT - Q763 ピボットルーティング順方向情報パラメータフィールド  
 (ITU-T Q.763)

(TTC 注) ISUP ではピボットルーティング手順をサポートしないが、図3 - 87 / JT - Q763は 3.99 \*  
 のリダイレクション順方向情報 (国内用) / 3.100 のリダイレクション逆方向情報 (国内用) からの参照先 \*  
 である為、表記上削除しない。 \*

- 3.94.1 起動交換機への切戻し可能 #

- 3.94.2 起動交換機への切戻し用呼識別子 #
- 3.94.3 ピボット実行表示 #
  - 図3 - 88 / JT - Q763 ピボット実行表示パラメータフィールド #
  - (ITU-T Q.763)
- 3.94.4 ピボット起動理由 #
  - 図3 - 89 / JT - Q763 ピボット起動理由パラメータフィールド #
  - (ITU-T Q.763)
- 3.95 ピボットルーティング逆方向情報 #
- 3.95.1 起動交換機への切戻し期間 #
- 3.95.2 起動交換機への切戻し用呼識別子 #
- 3.95.3 ピボット起動理由 #

3.96 リダイレクション能力 (国内用)

リダイレクション能力パラメータフィールドのフォーマットを、図3 - 90 / JT - Q763 に示す。

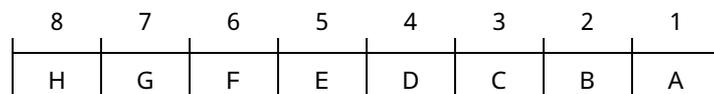


図3 - 90 / JT - Q763 リダイレクション能力パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

次のコードがリダイレクション能力パラメータフィールドで使用される。

ビットCBA : リダイレクション可能表示

- 000 未使用
- 001 ACM 以前、リダイレクション可能
- 010 ANM 以前、リダイレクション可能 #
- 011 常時リダイレクション可能 #
- 100 } 予備
- }
- 111 }

ビットG - D : 予備

ビットH : 拡張表示

3.25 a) 参照

3.97 リダイレクション回数（国内用）

リダイレクション回数パラメータフィールドのフォーマットを、図3 - 91 / JT - Q763に示す。

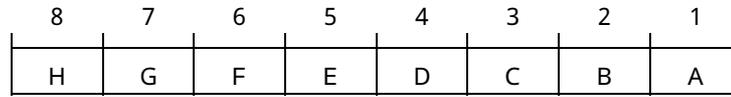


図3 - 91 / JT - Q763 リダイレクション回数パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

次のコードがリダイレクション回数パラメータフィールドで使用される。

- ビットEDCBA : リダイレクション回数  
                  リダイレクションした回数のバイナリ値
- ビットH - F : 予備

3.98 リダイレクション状態表示（国内用）

#

図3 - 92 / JT - Q763 リダイレクション状態表示パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

#

3.99 リダイレクション順方向情報（国内用）

リダイレクション順方向情報パラメータフィールドのフォーマットは、図3 - 87 / JT - Q763と同様である。

a) 情報種別識別子

- 00000000 未使用
- 00000001 起動交換機への切戻し可能
- 00000010 起動交換機への切戻し用呼識別子
- 00000011 リダイレクション実行表示
- 00000100 リダイレクション起動理由
- 00000101 } 予備
- }            }
- 11111111 }

#

#

3.99.1 起動交換機への切戻し可能

#

3.99.2 起動交換機への切戻し用呼識別子

#

3.99.3 リダイレクション実行表示

リダイレクション実行表示パラメータフィールドのフォーマットを図3 - 93 / JT - Q763に示す。

		8	7	6	5	4	3	2	1	
理由 1	1	拡張	リダイレクション実行理由							
	2	予備					実行交換機リダイレクション 可能表示			
		:								
		:								
理由 n	2 n - 1	拡張	リダイレクション実行理由							
	2 n	予備					実行交換機リダイレクション 可能表示			

図 3 - 9 3 / J T - Q 7 6 3 リダイレクション実行表示パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

a) 拡張表示

3.25 a) 参照

b) リダイレクション実行理由

- 0 0 0 0 0 0 0 不定 / 無効
- 0 0 0 0 0 0 1 事業者間ポータビリティ (国内用)
- 0 0 0 0 0 1 0 ロケーションポータビリティのため留保
- 0 0 0 0 0 1 1 サービスポータビリティのため留保
- 0 0 0 0 1 0 0 } 予備
- 0 1 1 1 1 1 1 }
- 1 0 0 0 0 0 0 } 国内使用のため留保
- 1 1 1 1 1 0 1 }
- 1 1 1 1 1 1 0 一般番号ポータビリティ (LNP) / 携帯電話番号ポータビリティ (MNP) \*  
(国内用) \*
- 1 1 1 1 1 1 1 国内使用のため留保 \*

c) 実行交換機リダイレクション可能表示

- 0 0 0 表示なし
- 0 0 1 ACM以前、リダイレクション可能
- 0 1 0 ANM以前、リダイレクション可能 #
- 0 1 1 常時リダイレクション可能 #
- 1 0 0 } 予備
- 1 }
- 1 1 1 }

### 3.99.4 リダイレクション起動理由

リダイレクション起動理由パラメータフィールドのフォーマットを、図3 - 94 / JT - Q763に示す。

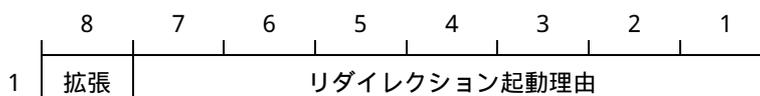


図3 - 94 / JT - Q763 リダイレクション起動理由パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763)

リダイレクション起動理由は3.99.3のリダイレクション実行表示のa)、b)と同様にコーディングされる。

### 3.100 リダイレクション逆方向情報(国内用)

リダイレクション逆方向情報パラメータフィールドのフォーマットは、図3 - 87 / JT - Q763と同様である。

#### a) 情報種別識別値

0 0 0 0 0 0 0 0	未使用	
0 0 0 0 0 0 0 1	起動交換機への切戻し期間	#
0 0 0 0 0 0 1 0	起動交換機への切戻し用呼識別子	#
0 0 0 0 0 0 1 1	リダイレクション起動理由	
0 0 0 0 0 1 0 0	} 予備	
}		
1 1 1 1 1 1 1 1		

3.100.1 起動交換機への切戻し期間 #

3.100.2 起動交換機への切戻し用呼識別子 #

#### 3.100.3 リダイレクション起動理由

リダイレクション起動理由パラメータフィールドのフォーマットとコードは、3.99.4と同様である。

3.101 番号ポータビリティ順方向情報(網オプション) #

図3 - 95 / JT - Q763 リダイレクション状態表示パラメータフィールド  
(ITU-T Q.763) #

3.102 網機能種別

網機能種別パラメータフィールドのフォーマット例を、図3 - 96 / JT - Q763に示す。

8	7	6	5	4	3	2	1
H	G	F	E	D	C	B	A

図3 - 96 / JT - Q763 網機能種別パラメータフィールド

フィールド構成は網毎に規定する。

3.103 料金区域情報

料金区域情報パラメータフィールドのフォーマット例を、図3 - 97 / JT - Q763に示す。

	8	7	6	5	4	3	2	1
1	奇 / 偶	情報識別表示						
:	第2数字				第1数字			
	料金区域情報							
n	フィラー (必要な場合)				第N数字			

図3 - 97 / JT - Q763 料金区域情報パラメータフィールド

次のコードが料金区域情報パラメータフィールドのサブフィールドで使用される。

a) 奇数 / 偶数

- 0 料金区域情報桁数が偶数
- 1 料金区域情報桁数が奇数

b) 情報識別表示

- 0 0 0 0 0 0 0 MAコード
- 0 0 0 0 0 0 1 CAコード
- 0 0 0 0 0 1 0 } 予備
- }
- 1 1 1 1 1 1 1 }

c) 料金区域情報

コーディング則がBCDの場合、料金区域情報は次のように4ビット料金区域情報に分割される。

- 0 0 0 0 デジット0
- 0 0 0 1 デジット1
- 0 0 1 0 デジット2
- 0 0 1 1 デジット3

0 1 0 0	ディジット4	*
0 1 0 1	ディジット5	*
0 1 1 0	ディジット6	*
0 1 1 1	ディジット7	*
1 0 0 0	ディジット8	*
1 0 0 1	ディジット9	*

d) フィラー

桁数が奇数の料金区域情報の場合、フィラーコード“ 0 0 0 0 ”が最後の料金区域情報の後に挿入される。

3.104 課金情報

課金情報パラメータフィールドのフォーマットを、図3 - 98 / JT - Q763に示す。



図3 - 98 / JT - Q763 課金情報パラメータフィールド

フィールド構成は、課金情報種別パラメータの値がTTC標準JT - Q763節 3.105で規定されている以外の場合は、網毎に規定する。

(1) 課金情報種別パラメータ値が「11111110 (課金レート転送)」の場合の課金情報パラメータフィールドのフォーマットを、図3 - 99 a / JT - Q763に示す。

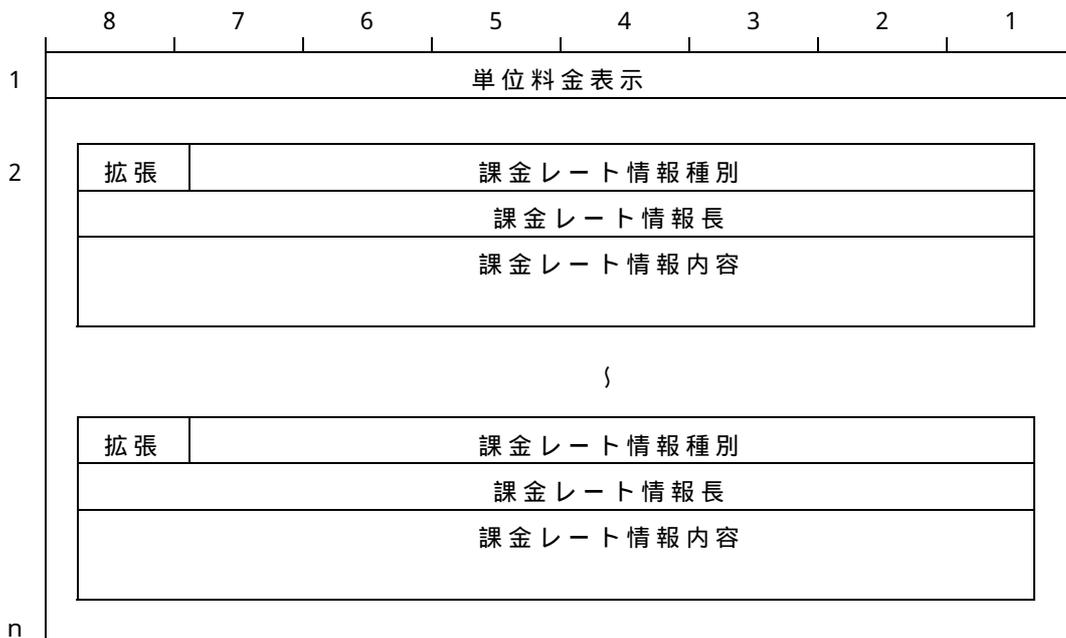


図3 - 99 a / JT - Q763 課金情報パラメータフィールド

注) 同一課金レート情報種別が同一パラメータ内に繰り返されることはない。

\*

次のコードが課金情報パラメータフィールドで使用される。

\*

a) 単位料金表示

\*

```

0 0 0 0 0 0 0 0  予備
0 0 0 0 0 0 0 1  }
                    } 網固有情報として留保
1 0 0 0 0 0 0 0  }
1 0 0 0 0 0 0 1  }
                    } 予備
1 1 1 1 1 0 1 1  }
1 1 1 1 1 1 0 0  単位料金100円
1 1 1 1 1 1 0 1  単位料金10円
1 1 1 1 1 1 1 0  表示なし
1 1 1 1 1 1 1 1  予備
    
```

\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*

b) 拡張表示

\*

3.25 a) 参照

\*

c) 課金レート情報種別

\*

```

0 0 0 0 0 0 0 0  予備
0 0 0 0 0 0 0 1  }
                    } 網固有情報として留保
1 0 0 0 0 0 0 0  }
1 0 0 0 0 0 0 1  }
                    } 予備
1 1 1 1 0 1 1 1  }
1 1 1 1 1 1 0 0  柔軟課金レート指示(公衆)
1 1 1 1 1 1 0 1  柔軟課金レート指示(一般)
1 1 1 1 1 1 1 0  柔軟課金レート情報なし
1 1 1 1 1 1 1 1  予備
    
```

\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*

単位料金表示が「11111110(表示なし)」の場合

\*

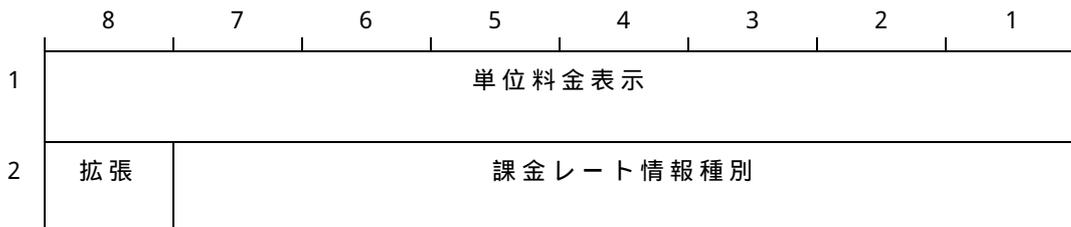


図3 - 99 b / JT - Q763 課金情報パラメータフィールド

\*

- a) 単位料金表示 \*  
1 1 1 1 1 1 1 0 表示なし \*
- b) 課金レート情報種別 \*  
1 1 1 1 1 1 0 柔軟課金レート情報なし \*
- c) 拡張表示 \*  
1 最終オクテット \*

課金レート情報種別が「1 1 1 1 1 0 1 (柔軟課金レート指示(一般))、1 1 1 1 1 0 0 (柔軟課金レート指示(公衆))」の場合 \*  
\*

	8	7	6	5	4	3	2	1	
1	単位料金表示								
2	拡張	課金レート情報種別							
3	課金レート情報長								
	(初期)一括登算度数を IA5 で表す (10M + N)								M
	第1課金間隔(秒)を IA5 で表す								N
	$((100A + 10B + C) / 2)$ 秒 / 単位料金								A
	第2課金間隔(秒)を IA5 で表す								B
	$((100D + 10E + F) / 2)$ 秒 / 単位料金								C
	第3課金間隔(秒)を IA5 で表す								D
	$((100G + 10H + I) / 2)$ 秒 / 単位料金								E
	第4課金間隔(秒)を IA5 で表す								F
	$((100J + 10K + L) / 2)$ 秒 / 単位料金								G
	第5課金間隔(秒)を IA5 で表す								H
	$((100J + 10K + L) / 2)$ 秒 / 単位料金								I
n	第n課金間隔(秒)を IA5 で表す								J
	$((100J + 10K + L) / 2)$ 秒 / 単位料金								K
	第n課金間隔(秒)を IA5 で表す								L
	$((100J + 10K + L) / 2)$ 秒 / 単位料金								

図3 - 99 c / JT - Q763 課金情報パラメータフィールド \*

柔軟課金レート(一般) : \*  
一般電話用課金における、通話開始時の一括登算度数と一定秒数毎の単位料金を表す情報 \*

柔軟課金レート(公衆) : \*  
公衆電話用課金における、通話開始時の一括登算度数と一定秒数毎の単位料金を表す情報 \*

注) 第 課金間隔は4つまで含められる。 \*  
いくつ含まれるかは「課金レート情報長」により識別する。 \*

a) 拡張表示

0 次オクテットに続く

\*  
\*

(2) 課金情報種別パラメータ値が「00000011(応用課金レート転送)」の場合の課金情報パラメータフィールドのフォーマットを、図3-99d/JT-Q763に示す。

\*  
\*

	8	7	6	5	4	3	2	1
1	拡張	予備			信号要素種別			
1 a	拡張	予備			起動ID			
1 b	拡張	オペレーションクラス		オペレーション種別				
1 c	拡張	課金者種別			料金収集方法			
2	料金/レート表示							
2 a	料金/レート情報							
n								

図3-99d/JT-Q763 課金情報パラメータフィールド

\*

次のコードが課金情報パラメータフィールドで使用される。

\*

a) 拡張表示

\*

3.25 a) 参照

\*

b) 信号要素種別：一対の信号のやりとりを識別するために送信される情報である。

\*

000 予備

\*

001 予備

\*

010 起動 : 実行すべきオペレーションを実行する。

\*

011

\*

} 予備

\*

111

\*

c) 起動ID

\*

オペレーションとその応答の関連付けをするための参照番号として用いる。IDは、起動信号を要求したノードによって割り付けられ、特定のオペレーション要求により参照される。また要求されたオペレーションに対応する応答にも同一の値が設定される。IDはバイナリ表現でコーディングされる。

\*

\*

\*

d) オペレーションクラス		*
00	クラス1 (報告なし)	*
01	} 予備	*
1		*
11		*
e) オペレーション種別		*
00000	} 予備	*
00101		*
00110	即時課金指示：課金契機を通知する。また、課金レート情報を含めてもよい。	*
00111	} 予備	*
1		*
11111		*
f) 課金者種別		*
000	発信者課金	*
001	} 予備	*
1		*
111		*
g) 料金収集方法		*
0000	加入者請求 - 正常	*
0001	} 予備	*
1		*
1111		*
h) 料金/レート表示		*
00000000	予備	*
00000001	予備	*
00000010	料金/レート情報なし	*
00000011	} 予備	*
1		*
11111111		*
i) 料金/レート情報		*
	未規定 (当面使用しない)	*

3.105 課金情報種別

課金情報種別パラメータフィールドのフォーマットを、図3 - 100 / JT - Q763に示す。

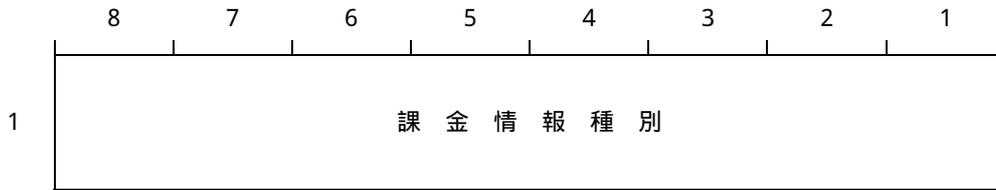


図3 - 100 / JT - Q763 課金情報種別パラメータフィールド

次のコードが課金情報種別パラメータフィールドで使用される。

- 0 0 0 0 0 0 0 0 } 網固有情報として留保
- 0 0 0 0 0 0 1 0 } 網固有情報として留保
- 0 0 0 0 0 0 1 1 応用課金レート転送
- 0 0 0 0 0 1 0 0 } 網固有情報として留保
- 1 0 0 0 0 0 0 0 } 網固有情報として留保
- 1 0 0 0 0 0 0 1 } 予備
- 1 1 1 1 1 1 0 1 } 予備
- 1 1 1 1 1 1 1 0 課金レート転送
- 1 1 1 1 1 1 1 1 予備

3.106 契約者番号

契約者番号パラメータフィールドのフォーマットは、図3 - 101 / JT - Q763に示される。

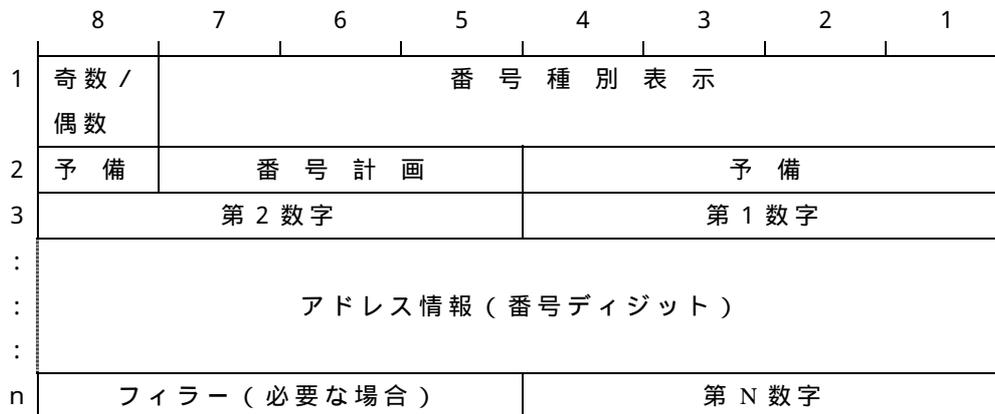


図3 - 101 / JT - Q763 契約者番号パラメータフィールド

次に示すコードが、契約者番号パラメータフィールドで使用される。

a) 奇数/偶数表示

3.9 a) 参照

b) 番号種別表示

0 0 0 0 0 0 0	予備
0 0 0 0 0 0 1	加入者番号
0 0 0 0 0 1 0	予備
0 0 0 0 0 1 1	国内番号
0 0 0 0 1 0 0	} 予備
}	
1 1 1 1 1 1 1	

c) 番号計画表示

0 0 0	予備
0 0 1	I S D N ( 電話 ) 番号計画 ( E . 1 6 4 )
0 1 0	} 予備
}	
1 1 1	

d) アドレス情報

0 0 0 0	ディジット	0
0 0 0 1	ディジット	1
0 0 1 0	ディジット	2
0 0 1 1	ディジット	3
0 1 0 0	ディジット	4
0 1 0 1	ディジット	5
0 1 1 0	ディジット	6
0 1 1 1	ディジット	7
1 0 0 0	ディジット	8
1 0 0 1	ディジット	9
1 0 1 0	} 予備	
}		
1 1 1 1		

最上位桁の数字情報が最初に送られる。その後、数字情報が連続した4ビットフィールドで送られる。

e) フィラー

3.9 f) 参照

3.107 移動通信用エンド情報転送

\*

移動通信用エンド情報転送パラメータフィールドのフォーマットを図3 - 102 / JT - Q763に示す。

\*

\*

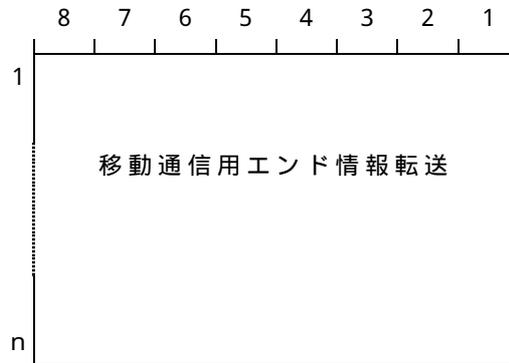


図3 - 102 / JT - Q763 移動通信用エンド情報転送パラメータフィールド

\*

フィールド構成は、網毎に規定する。

\*

3.108 移動通信用呼番号

\*

移動通信用呼番号パラメータフィールドのフォーマットを図3 - 103 / JT - Q763に示す。

\*



図3 - 103 / JT - Q763 移動通信用呼番号パラメータフィールド

\*

フィールド構成は、網毎に規定する。

\*

3.109 PHS 端末識別番号

PHS 端末識別番号パラメータフィールドのフォーマットは、図3 - 104 / JT - Q763 に示す。

	8	7	6	5	4	3	2	1
1	奇数 / 偶数	番号種別表示						
2	予備	番号計画			予備			
3	第2数字				第1数字			
.	アドレス情報 (番号ディジット)							
n	フィラー (必要な場合)				第N数字			

図3 - 104 / JT - Q763 PHS 端末識別番号パラメータフィールド

次に示すコードは、PHS 端末識別番号パラメータフィールドのサブフィールドで使用される。

a) 奇数 / 偶数表示

0 : 番号ディジットの桁数が偶数

1 : 番号ディジットの桁数が奇数

b) 番号種別表示

0000000 予備

0000001 加入者番号

0000010 不定

0000011 国内番号

0000100 国際番号

0000101 } 予備

}

1101111 }

1110000 }

}

1111101 } 国内使用のため留保

1111110 網特有番号 (網が提供するサービス特番)

1111111 予備

- c) 番号計画表示 \*
- 000 予備 \*
- 001 ISDN(電話)番号計画(勧告E.164) \*
- 010 } \*
- 011 } 予備 \*
- 100 } \*
- 101 } 国内使用のため留保 \*
- 110 } \*
- 111 予備 \*

- d) アドレス情報 \*
- 0000 デジット 0 \*
- 0001 デジット 1 \*
- 0010 デジット 2 \*
- 0011 デジット 3 \*
- 0100 デジット 4 \*
- 0101 デジット 5 \*
- 0110 デジット 6 \*
- 0111 デジット 7 \*
- 1000 デジット 8 \*
- 1001 デジット 9 \*
- 1010 } \*
- } 予備 \*
- 1111 } \*

最上位桁のアドレス情報が最初に送出される。その後アドレス情報が連続した4ビットフィールドで送られる。 \*

- e) フィラー \*
- アドレス情報の桁数が奇数桁の場合、フィラーコード“0000”が最後のアドレス情報の後に挿入される。 \*

3.110 発信者番号非通知理由 \*

発信者番号非通知理由パラメータフィールドのフォーマットは、図3-105/JT-Q763に示される。 \*

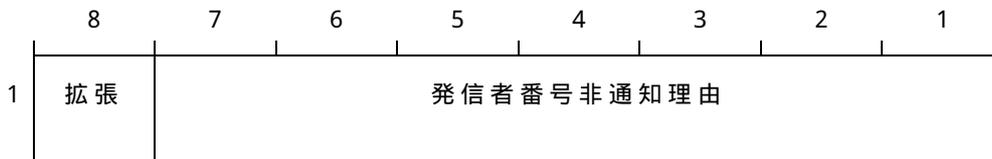


図3-105/JT-Q763 発信者番号非通知理由パラメータフィールド \*

以下のコードが発信者番号非通知理由パラメータフィールドで使用される。 \*

- a) 拡張表示 \*
- 3.25 a) 参照 \*
- b) 発信者番号非通知理由 \*
- 0 0 0 0 0 0 0 留保 \*
- 0 0 0 0 0 0 1 ユーザ拒否のため通知不可 \*
- 0 0 0 0 0 1 0 サービス競合のため通知不可 \*
- 0 0 0 0 0 1 1 公衆電話発信のため通知不可 \*
- 0 0 0 0 1 0 0 } 予備 \*
- } \*
- 1 1 1 1 1 1 0 } \*
- 1 1 1 1 1 1 1 拡張のため留保 \*

3.111 国内用リダイレクション理由 \*  
 国内用リダイレクション理由パラメータフィールドのフォーマットを、図3 - 106 / JT - Q763 \*  
 に示す。 \*



図3 - 106 / JT - Q763 国内用リダイレクション理由パラメータフィールド \*

次のコードが国内用リダイレクション理由パラメータフィールドで使用される。 \*  
 ビットGFEDCBA : リダイレクション理由 \*

- 0 0 0 0 0 0 0 予備 \*
- 0 0 0 0 0 0 1 } \*
- } 網固有情報として留保 \*
- 1 0 0 0 0 0 0 } \*
- 1 0 0 0 0 0 1 } 予備 \*
- } \*
- 1 1 1 1 1 0 1 } \*
- 1 1 1 1 1 1 0 ローミング \*
- 1 1 1 1 1 1 1 予備 \*

ビットH : 予備 \*

3.112 付加ユーザ種別

付加ユーザ種別パラメータフィールドのフォーマットを、図3 - 107 / JT - Q763に示す。



図3 - 107 / JT - Q763 付加ユーザ種別パラメータフィールド

付加ユーザ種別パラメータフィールドには、付加ユーザ種別を任意に組み合わせて設定する。  
次のコードが付加ユーザ種別パラメータフィールドで使用される。

a) 付加ユーザ種別名

- 0 0 0 0 0 0 0 0 予備
- 0 0 0 0 0 0 0 1 } 網固有情報として留保
- }
- 1 0 0 0 0 0 0 0 }
- 1 0 0 0 0 0 0 1 } 予備
- }
- 1 1 1 1 1 0 1 0 }
- 1 1 1 1 1 0 1 1 移動系付加ユーザ種別 3
- 1 1 1 1 1 1 0 0 移動系付加ユーザ種別 2
- 1 1 1 1 1 1 0 1 移動系付加ユーザ種別 1
- 1 1 1 1 1 1 1 0 固定系付加ユーザ種別 1
- 1 1 1 1 1 1 1 1 予備

b) 固定系付加ユーザ種別 1 : 付加的なユーザ種別情報を設定

- 0 0 0 0 0 0 0 0 予備
- 0 0 0 0 0 0 0 1 列車公衆
- 0 0 0 0 0 0 1 0 ピンク
- 0 0 0 0 0 0 1 1 } 予備
- }
- 1 1 1 1 1 1 1 1 }

- c) 移動系付加ユーザ種別 1 : サービスに関する情報を設定 \*
- 0 0 0 0 0 0 0 0 予備 \*
  - 0 0 0 0 0 0 0 1 移動通信 (自動車・携帯電話サービス) \*
  - 0 0 0 0 0 0 1 0 移動通信 (船舶電話サービス) \*
  - 0 0 0 0 0 0 1 1 移動通信 (航空機電話サービス) \*
  - 0 0 0 0 0 1 0 0 移動通信 (無線呼び出しサービス) \*
  - 0 0 0 0 0 1 0 1 PHS 通信 (PHS サービス) \*
  - 0 0 0 0 0 1 1 0 } 予備 \*
  - } \*
  - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 }
- d) 移動系付加ユーザ種別 2 : 通信方式に関する情報を設定 \*
- 0 0 0 0 0 0 0 0 予備 \*
  - 0 0 0 0 0 0 0 1 移動通信 (大容量方式) \*
  - 0 0 0 0 0 0 1 0 移動通信 (N/J-TACS) \*
  - 0 0 0 0 0 0 1 1 移動通信 (PDC 800MHz) \*
  - 0 0 0 0 0 1 0 0 移動通信 (PDC 1.5GHz) \*
  - 0 0 0 0 0 1 0 1 移動通信 (N-STAR 衛星) \*
  - 0 0 0 0 0 1 1 0 移動通信 (cdmaOne 800MHz) \*
  - 0 0 0 0 0 1 1 1 移動通信 (イリジウム衛星) \*
  - 0 0 0 0 1 0 0 0 移動通信 (IMT-2000) \*
  - 0 0 0 0 1 0 0 1 PHS 通信 (PHS (活用型)) \*
  - 0 0 0 0 1 0 1 0 } 予備 \*
  - } \*
  - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 }
- e) 移動系付加ユーザ種別 3 : 料金方式に関する情報を設定 \*
- 0 0 0 0 0 0 0 0 } 網固有情報として留保 (注) \*
  - } \*
  - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 }
- 注) 網毎に規定される。 \*

### 3.113 課金情報遅延 \*

課金情報遅延パラメータフィールドのフォーマットを、図 3 - 1 0 8 / J T - Q 7 6 3 に示す。 \*

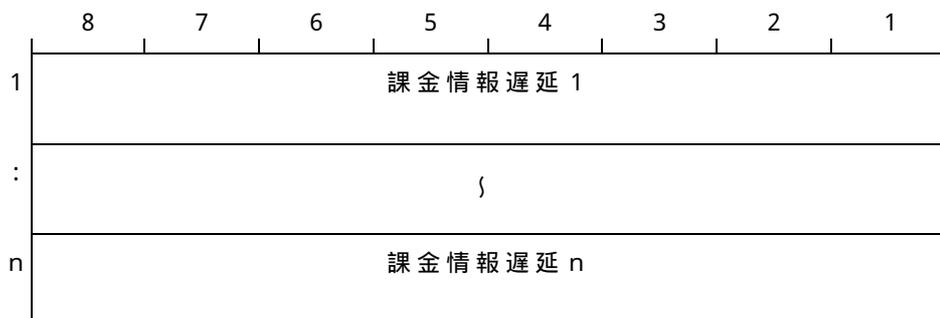


図 3 - 1 0 8 / J T - Q 7 6 3 課金情報遅延パラメータフィールド \*

次のコードが課金情報遅延パラメータフィールドで使用される。

0 0 0 0 0 0 0 0	予備	
0 0 0 0 0 0 0 1	}	網固有情報として留保
1 0 0 0 0 0 0 0		
1 0 0 0 0 0 0 1	}	予備
1 1 1 1 1 1 0 0		
1 1 1 1 1 1 0 1	課金レート転送	
1 1 1 1 1 1 1 0	着信地域情報	
1 1 1 1 1 1 1 1	予備	

注) 同一コードが同一パラメータ内に繰り返されることはない。  
第9版～第16版をサポートするためのオプションである。

### 3.114 事業者情報転送

事業者情報転送パラメータフィールドのフォーマットを、図3 - 109 / JT - Q763に示す。

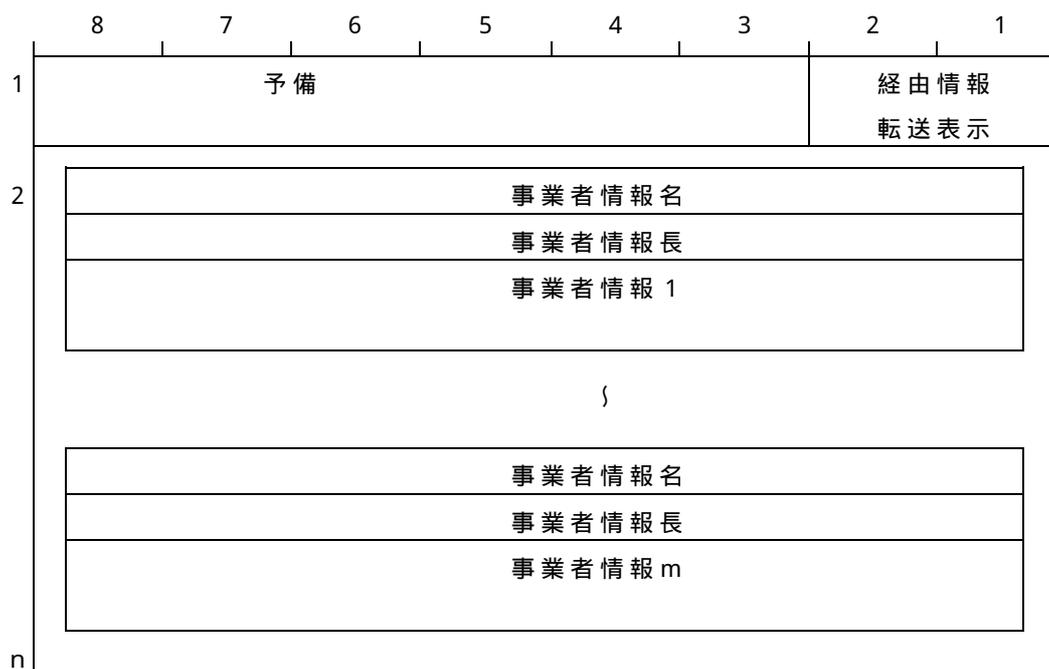


図3 - 109 / JT - Q763 事業者情報転送パラメータフィールド

注) 事業者情報名が同一パラメータ内に繰り返し使用されることがある。その際の順序については保証する。(順方向メッセージ中の本パラメータに経由事業者情報が繰り返される場合は、発網に近い方から順に設定する。逆方向メッセージ中に含める場合は、着網に近い方から設定する。)

#### a) 経由情報転送表示

0 0	転送なし
0 1	順方向
1 0	逆方向
1 1	両方向

注) 事業者情報転送パラメータが逆方向に転送される場合、本表示は意味を持たない。なお、この場合“00”を設定する。 \*  
\*

b) 事業者情報名		*
00000000	予備	*
00000001	} 網固有情報として留保	*
}		*
10000000		*
10000001	} 予備	*
}		*
11110111		*
11111000	移転元SCP事業者情報	*
11111001	移転先SCP事業者情報	*
11111010	SCP事業者情報	*
11111011	発事業者情報	*
11111100	着事業者情報	*
11111101	選択中継事業者情報	*
11111110	経由事業者情報	*
11111111	予備	*

(1) 事業者情報

事業者情報パラメータフィールドのフォーマットを、図3 - 109 a / JT - Q763に示す。

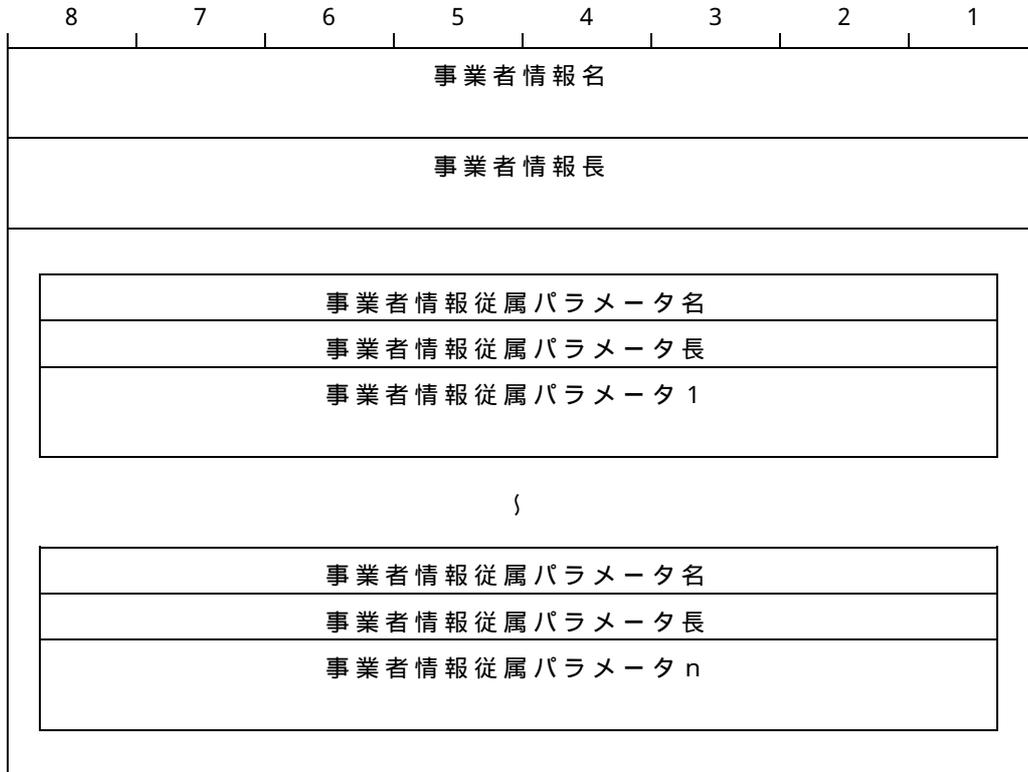


図3 - 109 a / JT - Q763 事業者情報パラメータフィールド

注1) 事業者情報長は複数の事業者情報従属パラメータのフィールドが設定された場合の拡張性を考慮し、全ての情報を含んだ長さとする。

注2) 事業者情報従属パラメータを含む3オクテット以降はTLV形式とする。

a) 事業者情報従属パラメータ名

- 0 0 0 0 0 0 0 0 予備
- 0 0 0 0 0 0 0 1 } 網固有情報として留保
- }
- 1 0 0 0 0 0 0 0 }
- 1 0 0 0 0 0 0 1 } 予備
- }
- 1 1 1 1 1 0 1 1 }
- 1 1 1 1 1 1 0 0 POI - 階梯情報
- 1 1 1 1 1 1 0 1 POI - 料金区域情報
- 1 1 1 1 1 1 1 0 事業者識別コード
- 1 1 1 1 1 1 1 1 予備

(2) 事業者情報名が「11111011(発事業者情報)」の場合

\*

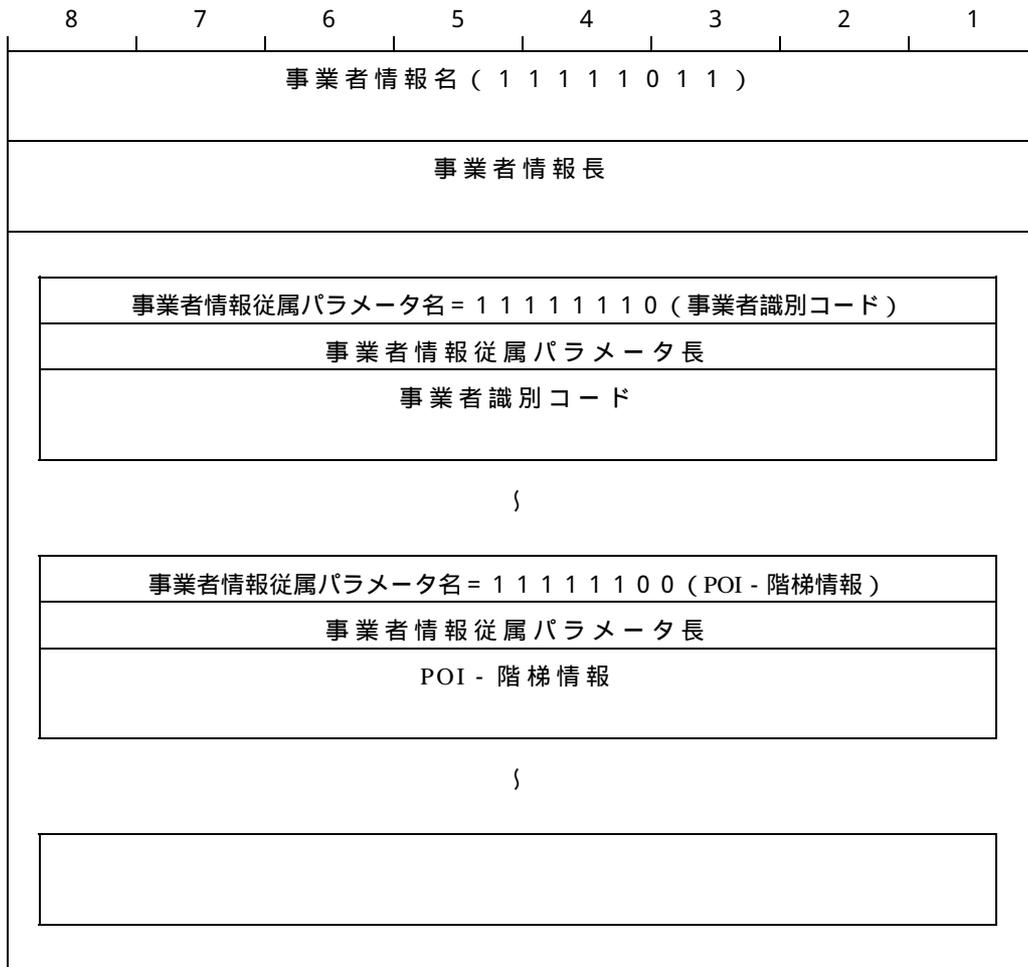


図3-109b/JT-Q763 発事業者情報パラメータフィールド

\*

注) 事業者情報長は事業者情報従属パラメータ名が事業者識別コード、POI-階梯情報以外のフィールドが設定された場合の拡張性を考慮し、全ての情報を含んだ長さとする。

\*

\*

1) 事業者情報従属パラメータ名

\*

11111110 事業者識別コード

\*

11111100 POI-階梯情報

\*

2) 事業者識別コードの内容については(9)に示す。

\*

POI-階梯情報の内容については、(11)に示す。

\*

(3) 事業者情報名が「11111100(着事業者情報)」の場合

\*

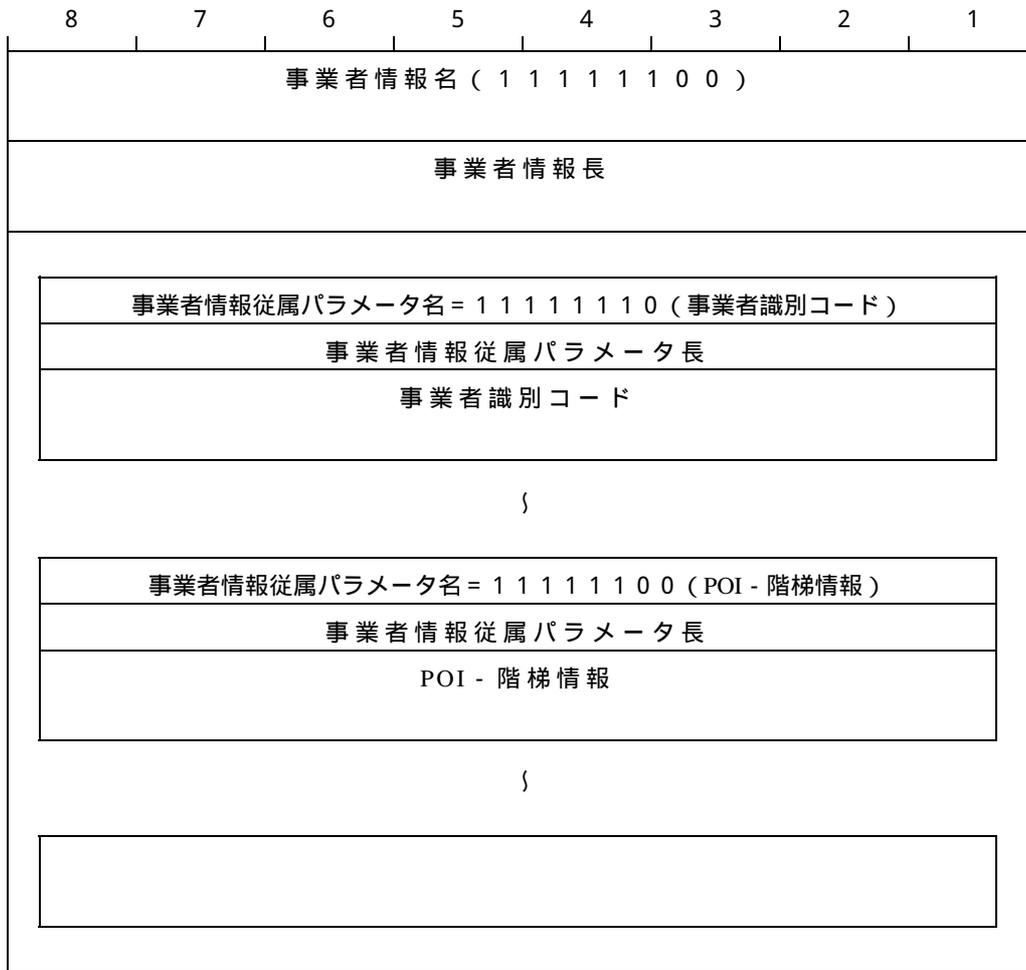


図3-109c/JT-Q763 着事業者情報パラメータフィールド

\*

注) 事業者情報長は事業者情報従属パラメータ名が事業者識別コード、POI-階梯情報以外のフィールドが設定された場合の拡張性を考慮し、全ての情報を含んだ長さとする。

\*

\*

1) 事業者情報従属パラメータ名

\*

11111110 事業者識別コード

\*

11111100 POI-階梯情報

\*

2) 事業者識別コードの内容については(9)に示す。

\*

POI-階梯情報の内容については(11)に示す。

\*

(4) 事業者情報名が「11111101 (選択中継事業者情報)」の場合

\*

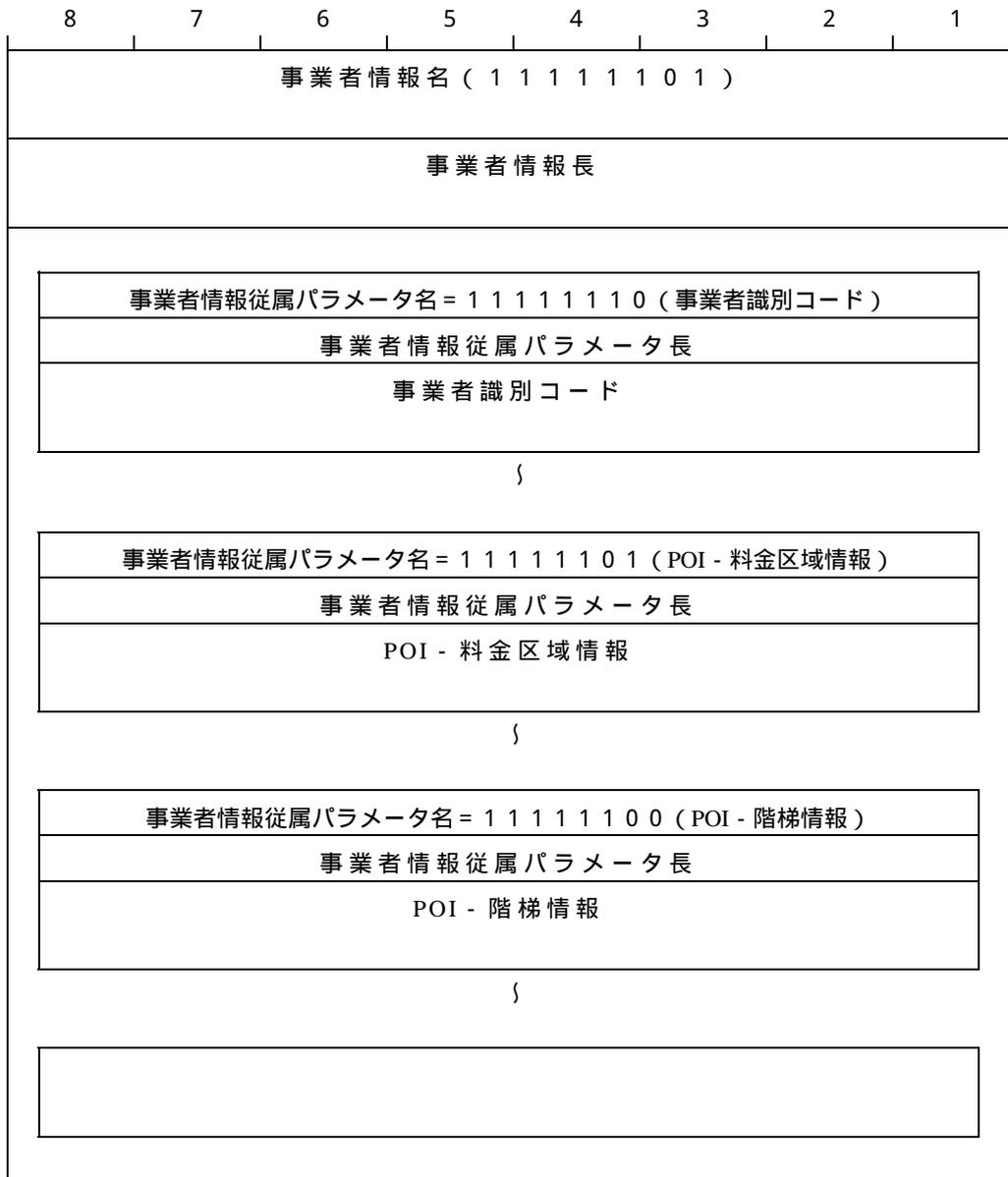


図3 - 109d / JT - Q763 選択中継事業者情報パラメータフィールド

\*

注) 事業者情報長は事業者情報従属パラメータ名が事業者識別コード、POI - 料金区域情報、POI - 階梯情報以外のフィールドが設定された場合の拡張性を考慮し、全ての情報を含んだ長さとする。

\*

\*

1) 事業者情報従属パラメータ名

\*

1 1 1 1 1 1 1 0 事業者識別コード

\*

1 1 1 1 1 1 0 1 POI - 料金区域情報

\*

1 1 1 1 1 1 0 0 POI - 階梯情報

\*

2) 事業者識別コードの内容については(9)に示す。

\*

POI - 料金区域情報の内容については(10)に示す。

\*

POI - 階梯情報の内容については(11)に示す。

\*

(5) 事業者情報名が「11111110(経由事業者情報)」の場合

\*

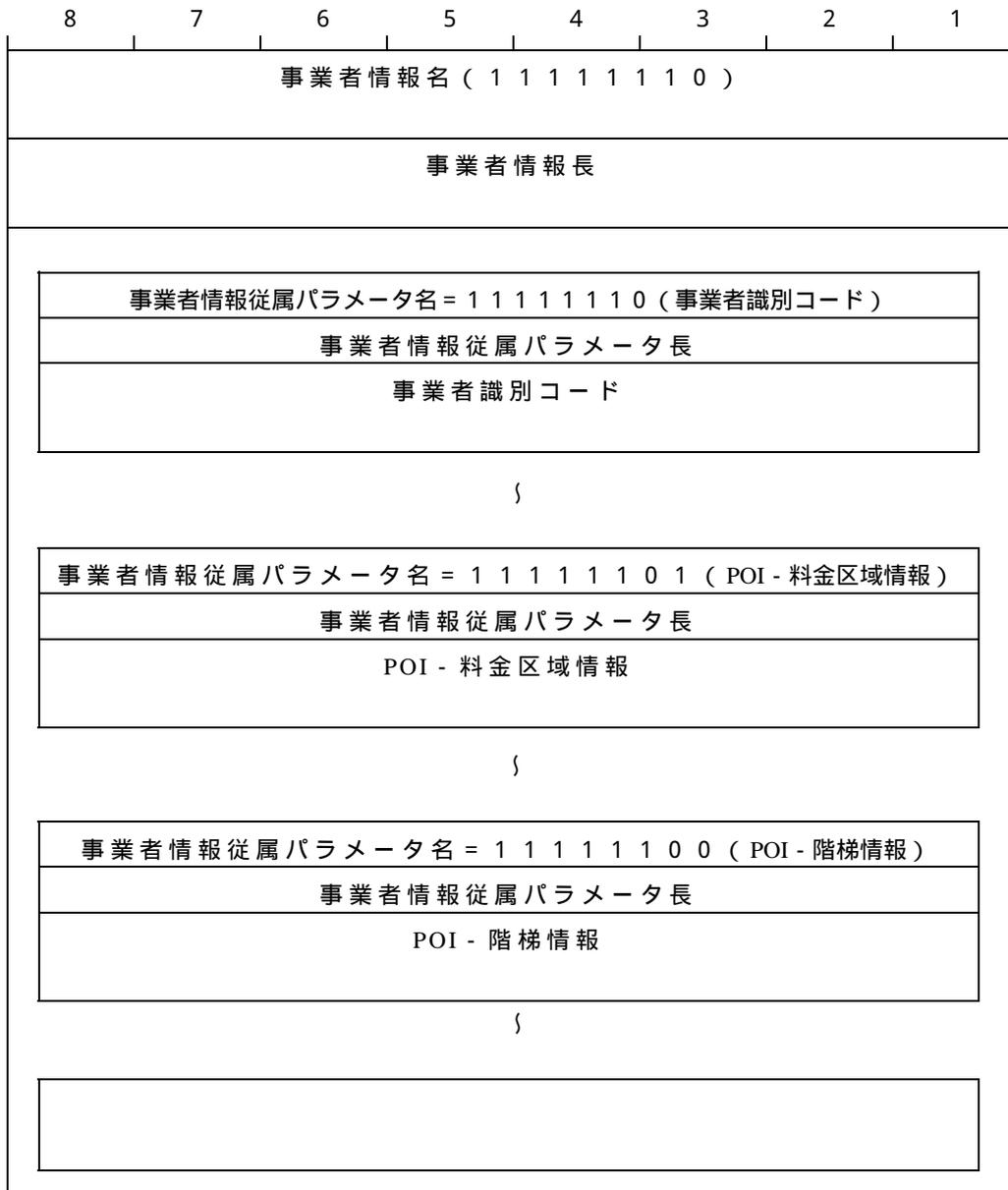


図3-109e/JT-Q763 経由事業者情報パラメータフィールド

\*

注) 事業者情報長は事業者情報従属パラメータ名が事業者識別コード、POI-料金区域情報、POI-階梯情報以外のフィールドが設定された場合の拡張性を考慮し、全ての情報を含んだ長さとする。

\*

\*

1) 事業者情報従属パラメータ名

\*

11111110 事業者識別コード

\*

11111101 POI-料金区域情報

\*

11111100 POI-階梯情報

\*

2) 事業者識別コードの内容については(9)に示す。

\*

POI-料金区域情報の内容については(10)に示す。

\*

POI-階梯情報の内容については(11)に示す。

\*

(6) 事業者情報名が「11111010 (SCP事業者情報)」の場合

\*

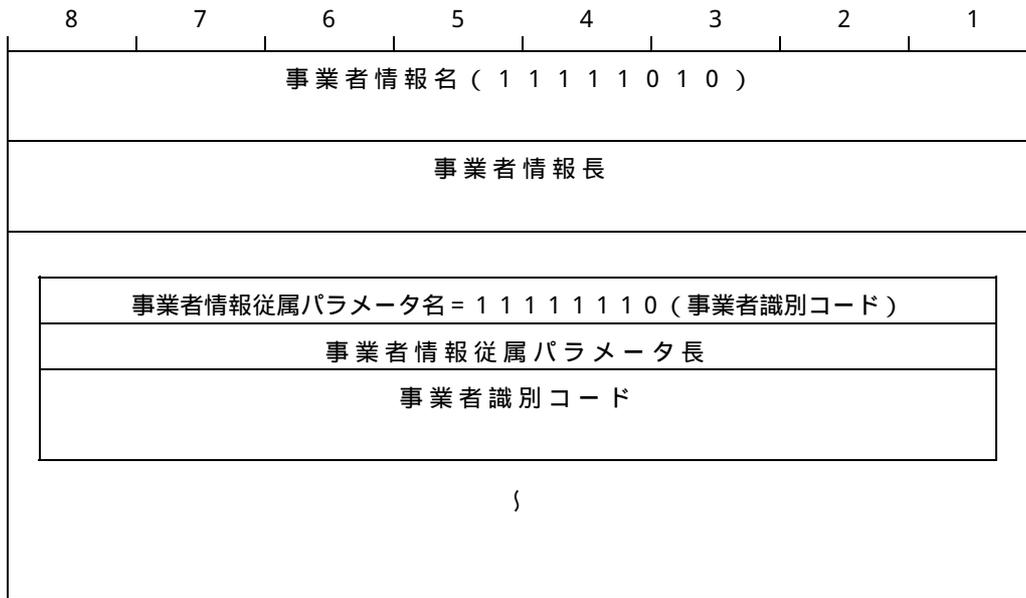


図3 - 109f / JT - Q763 SCP事業者情報パラメータフィールド

\*

注) 事業者情報長は事業者情報従属パラメータ名が事業者識別コード以外のフィールドが設定された場合の拡張性を考慮し、全ての情報を含んだ長さとする。

\*

\*

1) 事業者情報従属パラメータ名

\*

1 1 1 1 1 1 1 0 事業者識別コード

\*

2) 事業者識別コードの内容については(9)に示す。

\*

(7) 事業者情報名が「11111000(移転元SCP事業者情報)」の場合

\*

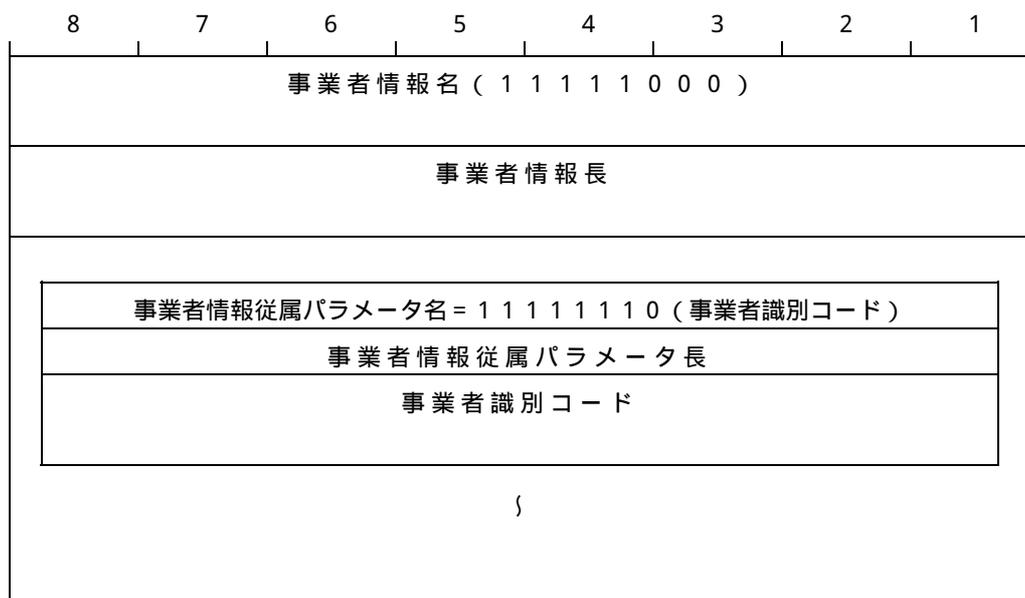


図3-109g/JT-Q763 移転元SCP事業者情報パラメータフィールド

\*

注) 事業者情報長は事業者情報従属パラメータ名が事業者識別コード以外のフィールドが設定された場合の拡張性を考慮し、全ての情報を含んだ長さとする。

\*

\*

1) 事業者情報従属パラメータ名

\*

11111110 事業者識別コード

\*

2) 事業者識別コードの内容については(9)に示す。

\*

(8) 事業者情報名が「11111001(移転先SCP事業者情報)」の場合

\*

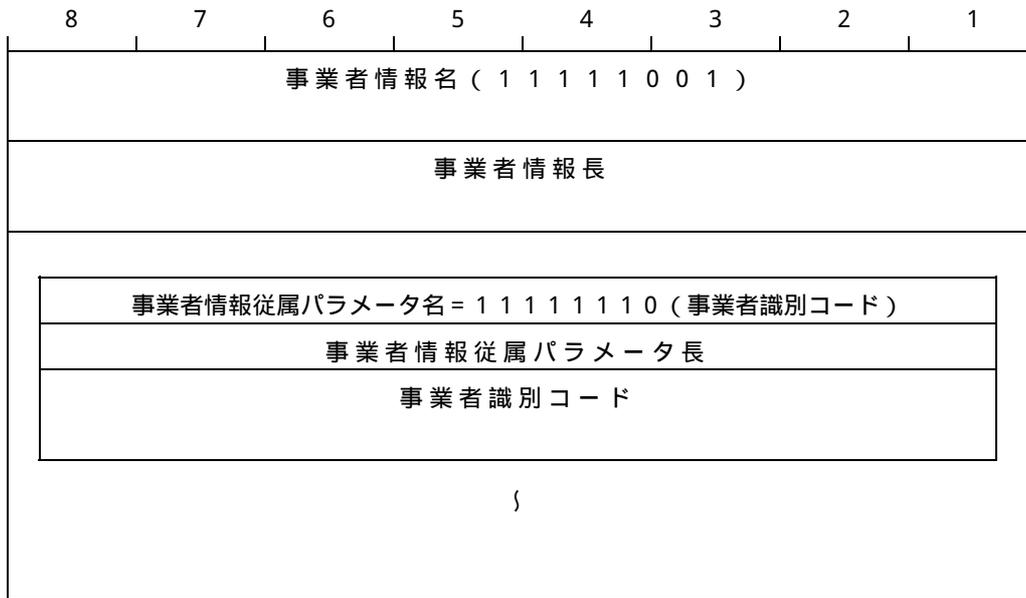


図3 - 109h / JT - Q763 移転先SCP事業者情報パラメータフィールド

\*

注) 事業者情報長は事業者情報従属パラメータ名が事業者識別コード以外のフィールドが設定された場合の拡張性を考慮し、全ての情報を含んだ長さとする。

\*

\*

1) 事業者情報従属パラメータ名

\*

11111110 事業者識別コード

\*

2) 事業者識別コードの内容については(9)に示す。

\*

(9) 事業者識別コード

事業者識別コードパラメータフィールドのフォーマットを、図3 - 109 i / JT - Q763 に示す。

	8	7	6	5	4	3	2	1
1	奇 / 偶	予備						
:	第 2 数字				第 1 数字			
	事業者識別コード							
n	フィラー (必要な場合)				第 N 数字			

図3 - 109 i / JT - Q763 事業者識別コードパラメータフィールド

次のコードが事業者識別コードパラメータフィールドのサブフィールドで使用される。

a) 奇数 / 偶数

- 0 事業者識別コード桁数が偶数
- 1 事業者識別コード桁数が奇数

b) 事業者識別コード

事業者識別コードは、以下に示すコーディング則に従って表される。

- 0 0 0 0 デジット0
- 0 0 0 1 デジット1
- 0 0 1 0 デジット2
- 0 0 1 1 デジット3
- 0 1 0 0 デジット4
- 0 1 0 1 デジット5
- 0 1 1 0 デジット6
- 0 1 1 1 デジット7
- 1 0 0 0 デジット8
- 1 0 0 1 デジット9
- 1 0 1 0 } 予備
- }
- 1 1 1 1 }

c) フィラー

桁数が奇数の事業者識別コードの場合、フィラーコード“0000”が最後の事業者識別コードの後に挿入される。

( 1 0 ) POI - 料金区域情報

POI - 料金区域情報パラメータフィールドのフォーマットを、図 3 - 1 0 9 j / J T - Q 7 6 3 に示す。

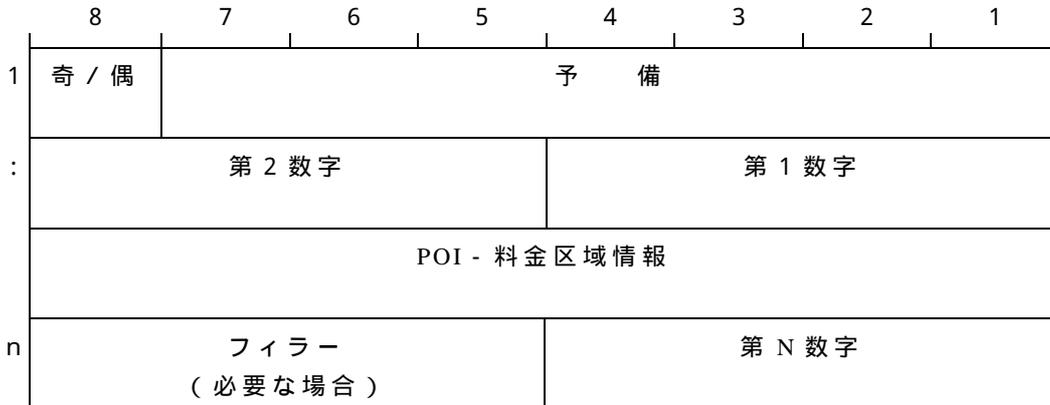


図 3 - 1 0 9 j / J T - Q 7 6 3 POI - 料金区域情報パラメータフィールド

次のコードが POI - 料金区域情報パラメータフィールドのサブフィールドで使用される。

a ) 奇数 / 偶数

- 0 POI - 料金区域情報桁数が偶数
- 1 POI - 料金区域情報桁数が奇数

b ) POI - 料金区域情報

コーディング則が BCD の場合、 POI - 料金区域情報は次のように 4 ビット POI - 料金区域情報に分割される。

- 0 0 0 0 デジット 0
- 0 0 0 1 デジット 1
- 0 0 1 0 デジット 2
- 0 0 1 1 デジット 3
- 0 1 0 0 デジット 4
- 0 1 0 1 デジット 5
- 0 1 1 0 デジット 6
- 0 1 1 1 デジット 7
- 1 0 0 0 デジット 8
- 1 0 0 1 デジット 9
- 1 0 1 0 } 予備
- }
- 1 1 1 1 }

c ) フィラー

桁数が奇数の POI - 料金区域情報の場合、 フィラーコード “ 0 0 0 0 ” が最後の POI - 料金区域情報の後に挿入される。

(11) POI - 階梯情報

POI - 階梯情報パラメータフィールドのフォーマットを、図3 - 109k / JT - Q763に示す。

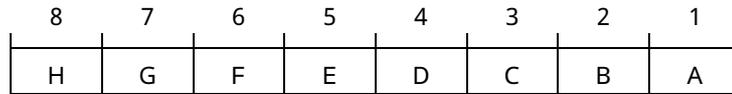


図3 - 109k / JT - Q763 POI - 階梯情報パラメータフィールド

次のコードがPOI - 階梯情報パラメータフィールドで使用される。

ビットDCBA : 出側POI - 階梯情報

- 0000 表示なし
- 0001 階梯1
- 0010 階梯2
- 0011 } 予備
- }
- 1111 }

ビットHGFE : 入側POI - 階梯情報

- 0000 表示なし
- 0001 階梯1
- 0010 階梯2
- 0011 } 予備
- }
- 1111 }

3.115 輻輳制御済み通知情報

輻輳制御済み通知情報パラメータフィールドのフォーマットを図3 - 110 / JT - Q763に示す。

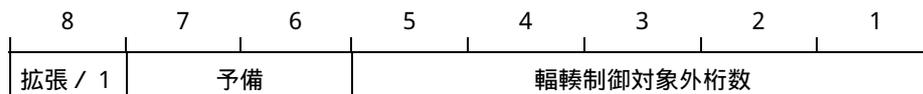


図3 - 110 / JT - Q763 輻輳制御済み通知情報パラメータフィールド

以下のコードが輻輳制御済み通知情報パラメータフィールドで使用される。

a) 輻輳制御対象外桁数

輻輳制御を実施した番号情報に対する輻輳制御対象外桁数を2進数で表す。

b) 拡張表示

3.25 a) 参照

### 3.116 発測地速度情報

速度は図3 - 111 / JT - Q763に示すように符号化される。第1オクテットのビット5~8の速度種別が、続くビットで示される速度情報の種別を定義する。

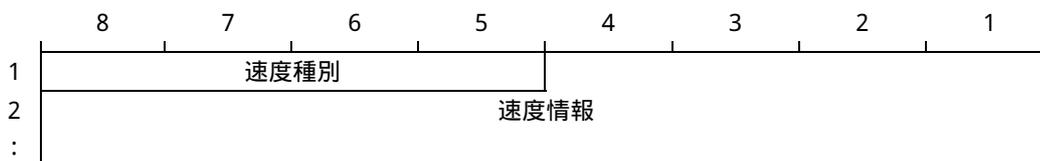


図3 - 111 / JT - Q763 発測地速度情報のパラメータフィールド  
(ITU-T Q.1902.3)

以下に示すコード値が速度情報パラメータのサブフィールドで使用される。

#### a) 速度種別

- 0 0 0 0 水平速度
- 0 0 0 1 水平垂直速度
- 0 0 1 0 誤差を含む水平速度
- 0 0 1 1 誤差を含む水平垂直速度
- 0 1 0 0 } 留保
- } 留保
- 1 1 1 0 } 留保
- 1 1 1 1 拡張のため留保

#### b) 速度情報

以下の節に示すように、速度情報は速度種別毎に符号化される

#### 3.116.1 水平速度

速度種別が「水平速度」の場合、速度情報のフォーマットは図3 - 112 a / JT - Q763で示される。

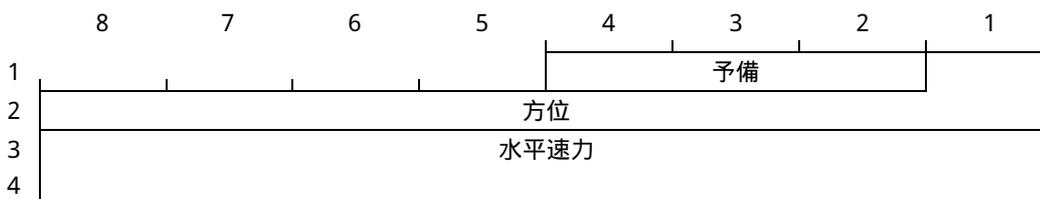


図3 - 112 a / JT - Q763 水平速度用の速度情報パラメータフィールド  
(ITU-T Q.1902.3)

#### a) 予備

#### b) 方位

方位は9ビット長の二進数  $N$  で符号化される。 $N$  が1増加する毎に、方位は北から時計回りに1度増加する。度単位で示される方位  $b$  と  $N$  との対応関係は、以下に示す方程式により示される。

$$N \quad b < N+1$$

360  $N < 511$  は使用されない。

c) 水平速力

水平速力は 16 ビット長の二進数  $N$  で符号化される。 $N$  が 1 増加する毎に、水平速力は 1km/h 増加する。km/h で示される水平速力  $h$  と  $N$  との対応関係は、以下に示す方程式により示される。

$$\begin{array}{lll} N & h < N + 0.5 & (N = 0) \\ N - 0.5 & h < N + 0.5 & (0 < N < 2^{16} - 1) \\ N - 0.5 & h & (N = 2^{16} - 1) \end{array}$$

3.116.2 水平垂直速度

速度種別が「水平垂直速度」の場合、速度情報のフォーマットは図 3 - 1 1 2 b / J T - Q 7 6 3 で示される。

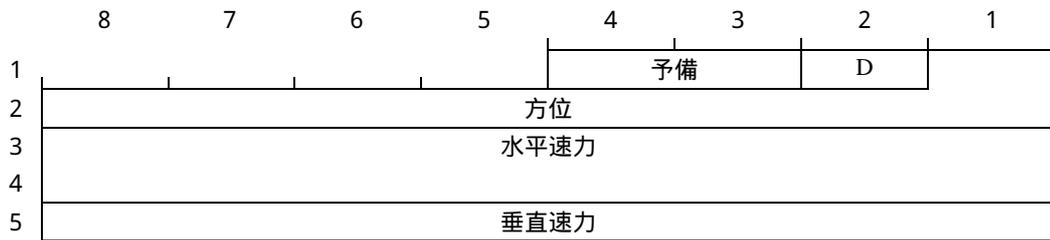


図 3 - 1 1 2 b / J T - Q 7 6 3 水平垂直速度用の速度情報パラメータフィールド  
(ITU-T Q.1902.3)

- a) 予備
- b) D (垂直速力の方向)
  - 0 上方
  - 1 下方
- c) 方位
  - 3.116.1 b)参照
- d) 水平速力
  - 3.116.1 c)参照
- e) 垂直速力

垂直速力は 0 から  $2^8 - 1$  の範囲の 8 ビット長の二進数  $N$  で符号化される。 $N$  が 1 増加する毎に、垂直速力は 1km/h 増加する。km/h で示される垂直速力  $v$  と  $N$  との対応関係は、以下に示す方程式により示される。

$$\begin{array}{lll} N & v < N + 0.5 & (N = 0) \\ N - 0.5 & v < N + 0.5 & (0 < N < 2^8 - 1) \\ N - 0.5 & v & (N = 2^8 - 1) \end{array}$$

3.116.3 誤差を含む水平速度

速度種別が「誤差を含む水平速度」を示す場合、速度情報のフォーマットは図 3 - 1 1 2 c / J T - Q 7 6 3 で示される。

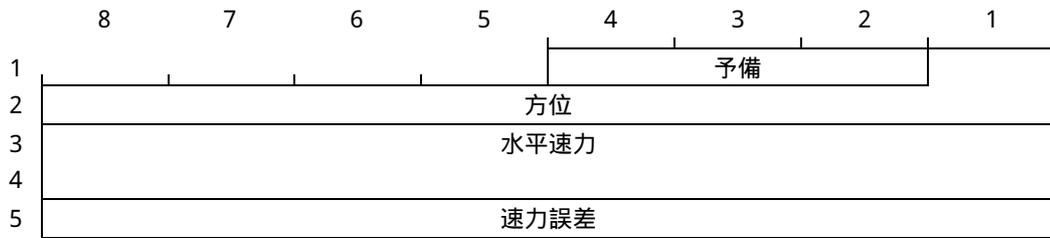


図3 - 1 1 2 c / J T - Q 7 6 3 誤差を含む水平速度用の速度情報パラメータフィールド  
(ITU-T Q.1902.3)

- a) 予備
- b) 方位  
3.116.1 b)参照
- c) 水平速力  
3.116.1 c)参照
- d) 速度誤差

速度誤差は 8 ビット長の二進数  $N$  で符号化される。 $N$  が 1 増加する毎に、速度誤差は 1km/h 増加する。誤差を規定しないことを示す  $N=255$  を除いて、 $N$  の値は速度誤差を示す。

#### 3.116.4 誤差を含む水平垂直速度

速度種別が「誤差を含む水平垂直速度」を示す場合、速度情報のフォーマットは図3 - 1 1 2 d / J T - Q 7 6 3 で示される。

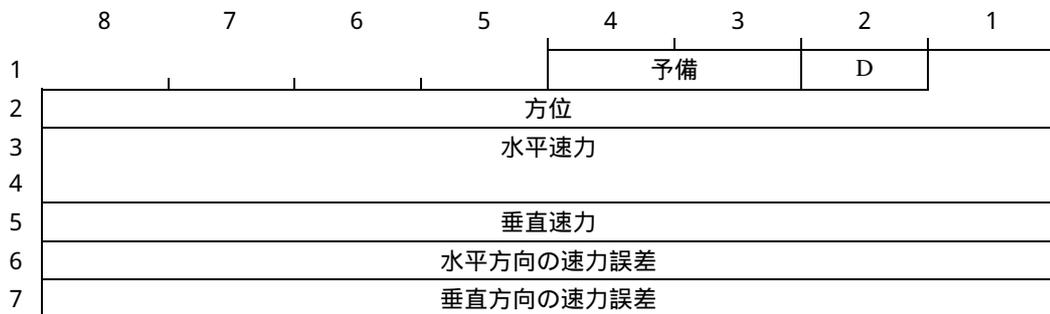


図3 - 1 1 2 d / J T - Q 7 6 3 誤差を含む水平垂直速度用の速度情報パラメータフィールド  
(ITU-T Q.1902.3)

- a) 予備
- b) 垂直速力の方向  
3.116.2 b)参照
- c) 方位  
3.116.1 b)参照
- d) 水平速力  
3.116.1 c)参照
- e) 垂直速力  
3.116.2 e)参照
- f) 水平方向の速度誤差

水平方向の速度誤差は 8 ビット長の二進数  $N$  で符号化される。 $N$  が 1 増加する毎に、水平方向の速度誤差は 1km/h 増加する。誤差を規定しないことを示す  $N=255$  を除いて、 $N$  の値は水平方向の速

力誤差を示す。

g) 垂直方向の速力誤差

垂直方向の速力誤差は 8 ビット長の二進数 N で符号化される。N が 1 増加する毎に、垂直方向の速力誤差は 1km/h 増加する。誤差を規定しないことを示す N=255 を除いて、N の値は垂直方向の速力誤差を示す。

3.117 緊急通報呼表示

緊急通報呼表示パラメータフィールドのフォーマットを、図 3 - 1 1 3 / J T - Q 7 6 3 に示す。



図 3 - 1 1 3 / J T - Q 7 6 3 緊急通報呼表示パラメータフィールド

次のコードが緊急通報呼表示パラメータフィールドで使用される。

- ビット B A : 緊急通報呼種別
- 0 0 種別を特定しない
  - 0 1 予備
  - 1 0 予備
  - 1 1 予備

ビット H - C : 予備

(注) 詳細な緊急通報呼種別の表示は今後の課題とする

#### 4 . I S D Nユーザ部メッセージとコード

この章ではI S D Nユーザ部メッセージのフォーマットとコーディングを規定している。

各々のメッセージに対し、関連するパラメータのリストを表形式で示す。

- パラメータの内容のフォーマットとコードを規定している参照すべき章。
- パラメータのタイプ、表中に次のタイプが使用される。
  - F = 固定長必須パラメータ
  - V = 可変長必須パラメータ
  - O = 可変長または固定長のオプション・パラメータ
- パラメータ長、  
表中の値は次のものを含む。
  - タイプFのパラメータに対しては、パラメータ内容の長さ（オクテット単位）
  - タイプVのパラメータに対しては、長さ表示とパラメータ内容を合わせた長さ（オクテット単位）。最小長と最大長を示す。
  - タイプOのパラメータに対しては、パラメータ名、長さ表示とパラメータ内容を合わせた長さ（オクテット単位）。可変長パラメータに対しては、最小長と最大長を示す。
  - T T C 規定の値については括弧内に示す。

\*

各々のメッセージ種別に対し、タイプFパラメータとタイプVパラメータのポインタは次の表に規定する順に従って送出しなければならない。

ルーチングラベルと回線番号フィールドは、必要ならばメッセージ種別の前に転送され、表には示されていない。パラメータ名、可変長必須フィールドとオプション部のポインタおよび長さ表示は、図 1 - 3 / J T - Q 7 6 3 に示すようにメッセージの中に含まれるが、表 4 - 1 ~ 4 - 34 / J T - Q 7 6 3 には明示されない。

表 4 - 1 / J T - Q 7 6 3

(ITU-T Q.763)

メッセージ種別：アドレス完了 (ACM)

パラメータ	参照節	タイプ	長さ (オクテット)	
メッセージ種別	2.1	F	1	
逆方向呼表示	3.5	F	2	
オプション逆方向呼表示	3.37	O	3	
呼番号 (国内用)	3.8	O	7	#
理由表示	3.12	O	4 ~ ?	
ユーザ・ユーザ表示	3.60	O	3	
ユーザ・ユーザ情報	3.61	O	3 ~ 131	
アクセス転送	3.3	O	3 ~ ?	
汎用通知識別子 (注1)	3.25	O	3	
使用通信路	3.56	O	3	#
エコー制御情報	3.19	O	3	#
アクセス配送情報	3.2	O	3	#
転送先番号 (注2)	3.46	O	5 ~ ?	#
パラメータコンパチビリティ 情報	3.41	O	4 ~ ?	
呼転送情報	3.6	O	3	#
網特有ファシリティ (国内用)	3.36	O	4 ~ ?	
リモートオペレーション (国内用)	3.48	O	8 ~ ?	#
サービス活性化	3.49	O	3 ~ ?	#
転送先番号制限	3.47	O	3	#
会議電話処理表示	3.76	O	3 ~ ?	#
UID動作表示	3.78	O	3 ~ ?	
アプリケーション転送 (注3)	3.82	O	5 ~ ?	
C C N R可能表示	3.83	O	3	#
H T R 情報	3.89	O	4 ~ ?	#
ピボットルーティング逆方向情報	3.95	O	3 ~ ?	#
リダイレクション状態表示 (国内用)	3.98	O	3	#
網機能種別	3.102	O	3	*
料金区域情報	3.103	O	3 ~ ?	*
課金情報	3.104	O	3 ~ ?	*
課金情報種別	3.105	O	3	*
移動通信用エンド情報転送	3.107	O	3 ~ ?	*
移動通信用呼番号	3.108	O	9	*
付加ユーザ種別	3.112	O	4 ~ 18	*
課金情報遅延 (注4)	3.113	O	3 ~ ?	*
事業者情報転送	3.114	O	3 ~ ?	*
オプションパラメータ終了表示	3.20	O	1	

注1) このパラメータは繰り返されるかもしれない。

- 注 2) 前バージョンの I S U P との同位のインターワークではフォーマットエラーが生じ、呼の解放へと導かれる場合がある。 #  
#
- 注 3) 複数のアプリケーション転送パラメータが互いに異なる分割シーケンスに属するならば、それらは同一メッセージ内に含まれ送出されてもよい。
- 注 4) 第 9 版 ~ 第 1 6 版をサポートするためのオプションである。 \*



注 1) このパラメータは繰り返されるかもしれない。

注 2) 前バージョンの I S U P との同位のインターワークではフォーマットエラーが生じ、呼の解放へと導かれる場合がある。

注 3) 複数のアプリケーション転送パラメータが互いに異なる分割シーケンスに属するならば、それらは同一メッセージ内に含まれ送出されてもよい。

表4 - 3 ( 1 / 2 ) / J T - Q 7 6 3

( ITU-T Q.763 )

メッセージ種別：呼経過 ( C P G )

パラメータ	参照節	タイプ	長さ ( オクテット )	
メッセージ種別	2.1	F	1	
イベント情報	3.21	F	1	
理由表示	3.12	O	4 ~ ?	
呼番号 ( 国内用 )	3.8	O	7	#
逆方向呼表示	3.5	O	4	
オプション逆方向呼表示	3.37	O	3	
アクセス転送	3.3	O	3 ~ ?	
ユーザ・ユーザ表示	3.60	O	3	
転送先番号 ( 注 2 )	3.46	O	5 ~ ?	#
ユーザ・ユーザ情報	3.61	O	3 ~ 131	
汎用通知識別子 ( 注 1 )	3.25	O	3	
網特有ファシリティ ( 国内用 )	3.36	O	4 ~ ?	
リモートオペレーション ( 国内用 )	3.48	O	8 ~ ?	#
使用通信路	3.56	O	3	#
アクセス配送情報	3.2	O	3	
パラメータコンパチビリティ情報	3.41	O	4 ~ ?	
呼転送情報	3.6	O	3	#
サービス活性化	3.49	O	3 ~ ?	#
転送先番号制限	3.47	O	3	#
コールトランスファ番号 ( 注 2 )	3.64	O	4 ~ ?	#
エコー制御情報	3.19	O	3	#
接続先番号 ( 注 2 )	3.16	O	4 ~ ?	
逆方向 G V N S	3.62	O	3 ~ ?	#
汎用番号 ( 注 1 ) ( 注 2 )	3.26	O	5 ~ ?	
呼履歴情報	3.7	O	4	#
会議電話処理表示	3.76	O	3 ~ ?	#
U I D 動作表示	3.78	O	3 ~ ?	
アプリケーション転送 ( 注 3 )	3.82	O	5 ~ ?	
C C N R 可能表示	3.83	O	3	#
ピボットルーティング逆方向情報	3.95	O	3 ~ ?	#
リダイレクション状態表示 ( 国内用 )	3.98	O	3	#
網機能種別	3.102	O	3	*
料金区域情報	3.103	O	3 ~ ?	*
移動通信用エンド情報転送	3.107	O	3 ~ ?	*
課金情報	3.104	O	3 ~ ?	*
課金情報種別	3.105	O	3	*

表 4 - 3 ( 2 / 2 ) / J T - Q 7 6 3

( ITU-T Q.763 )

メッセージ種別：呼経過 ( C P G )

パラメータ	参照節	タイプ	長さ ( オクテット )
移動通信用呼番号	3.108	O	9
付加ユーザ種別	3.112	O	4 ~ 18
課金情報遅延 ( 注 4 )	3.113	O	3 ~ ?
事業者情報転送	3.114	O	3 ~ ?
オプションパラメータ終了表示	3.20	O	1

\*  
\*  
\*  
\*

注 1 ) このパラメータは繰り返されるかもしれない。

注 2 ) 前バージョンの I S U P との同位のインターワークではフォーマットエラーが生じ、呼の解放へと導かれる場合がある。

注 3 ) 複数のアプリケーション転送パラメータが互いに異なる分割シーケンスに属するならば、それらは同一メッセージ内に含まれ送出されてもよい。

注 4 ) 第 9 版 ~ 第 1 6 版をサポートするためのオプションである。

\*

表 4 - 4 / J T - Q 7 6 3

( ITU-T Q.763 )

メッセージ種別：回線群状態応答 ( C Q R ) ( 国内用 )

パラメータ	参照節	タイプ	長さ ( オクテット )
メッセージ種別	2.1	F	1
範囲と状態 ( 注 )	3.43	V	2
回線状態表示	3.14	V	2 ~ 33 ( 3 ~ 33 ) *

注) 状態サブフィールドを含まない。

表 4 - 5 / J T - Q 7 6 3

( ITU-T Q.763 )

メッセージ種別：回線群リセット確認 ( G R A )

パラメータ	参照節	タイプ	長さ ( オクテット )
メッセージ種別	2.1	F	1
範囲と状態	3.43	V	3 ~ 34

表 4 - 6 / J T - Q 7 6 3

( ITU-T Q.763 )

メッセージ種別：コンフュージョン ( C F N )

パラメータ	参照節	タイプ	長さ ( オクテット )
メッセージ種別	2.1	F	1
理由表示	3.12	V	3 ~ ? ( 4 ~ 20 ) *
オプションパラメータ終了表示	3.20	O	1

表 4 - 7 / J T - Q 7 6 3  
 ( ITU-T Q.763 )  
 メッセージ種別：接続 ( C O N )

パラメータ	参照節	タイプ	長さ ( オクテット )	
メッセージ種別	2.1	F	1	
逆方向呼表示	3.5	F	2	
オプション逆方向呼表示	3.37	O	3	
逆方向 G V N S	3.62	O	3 ~ ?	#
接続先番号 ( 注 2 )	3.16	O	4 ~ ? ( 4 ~ 12 ) *	
呼番号 ( 国内用 )	3.8	O	7	#
ユーザ・ユーザ表示	3.60	O	3	#
ユーザ・ユーザ情報	3.61	O	3 ~ 131	
アクセス転送	3.3	O	3 ~ ?	
網特有ファシリティ ( 国内用 )	3.36	O	4 ~ ?	
汎用通知識別子 ( 注 1 )	3.25	O	3	
リモートオペレーション ( 国内用 )	3.48	O	8 ~ ?	#
使用通信路	3.56	O	3	#
エコー制御情報	3.19	O	3	#
アクセス配送情報	3.2	O	3	
呼履歴情報	3.7	O	4	#
パラメータコンパチビリティ情報	3.41	O	4 ~ ?	
サービス活性化	3.49	O	3 ~ ?	#
汎用番号 ( 注 1 ) ( 注 2 )	3.26	O	5 ~ ? ( 5 ~ 15 ) *	
転送先番号制限	3.47	O	3	#
会議電話処理表示	3.76	O	3 ~ ?	#
アプリケーション転送 ( 注 3 )	3.82	O	5 ~ ?	
H T R 情報	3.89	O	4 ~ ?	#
ピボットルーティング逆方向情報	3.95	O	3 ~ ?	#
リダイレクション状態表示 ( 国内用 )	3.98	O	3	#
網機能種別	3.102	O	3	*
オプションパラメータ終了表示	3.20	O	1	

注 1 ) このパラメータは繰り返されるかもしれない。

注 2 ) 前バージョンの I S U P との同位のインターネットではフォーマットエラーが生じ、呼の解放へと導かれる場合がある。

注 3 ) 複数のアプリケーション転送パラメータが互いに異なる分割シーケンスに属するならば、それらは同一メッセージ内に含まれ送出されてもよい。

表 4 - 8 / J T - Q 7 6 3  
 ( ITU-T Q.763 )  
 メッセージ種別：導通試験 ( C O T )

パラメータ	参照節	タイプ	長さ ( オクテット )
メッセージ種別	2.1	F	1
導通表示	3.18	F	1

表 4 - 9 / J T - Q 7 6 3 #  
 ( ITU-T Q.763 )  
 メッセージ種別：ファシリティ拒否 ( F R J ) #

表 4 - 1 0 / J T - Q 7 6 3 #  
 ( ITU-T Q.763 )  
 メッセージ種別：情報 ( I N F ) ( 国内用 ) #

表 4 - 1 1 / J T - Q 7 6 3 #  
 ( ITU-T Q.763 )  
 メッセージ種別：情報要求 ( I N R ) ( 国内用 ) #

表4 - 12 ( 1 / 3 ) / J T - Q 7 6 3

( ITU-T Q.763 )

メッセージ種別：アドレス ( I A M )

パラメータ	参照節	タイプ	長さ ( オクテット )
メッセージ種別	2.1	F	1
接続特性表示	3.35	F	1
順方向呼表示	3.23	F	2
発ユーザ種別	3.11	F	1
通信路要求表示	3.54	F	1
着番号 ( 注 2 )	3.9	V	4 ~ ? ( 4 ~ 16 ) *
中継網選択 ( 国内用 ) ( 注 3 ) *	3.53	O	4 ~ ?
呼番号 ( 国内用 )	3.8	O	7
発番号 ( 注 2 )	3.10	O	4 ~ ? ( 4 ~ 14 ) *
オプション順方向呼表示	3.38	O	3
転送元番号 ( 注 2 )	3.44	O	4 ~ ? ( 4 ~ 12 ) *
着信転送情報	3.45	O	3 ~ 4
閉域接続インタロックコード	3.15	O	6
接続要求	3.17	O	7 ~ 9
第一着番号	3.39	O	4 ~ ? ( 4 ~ 12 ) *
ユーザ・ユーザ情報	3.61	O	3 ~ 131
アクセス転送	3.3	O	3 ~ ?
ユーザサービス情報	3.57	O	4 ~ 13
ユーザ・ユーザ表示	3.60	O	3
汎用番号 ( 注 1 ) ( 注 2 )	3.26	O	5 ~ ? ( 5 ~ 15 ) *
伝播遅延カウンタ	3.42	O	4
ユーザサービス情報プライム	3.58	O	4 ~ 13
網特有ファシリティ ( 国内用 )	3.36	O	4 ~ ?
汎用ディジット ( 国内用 ) ( 注 1 )	3.24	O	4 ~ ?
発側 ISC 局コード	3.40	O	4
ユーザテレサービス情報	3.59	O	4 ~ 5 ( 7 ) *
リモートオペレーション ( 国内用 )	3.48	O	8 ~ ?
パラメータコンパチビリティ情報	3.41	O	4 ~ ?
汎用通知識別子 ( 注 1 )	3.25	O	3

#

#

#

#

#

#

#

表4 - 12 ( 2 / 3 ) / J T - Q 7 6 3

( ITU-T Q.763 )

メッセージ種別：アドレス ( I A M )

パラメータ	参照節	タイプ	長さ ( オクテット )	
サービス活性化	3.49	O	3 ~ ?	#
汎用参照 ( 予約 )	3.27	O	5 ~ ?	#
M L P P 優先	3.34	O	8	#
通話路要求表示プライム	3.55	O	3	#
位置番号 ( 注 2 )	3.30	O	4 ~ ?	#
順方向 G V N S	3.66	O	5 ~ 26	#
C C S S	3.63	O	3 ~ ?	
網管理制御	3.68	O	3 ~ ?	#
回線割当マップ	3.69	O	6 ~ 7	#
相関 i d	3.70	O	3 ~ ?	
呼転送処理表示	3.72	O	3 ~ ?	#
着 I N 番号 ( 注 2 )	3.73	O	4 ~ ?	
呼提供処理表示	3.74	O	3 ~ ?	#
会議電話処理表示	3.76	O	3 ~ ?	#
S C F i d	3.71	O	3 ~ ?	
U I D 能力表示	3.79	O	3 ~ ?	
エコー制御情報	3.19	O	3	#
ホップカウンタ	3.80	O	3	#
コレクトコール要求	3.81	O	3	#
アプリケーション転送 ( 注 4 )	3.82	O	5 ~ ?	
ピボット能力	3.84	O	3	#
着ディレクトリ番号 ( 国内用 )	3.86	O	5 ~ 17	
第一着 I N 番号	3.87	O	4 ~ 17	
発測地位置	3.88	O	1 0 ~ ?	
ネットワークルーティング番号 ( 国内用 )	3.90	O	4 ~ ?	#
クエリーオンリリース能力 ( 網オプション )	3.91	O	3	#
ピボットルーティング回数	3.93	O	3	#
ピボットルーティング順方向情報	3.94	O	3 ~ ?	#
リダイレクション能力 ( 国内用 )	3.96	O	3	
リダイレクション回数 ( 国内用 )	3.97	O	3	
リダイレクション状態表示 ( 国内用 )	3.98	O	3	#
リダイレクション順方向情報 ( 国内用 )	3.99	O	3 ~ ? ( 5 ~ ? ) *	
番号ポータビリティ順方向情報 ( 網オプション )	3.101	O	1 ~ ?	#

表4 - 1 2 ( 3 / 3 ) / J T - Q 7 6 3

( ITU-T Q.763 )

メッセージ種別：アドレス ( I A M )

パラメータ	参照節	タイプ	長さ ( オクテット )	
網機能種別	3.102	O	3	*
料金区域情報	3.103	O	3 ~ ?	*
契約者番号	3.106	O	4 ~ 12	*
移動通信用エンド情報転送	3.107	O	3 ~ ?	*
移動通信用呼番号	3.108	O	9	*
P H S 端末識別番号	3.109	O	4 ~ 11	*
発信者番号非通知理由	3.110	O	3	*
国内用リダイレクション理由	3.111	O	3	*
付加ユーザ種別	3.112	O	4 ~ 18	*
事業者情報転送	3.114	O	3 ~ ?	*
輻輳制御済み通知情報	3.115	O	3	*
発測地速度情報	3.116	O	6 ~ ?	
緊急通報呼表示	3.117	O	3	*
オプションパラメータ終了表示	3.20	O	1	

注 1 ) このパラメータは繰り返されるかもしれない。

注 2 ) 前バージョンの I S U P との同位のインターワークではフォーマットエラーが生じ、呼の解放へと導かれる場合がある。

注 3 ) このパラメータは繰り返されるかもしれない。

注 4 ) 複数のアプリケーション転送パラメータが互いに異なる分割シーケンスに属するならば、それらは同一メッセージ内に含まれ送出されてもよい。

表4 - 13 / J T - Q 7 6 3  
 (ITU-T Q.763)  
 メッセージ種別：切断 ( R E L )

パラメータ	参照節	タイプ	長さ ( オクテット )
メッセージ種別	2.1	F	1
理由表示	3.12	V	3 ~ ?
着信転送情報	3.45	O	3 ~ 4
転送先番号 ( 注 )	3.46	O	5 ~ 14
アクセス転送	3.3	O	3 ~ ?
信号局コード ( 国内用 )	3.50	O	4
ユーザ・ユーザ情報	3.61	O	3 ~ 131
自動輻輳レベル	3.4	O	3
網特有ファシリティ ( 国内用 )	3.36	O	4 ~ ?
アクセス配送情報	3.2	O	3
パラメータコンパチビリティ情報	3.41	O	4 ~ ?
ユーザ・ユーザ表示	3.60	O	3
表示情報	3.77	O	3 ~ ?
リモートオペレーション ( 国内用 )	3.48	O	8 ~ ?
H T R 情報	3.89	O	4 ~ ?
リダイレクション回数 ( 国内用 )	3.97	O	3
リダイレクション逆方向情報 ( 国内用 )	3.100	O	3 ~ ? ( 5 ~ ? ) *
着 I N 番号	3.73	O	4 ~ 17
着ディレクトリ番号 ( 国内用 )	3.86	O	5 ~ 17
移動通信用エンド情報転送	3.107	O	3 ~ ?
国内用リダイレクション理由	3.111	O	3
事業者情報転送	3.114	O	3 ~ ?
オプションパラメータ終了表示	3.20	O	1

#

#

#

#

\*

\*

\*

\*

\*

注) 前バージョンの I S U P との同位のインターワークではフォーマットエラーが生じ、呼の解放へと導かれる場合がある。

表 4 - 1 4 / J T - Q 7 6 3  
 ( ITU-T Q.763 )  
 メッセージ種別：復旧完了 ( R L C )

パラメータ	参照節	タイプ	長さ ( オクテット )
メッセージ種別	2.1	F	1
理由表示	3.12	O	5 ~ 6
オプションパラメータ終了表示	3.20	O	1

表 4 - 1 5 / J T - Q 7 6 3  
 ( ITU-T Q.763 )  
 メッセージ種別：後続アドレス ( S A M )

#

#

表 4 - 1 6 / J T - Q 7 6 3  
 ( ITU-T Q.763 )  
 メッセージ種別：ユーザ・ユーザ情報 ( U S R )

#

#

表 4 - 1 7 / J T - Q 7 6 3  
 ( ITU-T Q.763 )  
 メッセージ種別：順方向転送 ( F O T )

#

#

表 4 - 1 8 / J T - Q 7 6 3  
 ( ITU-T Q.763 )  
 メッセージ種別：中断 ( S U S )  
 再開 ( R E S )

パラメータ	参照節	タイプ	長さ ( オクテット )
メッセージ種別	2.1	F	1
中断 / 再開表示	3.52	F	1
呼番号 ( 国内用 )	3.8	O	7
移動通信用エンド情報転送	3.107	O	3 ~ ?
オプションパラメータ終了表示	3.20	O	1

#

\*

表 4 - 19 / J T - Q 7 6 3

(ITU-T Q.763)

メッセージ種別：閉塞 ( B L O )

閉塞確認 ( B L A )

導通試験要求 ( C C R )

ループバック確認 ( L P A ) (国内用)

過負荷 ( O L M ) (国内用)

回線リセット ( R S C )

閉塞解除 ( U B L )

閉塞解除確認 ( U B A )

未実装回線番号 ( U C I C ) (国内用)

#

#

#

#

パラメータ	参照節	タイプ	長さ (オクテット)
メッセージ種別	2.1	F	1

表 4 - 2 0 / J T - Q 7 6 3

( ITU-T Q.763 )

メッセージ種別：回線群閉塞 ( C G B )

回線群閉塞確認 ( C G B A )

回線群閉塞解除 ( C G U )

回線群閉塞解除確認 ( C G U A )

パラメータ	参照節	タイプ	長さ ( オクテット )
メッセージ種別	2.1	F	1
回線群監視メッセージ種別表示	3.13	F	1
範囲と状態	3.43	V	3 ~ 34

表 4 - 2 1 / J T - Q 7 6 3

( ITU-T Q.763 )

メッセージ種別：回線群リセット ( G R S )

回線群状態要求 ( C Q M ) ( 国内用 )

パラメータ	参照節	タイプ	長さ ( オクテット )
メッセージ種別	2.1	F	1
範囲と状態 ( 注 )	3.43	V	2

注) 状態サブフィールドは含まれない。

表 4 - 2 2 / J T - Q 7 6 3

( ITU-T Q.763 )

メッセージ種別：ファシリティ受付 ( F A A )

ファシリティ要求 ( F A R )

#

#

#

表 4 - 2 3 / J T - Q 7 6 3

( ITU-T Q.763 )

メッセージ種別：パスアロング ( P A M )

#

#

表 4 - 2 4 / J T - Q 7 6 3

( ITU-T Q.763 )

メッセージ種別：ユーザ部テスト ( U P T )

ユーザ部有効性 ( U P A )

#

#

#

表4 - 25 / J T - Q 7 6 3

( ITU-T Q.763 )

メッセージ種別：ファシリティ ( F A C )

パラメータ	参照節	タイプ	長さ ( オクテット )	
メッセージ種別	2.1	F	1	
メッセージコンパチビリティ情報	3.33	O	3 ~ ?	
パラメータコンパチビリティ情報	3.41	O	4 ~ ?	
リモートオペレーション ( 国内用 )	3.48	O	8 ~ ?	#
サービス活性化	3.49	O	3 ~ ?	#
コールトランスファ番号 ( 注 )	3.64	O	4 ~ ?	#
アクセス転送	3.3	O	3 ~ ?	#
汎用通知識別子 ( 注 )	3.25	O	3	#
転送先番号	3.46	O	4 ~ ? ( 5 ~ ? ) *	
ピボットルーティング表示	3.85	O	3	#
ピボット状態表示	3.92	O	3	#
ピボットルーティング回数	3.93	O	3	#
ピボットルーティング逆方向情報	3.95	O	3 ~ ?	#
リダイレクション状態表示 ( 国内用 )	3.98	O	3 ~ ?	#
着 I N 番号	3.73	O	4 ~ 17	*
着ディレクトリ番号 ( 国内用 )	3.86	O	5 ~ 17	*
事業者情報転送	3.114	O	3 ~ ?	*
オプションパラメータ終了表示	3.20	O	1	

注) 前バージョンの I S U P との同位のインターワークではフォーマットエラーが生じ、呼の解放へと導かれる場合がある。

表4 - 26 / J T - Q 7 6 3

( ITU-T Q.763 )

メッセージ種別：網リソース管理 ( N R M )

表4 - 27 / J T - Q 7 6 3

( ITU-T Q.763 )

メッセージ種別：番号要求 ( I D R )

表4 - 28 / J T - Q 7 6 3

( ITU-T Q.763 )

メッセージ種別：番号応答 ( I R S )

表4 - 29 / J T - Q 7 6 3  
 (ITU-T Q.763)  
 メッセージ種別：分割 ( S G M )

パラメータ	参照節	タイプ	長さ ( オクテット )
メッセージ種別	2.1	F	1
アクセス転送	3.3	O	3 ~ ?
ユーザ・ユーザ情報	3.61	O	3 ~ 131
メッセージコンパチビリティ情報	3.33	O	3 ~ ?
汎用ディジット (注1)	3.24	O	4 ~ ?
汎用通知識別子 (注1)	3.25	O	3
汎用番号 (注1) (注2)	3.26	O	5 ~ ? ( 5 ~ 15 ) *
オプションパラメータ終了表示	3.20	O	1

#

注1) このパラメータは繰り返されるかもしれない。

注2) 前バージョンの I S U P との同位のインターワークではフォーマットエラーが生じ、呼の解放へと導かれる場合がある。

表4 - 30 / J T - Q 7 6 3  
 (ITU-T Q.763)  
 メッセージ種別：ループ抑止 ( L O P )

パラメータ	参照節	タイプ	長さ ( オクテット )
メッセージ種別	2.1	F	1
メッセージコンパチビリティ情報	3.33	O	3 ~ ?
パラメータコンパチビリティ情報	3.41	O	4 ~ ?
コールトランスファ参照	3.65	O	3
ループ抑止表示	3.67	O	3
オプションパラメータ終了表示	3.20	O	1

表4 - 3 1 / J T - Q 7 6 3

(ITU-T Q.763)

メッセージ種別：アプリケーション転送 ( A P M )

パラメータ	参照節	タイプ	長さ ( オクテット )
メッセージ種別	2.1	F	1
メッセージコンパチビリティ情報	3.33	O	3 ~ ?
パラメータコンパチビリティ情報	3.41	O	4 ~ ?
アプリケーション転送 (注1)	3.82	O	5 ~ ?
オプションパラメータ終了表示	3.20	O	1

注1) 複数のアプリケーション転送パラメータが互いに異なる分割シーケンスに属するならば、それらは同一メッセージ内に含まれ送出されてもよい。

表4 - 3 2 / J T - Q 7 6 3

(ITU-T Q.763)

メッセージ種別：先行切断情報 ( P R I )

パラメータ	参照節	タイプ	長さ ( オクテット )
メッセージ種別	2.1	F	1
メッセージコンパチビリティ情報	3.33	O	3 ~ ?
パラメータコンパチビリティ情報	3.41	O	4 ~ ?
オプション順方向呼表示 (注1)	3.38	O	3
オプション逆方向呼表示 (注1)	3.37	O	3
アプリケーション転送 (注2)	3.82	O	5 ~ ?
オプションパラメータ終了表示	3.20	O	1

注1) これらのパラメータは、I S U P 簡易分割手順を用いたメッセージの分割を許容するために必要とされる。これらは互いに排他的である。

注2) 複数のアプリケーション転送パラメータが互いに異なる分割シーケンスに属するならば、それらは同一メッセージ内に含まれ送出されてもよい。

表4 - 3 3 / J T - Q 7 6 3

(ITU-T Q.763)

メッセージ種別：後続ディレクトリ番号 ( S D M ) (国内用)

#

#

表4 - 34 / JT - Q763  
 メッセージ種別：課金（CHG）

\*  
 \*

パラメータ	参照節	タイプ	長さ（オクテット）
メッセージ種別	2.1	F	1
課金情報種別	3.105	F	1
課金情報	3.104	V	2 ~ ?
料金区域情報	3.103	O	3 ~ ?
付加ユーザ種別	3.112	O	4 ~ 18
オプションパラメータ終了表示	3.20	O	1

\*  
 \*  
 \*  
 \*

## 付属資料 A

### 認識不可パラメータ値の処理の表

標準 J T - Q 7 6 4 節 2.9.5.3 参照。

#### タイプ A 交換機

認識不可パラメータ値は、タイプ A 交換機においては、以下に指示されるように処理される。(タイプ A 交換機は、J T - Q 7 6 4 節 2.9.5.2 に記述されている。又、J T - Q 7 6 4 節 2.9.5.3 iii も参照。)

要求される動作:

デフォルト : デフォルト値が受信されたように処理する。

無視 : そのパラメータ値は無視する。つまり、受信されたパラメータ値は変更されずに、もしくはゼロにリセットされ送信される。

デフォルト無し : 呼制御に渡す。

付表 A - 1 / J T - Q 7 6 3 はタイプ A 交換機の動作を示す。

J T - Q 7 6 4 と J T - Q 7 3 X シリーズに特別な手順が無い場合の、通常の動作を、表は示す。

付表A - 1 / J T - Q 7 6 3

( ITU-T Q.763 )

タイプA交換機 ( 1 / 5 )

JT-Q763 節	タイトル	動 作
3.4	自動輻轉レベル	パラメータ廃棄
3.5	逆方向呼表示  課金表示 ビットBA :  着ユーザ状態表示 ビットDC :  着ユーザ種別表示 ビットFE :  エンド・エンド法表示 ビットHG :  エンド・エンド情報表示 ビットJ :  保留表示 ビットL :  SCCP法表示 ビットPO :	デフォルト : 1 0 課金  デフォルト : 0 0 表示無し  デフォルト : 0 0 表示無し  デフォルト : 0 0 エンド・エンド法利用不可  デフォルト : 0 エンド・エンド情報利用不可  デフォルト : 0 保留必要なし  デフォルト : 0 0 表示なし
3.9	着番号  番号種別表示  番号計画表示  予備  アドレス情報  フィラー	理由表示値 28 を含んだ切断メッセージ 送出  理由表示値 28 を含んだ切断メッセージ 送出  無視  理由表示値 28 を含んだ切断メッセージ 送出 ( 注 )  デフォルト:0000

注) ルーチングに必要とされる限り評価される

## 付表A - 1 / J T - Q 7 6 3

( ITU-T Q.763 )

タイプA交換機 ( 2 / 5 )

JT-Q763 節	タイトル	動 作
3.10	発番号 番号種別表示  発番号不完全表示  番号計画表示  表示識別  網検証識別  アドレス情報  フィラー	パラメータ廃棄  パラメータ廃棄  パラメータ廃棄  デフォルト:01 表示不可  パラメータ廃棄  デフォルト無し  デフォルト:0000
3.11	発ユーザ種別	デフォルト:00001010 一般発ユーザ
3.12	理由表示  コーディング標準  予備  生成源  理由表示値	デフォルト:00 ITU-T 標準  無視  デフォルト: インタワーキング先の網  デフォルト: クラス XXX,その他
3.13	回線群監視メッセージ種別表示  種別識別 ビットB A :  予備 ビットH - C	メッセージ廃棄、そして理由表示番号 110 を 含んだコネクションメッセージ 送出  無視

付表A - 1 / J T - Q 7 6 3

( ITU-T Q.763 )

タイプA交換機 ( 3 / 5 )

JT-Q763 節	タイトル	動 作
3.14	回線状態表示 ( 国内用 ) 保守閉塞状態 予備	メッセージ廃棄 無視
3.16	接続先番号  番号種別  予備  番号計画識別子  表示識別  網検証識別  アドレス情報  フィルア	パラメータ廃棄  無視  パラメータ廃棄  デフォルト:01 使用不可  パラメータ廃棄  デフォルト無し  デフォルト:0000
3.18	導通表示  予備 ビットH - B	無視
3.21	イベント情報  イベント表示 ビットG - A	メッセージ廃棄
3.22	ファシリティ表示	メッセージ廃棄
3.23	順方向呼表示  エンド・エンド法表示 ビットC B  エンド・エンド情報表示 ビットE  I S U P 1 リンク希望表示 ビットH G  S C C P 法表示 ビットK J  予備 ビットL 国内使用に留保 ビットP - M	デフォルト:00 エンド・エンド法が利用できない  デフォルト:0 エンド・エンド情報利用できない  理由表示値 111 を含んだ切断メッセージを 送出  デフォルト:00 表示無し  無視  無視

#

付表A - 1 / J T - Q 7 6 3

( ITU-T Q.763 )

タイプA交換機 ( 4 / 5 )

JT-Q763 節	タイトル	動作
3.28	情報表示 ( 国内用 )	
3.29	情報要求表示 ( 国内用 )	
3.35	接続特性表示  衛星回線表示 ビット B A  導通試験表示 ビット D C  予備 ビット H - F	デフォルト:10 接続において衛星回線 2 回線あり  タイプ B 交換機参照  無視
3.37	オプション逆方向呼表示  国内使用に留保 ビット H - E	無視
3.38	オプション順方向呼表示  閉域接続呼表示 ビット B A  予備 ビット G - D	デフォルト:00 非 CUG 呼  無視
3.39	第一着番号  番号種別表示 番号計画表示 表示識別 アドレス情報 フィルア	パラメータ廃棄 パラメータ廃棄 デフォルト:表示不可 デフォルト無し デフォルト:0000
3.43	範囲と状態	J T - Q 7 6 4 節 2.8.2、2.8.3、2.9.3 参照
3.44	転送元番号  番号種別表示 番号計画表示 表示識別  アドレス情報 フィルア	パラメータ廃棄 パラメータ廃棄 デフォルト:01 表示不可 デフォルト無し デフォルト:0000
3.45	着信転送情報  転送表示 ビット C - A 第一転送理由 ビット H - E 転送回数 ビット K - I 転送理由 ビット P - M 予備 / 国内用に留保 ビット L , D	デフォルト:着信転送呼、全着信転送情報表示不可 デフォルト:不定 / 使用不可  デフォルト:“101”  デフォルト:不定 / 使用不可  無視

#  
#

## 付表A - 1 / JT - Q 7 6 3

(ITU-T Q.763)

タイプA交換機(5 / 5)

JT-Q763 節	タイトル	動作
3.46	転送先番号 番号種別表示 番号計画表示 アドレス情報 フィルア	付表A - 1 / JT - Q 7 6 3 3.10 参照 パラメータ廃棄 パラメータ廃棄 デフォルト無し デフォルト:0000
3.51	後続番号	
3.52	中断 / 再開表示  予備 ビットH - B	無視
3.53	中継網選択(国内用)  網識別種別  網識別計画  網識別	理由表示値 91 を含んだ切断メッセージ 送出  理由表示値 91 を含んだ切断メッセージ 送出  理由表示値 91 を含んだ切断メッセージ 送出
3.54	通信路要求表示	理由表示値 65 を含んだ切断メッセージ を送出
3.57	ユーザサービス情報	デフォルト無し
3.60	ユーザ・ユーザ表示  サービス 1 ビットC B  サービス 2 ビットE D  サービス 3 ビットG F	デフォルト:00 情報なし  デフォルト:00 情報なし  デフォルト:00 情報なし

#

## タイプB交換機

付表A - 2 / JT - Q 7 6 3 はタイプB交換機の動作を示す。

以下の定義が使われる。

デフォルト : デフォルト値が受信されたように処理する。そのデフォルト値は送信される。

無視 : そのパラメータ値は無視する。つまり、受信されたパラメータ値は変更されずに、もしくはゼロにリセットされ送信される。

デフォルト無し: 受信された値は変更されずに送信される。

JT - Q 7 6 4とJT - Q 7 3 Xシリーズに特別な手順が無い場合の、通常の動作を、表は示す。

付表A - 2 / J T - Q 7 6 3

( ITU-T Q.763 )

タイプB交換機 ( 1 / 5 )

JT-Q763 節	タイトル	動 作
3.4	自動輻轉レベル	パラメータ廃棄
3.5	逆方向呼表示  課金表示 ビットBA :  着ユーザ状態表示 ビットDC :  着ユーザ種別表示 ビットFE :  エンド・エンド法表示 ビットHG :  エンド・エンド情報表示 ビットJ :  保留表示 ビットL :  SCCP法表示 ビットPO :	デフォルト無し   デフォルト無し   デフォルト無し   デフォルト無し   デフォルト無し   デフォルト無し   デフォルト無し
3.9	着番号  番号種別表示  番号計画表示  予備  アドレス情報  フィラー	理由表示値 28 を含んだ切断メッセージ 送出  理由表示値 28 を含んだ切断メッセージ 送出  無視  理由表示値 28 を含んだ切断メッセージ 送出 (注) デフォルト:0000

注) ルーチングに必要とされる限り評価される

## 付表A - 2 / J T - Q 7 6 3

( ITU-T Q.763 )

タイプB交換機 ( 2 / 5 )

JT-Q763 節	タイトル	動作
3.10	発番号 番号種別表示 発番号不完全表示 番号計画表示 表示識別 網検証識別 アドレス信号 フィラー	デフォルト無し デフォルト無し デフォルト無し デフォルト無し デフォルト無し デフォルト無し 無視
3.11	発ユーザ種別	デフォルト無し
3.12	理由表示 コーディング標準 予備 生成源 理由表示値	デフォルト無し 無視 デフォルト無し デフォルト無し
3.13	回線群監視メッセージ種別表示 種別識別 ビットB A : 予備 ビットH - C	メッセージ廃棄し、理由表示番号 110 を含んだコフュージョンメッセージを送出 無視
3.14	回線状態表示 ( 国内用 ) 保守閉塞状態 予備	メッセージ廃棄 無視
3.16	接続先番号 番号種別 予備 番号計画識別子 表示識別 網検証識別 アドレス情報 フィラー	デフォルト無し 無視 デフォルト無し デフォルト無し デフォルト無し デフォルト:0000 無視

付表A - 2 / J T - Q 7 6 3

( ITU-T Q.763 )

タイプB交換機 ( 3 / 5 )

JT-Q763 節	タイトル	動 作
3.18	導通表示  ビットH - B	無視
3.21	イベント情報  イベント表示 ビットG - A	デフォルト無し
3.22	ファシリティ表示	メッセージ廃棄
3.23	順方向呼表示  エンド・エンド法表示 ( 国内表示 ) ビットC B  エンド・エンド情報表示 ビットE  I S U P 1 リンク希望表示 ビットH G  S C C P 法表示 ビットK J  予備 ビットL  国内使用に留保 ビットP - M	デフォルト無し  デフォルト無し  理由表示値 111 を含んだ切断メッセージを送出  デフォルト無し  無視  無視
3.28	情報表示 ( 国内用 )	
3.29	情報要求表示 ( 国内用 )	

#

#

#

付表 A - 2 / J T - Q 7 6 3  
 ( ITU-T Q.763 )  
 タイプ B 交換機 ( 4 / 5 )

JT-Q763 節	タイトル	動 作
3.35	接続特性表示  衛星回線表示 ビット B A  導通試験表示 ビット D C  予備 ビット H - F	デフォルト:10 接続において衛星回線 2 回線あり  デフォルト:00 出回線に要求されない限り、導通試験不要  無視
3.37	オプション逆方向呼表示  国内使用に留保 ビット H - E	無視
3.38	オプション順方向呼表示  閉域接続呼表示 ビット B A  予備 ビット G - D	デフォルト:00 非 CUG 呼  無視
3.39	第一着番号  番号種別表示 番号計画表示 表示識別 アドレス情報 フィラー 予備	デフォルト無し デフォルト無し デフォルト無し デフォルト無し 無視 無視
3.43	範囲と状態	J T - Q 7 6 4 節 2.9.3、2.8.2 参照
3.44	転送元番号  番号種別表示 番号計画表示 表示識別 アドレス情報 フィラー	デフォルト無し デフォルト無し デフォルト無し デフォルト無し 無視
3.45	着信転送情報  転送表示 ビット C - A 第一転送理由 ビット H - E 転送回数 ビット K - I 転送理由 ビット P - M 予備 / 国内用に留保 ビット L , D	デフォルト無し  デフォルト無し  デフォルト無し  デフォルト無し  無視

付表A - 2 / J T - Q 7 6 3

( ITU-T Q.763 )

タイプB交換機 ( 5 / 5 )

JT-Q763 節	タイトル	動 作
3.46	転送先番号  番号種別表示 番号計画表示 アドレス情報 フィラー	デフォルト無し デフォルト無し デフォルト無し 無視
3.51	後続番号	
3.52	中断 / 再開表示  予備 ビット H - B	無視
3.53	中継網選択 ( 国内用 )  網識別種別  網識別計画  網識別	理由表示値 91 を含んだ切断メッセージ 送出  理由表示値 91 を含んだ切断メッセージ 送出  理由表示値 91 を含んだ切断メッセージ 送出
3.54	通信路要求表示	理由表示値 65 を含んだ切断メッセージ を 送出
3.57	ユーザサービス情報	デフォルト無し
3.60	ユーザ・ユーザ表示  サービス 1 ビット C B  サービス 2 ビット E D  サービス 3 ビット G F	デフォルト無し  デフォルト無し  デフォルト無し

#

付属資料 B

コンポーネントの符号化規則の概要  
( T T C 標準 J T - Q 7 6 3 に対する )

#  
#

		8	7	6	5	4	3	2	1	
1		予 備							経由情報 転送表示	
		事業者情報名 (11111011 = 発事業者情報)								
		事業者情報長								
		事業者情報従属パラメータ名 (11111110 = 事業者識別コード)								
		事業者情報従属パラメータ長								
		事業者識別コード								
		事業者情報名 (11111100 = 着事業者情報)								
		事業者情報長								
		事業者情報従属パラメータ名 (11111110 = 事業者識別コード)								
		事業者情報従属パラメータ長								
		事業者識別コード								
		事業者情報名 (11111101 = 選択中継事業者情報)								
		事業者情報長								
		事業者情報従属パラメータ名 (11111110 = 事業者識別コード)								
		事業者情報従属パラメータ長								
	事業者識別コード									
	事業者情報従属パラメータ名 (11111101 = POI - 料金区域情報)									
	事業者情報従属パラメータ長									
	POI - 料金区域情報									
	事業者情報名 (11111110 = 経由事業者情報)									
	事業者情報長									
	事業者情報従属パラメータ名 (11111110 = 事業者識別コード)									
	事業者情報従属パラメータ長									
	事業者識別コード									
	事業者情報従属パラメータ名 (11111101 = POI - 料金区域情報)									
	事業者情報従属パラメータ長									
	POI - 料金区域情報									
n										

付図 - 1 / JT-Q763 事業者情報転送パラメータの構成